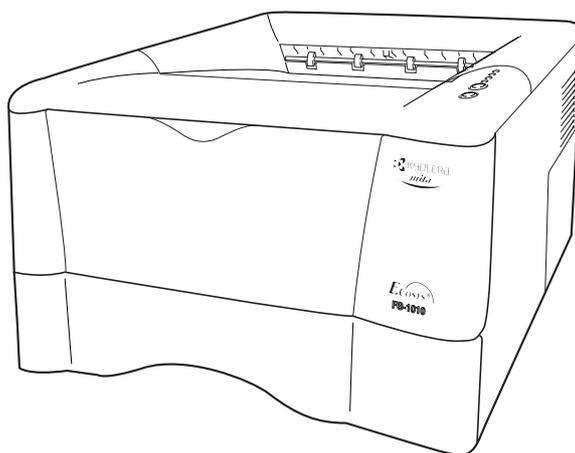




FS-1010

ページプリンタ



使用説明書

安全に正しくお使いいただくために

京セラページプリンタFS-1010をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、プリンタを良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書および本製品の表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告: この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意: この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「注意一般」



「禁止一般」



「強制一般」



「感電注意」



「分解禁止」



「電源プラグをコンセントから抜け」



「高温注意」



「必ずアース線を接続せよ」

またこれら以外にも、印刷品質に関する注意や、本機の操作上の注意等であることを示す「ℹ お知らせ」表示もしています。

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

■ レーザ光に関する注意

注意

本体内部のレーザスキャナ・ユニットではレーザ光が放射されています。内部のカバーには、警告ラベルが貼られています。(下図参照)レーザ光にさらされないために以下のことに注意してください。

● 本機内部の固定されているカバーは外さないでください。レーザ光がもれるおそれがあります。内部の点検・調整・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご依頼ください。

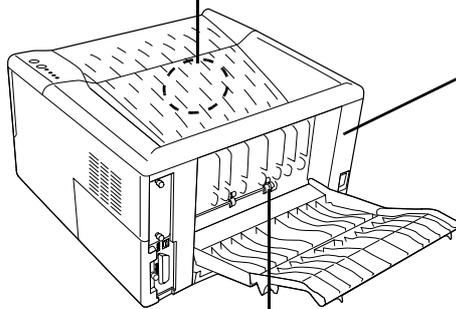


● 本機を改造しないでください。火災、感電、およびレーザ光がもれるおそれがあります。



レーザ光に関する警告(本体内部)

	DANGER INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FASCEAU.
VORSICHT	UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHLE AUSSETZEN.
ATTENZIONE	RADIAZIONE LASER INVISIBLE IN CASO DI APERTURA. EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION	RADIAZIONE LASER INVISIBLE QUANDO SE ABRE. EVITAR EXPOSICION AL RAYO.
VARO!	AVATTAESSA DUEI' ALTIMA NAKYMATOMALLE LASERSATELIVILLE ALÄ KÄTÖ SÄTELESIÄ.
警告	・開蓋時、可能有害光放射！ 直視・照射光直接照射。
警告	・内部雷射放射中、請勿觸及雷射蓋子。
위험	・레이저 공신출 직접 보지 마세요.
警告	・このカバーの内面では有害なレーザ光が放射されています。 レーザ光に直接さらされないようご注意ください。



FS-1010	AC100V 50/60Hz 8.4A
京セラミタ株式会社 DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA	
	
注意 修理は、すべてサービスマンにおまかせください。 機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。 外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。	
CAUTION Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel. Disconnect main power cord before servicing. Do not remove covering panel.	

プリンタ後面

	CAUTION HOT SURFACE AVOID CONTACT	ACHTUNG HEISSE OBERFLÄCHE NICHT BERÜHREN	ATTENTION TEMPÉRATURE ÉLEVÉE NE PAS TOUCHER	ATENCIÓN EXTERIOR CALIENTE EVITE EL CONTACTO	ATTENZIONE SUPERFICIE CHE SCOTTA NON TOCCARE	고온 주의 高温注意
---	--	---	--	---	---	-------------------

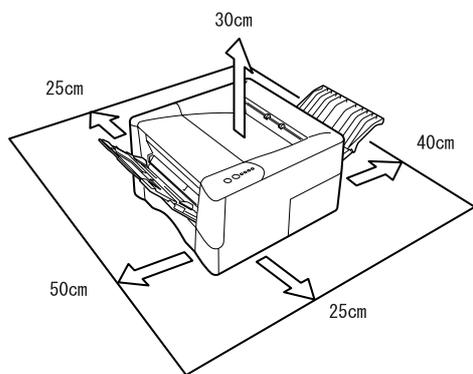
後部カバー内部

機械を設置するときの注意

■ 設置環境について

注意

- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。
- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に本製品左側と後側には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



その他の注意事項

- 本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内(室温20℃、湿度65%RHが適当)に設置し、下記のような場所は避けてください。
 - ・ 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
 - ・ 振動の多い場所
 - ・ 急激に温度や湿度が変化する場所
 - ・ 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
 - ・ 通気性、換気性の悪い場所

■ 設置電源・アースについて

警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしてください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。
- 電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

■ 包装用ビニールの取り扱いについて

警告

- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。

取り扱い上のご注意

■ 機械の取り扱いについて

警告

- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
- 万一、異物(金属片、水、液体)が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へ依頼してください。

注意

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っばらないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください)
- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。
- 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にはほこりがたままま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

その他の注意事項

- 本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 印刷中には次のことをしないでください。
 - ・ カバー類を開ける。
 - ・ 電源スイッチを切る。
 - ・ 電源コードを抜く。
- プリンタの使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷する場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をするをお勧めいたします。
- 転居などで本製品を動かす場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご連絡ください。
- コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。
- この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

■ トナーの取り扱いについて

⚠ 注意

- トナーは吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。誤って口に入った場合は水で胃を薄め、医師の診断を受けてください。皮膚に触れた場合は、石鹸と水で洗ってください。眼に入った場合は、水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- トナーまたはトナーの入った容器を、子供の手に触れさせないでください。
- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。



その他の注意事項

- トナーキットの箱や容器の注意文をよくお読みください。
- トナーやトナーの入った容器の廃棄については国や地方自治体の規制にしたがってください。

- 本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

■ 補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後5年間です。

はじめに

ご注意

本書の内容の一部または全部を、無断転載することは禁止します。本書の内容は、改良などのために予告なしに変更することがあります。

本機を使用した結果の影響については、本説明書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた情報技術機器装置および周辺機器の高調波対策ガイドラインに適合しています。

コンピュータとプリンタとの接続は、シールドされたケーブルをお使いください。

お問い合わせ先

本プリンタの使用方法や技術的なお問い合わせ、および修理については、お買い上げの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にてうけたまわります。

お客様 相談窓口		0570-046562
	市内通話料でOK ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。	
受付時間 ●9:00~12:00 ●13:00~17:00 (但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)		

<http://www.kyoceramita.co.jp/jp>

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- ・ プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシス、ECOSYS、KPDLおよびKIRは、京セラ株式会社の登録商標です。
- ・ Power PCはIBM社の米国、その他の国における商標です。
- ・ コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- ・ PCLは米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- ・ 本プリンタがエミュレートしている PCL 6 は、米国 Peerless Group が開発した互換システム PeerlessPrintXL を使用しています。PeerlessPrintXL は米国 Peerless Group (Redondo Beach, CA90278, U.S.A.)の商標です。
- ・ TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
- ・ PostScriptはAdobe Systems, Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- ・ 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイムOS統合環境Tornado™を用いて開発されました。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。



IBM PROGRAM LICENSE AGREEMENT

THE DEVICE YOU HAVE PURCHASED CONTAINS ONE OR MORE SOFTWARE PROGRAMS ("PROGRAMS") WHICH BELONG TO INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION ("IBM"). THIS DOCUMENT DEFINES THE TERMS AND CONDITIONS UNDER WHICH THE SOFTWARE IS BEING LICENSED TO YOU BY IBM. IF YOU DO NOT AGREE WITH THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS LICENSE, THEN WITHIN 14 DAYS AFTER YOUR ACQUISITION OF THE DEVICE YOU MAY RETURN THE DEVICE FOR A FULL REFUND. IF YOU DO NOT SO RETURN THE DEVICE WITHIN THE 14 DAYS, THEN YOU WILL BE ASSUMED TO HAVE AGREED TO THESE TERMS AND CONDITIONS.

The Programs are licensed not sold. IBM, or the applicable IBM country organization, grants you a license for the Programs only in the country where you acquired the Programs. You obtain no rights other than those granted you under this license.

The term "Programs" means the original and all whole or partial copies of it, including modified copies or portions merged into other programs. IBM retains title to the Programs. IBM owns, or has licensed from the owner, copyrights in the Programs.

1. License

Under this license, you may use the Programs only with the device on which they are installed and transfer possession of the Programs and the device to another party.

If you transfer the Programs, you must transfer a copy of this license and any other documentation to the other party. Your license is then terminated. The other party agrees to these terms and conditions by its first use of the Program.

You may not:

- 1) use, copy, modify, merge, or transfer copies of the Program except as provided in this license;
- 2) reverse assemble or reverse compile the Program; or
- 3) sublicense, rent, lease, or assign the Program.

2. Limited Warranty

The Programs are provided "AS IS".

THERE ARE NO OTHER WARRANTIES COVERING THE PROGRAMS (OR CONDITIONS), EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Some jurisdictions do not allow the exclusion of implied warranties, so the above exclusion may not apply to you.

3. Limitation of Remedies

IBM's entire liability under this license is the following:

- 1) For any claim (including fundamental breach), in any form, related in any way to this license, IBM's liability will be for actual damages only and will be limited to the greater of:
 - a) the equivalent of U.S.\$25,000 in your local currency; or
 - b) IBM's then generally available license fee for the Program

This limitation will not apply to claims for bodily injury or damages to real or tangible personal property for which IBM is legally liable.

IBM will not be liable for any lost profits, lost savings, or any incidental damages or other economic consequential damages, even if IBM, or its authorized supplier, has been advised of the possibility of such damages. IBM will not be liable for any damages claimed by you based on any third party claim. This limitation of remedies also applies to any developer of Programs supplied to IBM. IBM's and the developer's limitations of remedies are not cumulative. Such developer is an intended beneficiary of this Section. Some jurisdictions do not allow these limitations or exclusions, so they may not apply to you.

4. General

You may terminate your license at any time. IBM may terminate your license if you fail to comply with the terms and conditions of this license. In either event, you must destroy all your copies of the Program. You are responsible for payment of any taxes, including personal property taxes, resulting from this license. Neither party may bring an action, regardless of form, more than two years after the cause of action arose. If you acquired the Program in the United States, this license is governed by the laws of the State of New York. If you acquired the Program in Canada, this license is governed by the laws of the Province of Ontario. Otherwise, this license is governed by the laws of the country in which you acquired the Program.

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Agfa Corporation からのライセンスを受けています。
- **AGFA**  本製品は Agfa Corporation からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- PostScript は Adobe Systems, Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Helvetica, Palatino, Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats は、International Typeface Corporation の登録商標です。

Agfa Japan ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号(「タイプフェイス」)のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Agfa Japan は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Agfa Japan の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Agfa Japan からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Agfa Japan は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべて Agfa Japan に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Agfa Japan は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Agfa Japan の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Agfa Japan は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段および Agfa Japan の唯一の責任は、欠陥のある部品を Agfa Japan に返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合も Agfa Japan は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国ニューヨーク州の法律に準拠します。
10. お客様は、Agfa Japan の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の (b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。



当社は国際エネルギースター・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースター・プログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースター・プログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

本プリンタは国際エネルギースター・プログラムの基準に適合した、スリープ・タイマ機能を搭載しています。この機能を使用することにより、プリンタの電力消費を抑えることができます。またプリンタを長時間使用しない場合は、プリンタの電源を切ってください。

スリープモード の初期設定時間	スリープモード 時の電力消費量
5分(15分)	6W(20 W)

() はエネルギースター・プログラムの基準値です。

電源を切った状態では、消費電力は0 Wです。



本製品は、「グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進に関する法律)」の定める「特定調達物品」の判断基準に適合する環境に配慮した製品です。

本機の特長

本機は以下のような主な特長を備えています。

長寿命部品

ドラム、現像ユニット、定着ユニットなど、従来のプリンタでは消耗品であった主要部品は長寿命設計されており、定期的な交換は不要になりました。このため、定期的に必要なメンテナンスはトナーコンテナ(TK-17)の交換(約 6,000 ページ印刷毎)と、プリンタ内部を清掃することだけです。

スリープモード

一定の時間内にプリンタの設定やデータの受信が行われなかった場合、電力の消費を抑えるスリープモードを搭載しています。

エコプリント

トナーの消費量を抑えて印刷を行うエコプリント機能を搭載しています。エコプリント機能を使うと、同量のトナーでより多くの枚数を印刷できます。

高品位のプリントアウト

Fast 1200モードでは、解像度1200 dpiの高品位な印刷を行うことができます。また、KIR (Kyocera Image Refinement) 技術により、300 dpi や 600 dpi でも鮮明で高品質な印刷を実現します。

USB(Universal Serial Bus)インタフェースを装備

USB仕様Revision 1.1に準拠したUSBインタフェースを装備しています。最大通信速度は12 Mbpsで、データ転送を高速に行います。

多彩な欧文フォントを搭載

PCL/PostScript 互換の欧文スケーラブルフォント 80 書体と、欧文ビットマップフォント1書体を内蔵しています。

用紙の自動選択(メディアタイプセレクション)機能

印刷する用紙の種類(普通紙、OHP フィルム、ラベル紙など)を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことにより、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷することができます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォントや図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現することができます。

PDF417 二次元スタックシンボル対応

二次元スタックシンボルPDF417(Portable Data File 417)に対応しています。

KM-NET VIEWER対応

ネットワーク上でプリンタの状態を確認できるユーティリティ、KM-NET VIEWER に対応しています。KM-NET VIEWER は、付属の Kyocera Mita Digital Library CD-ROMに収録しています。

KM-NET Remote Operation Panel(リモート・オペレーションパネル)対応

プリンタに接続したコンピュータのディスプレイ上に、プリンタの仮想操作パネルを表示させるユーティリティ、KM-NET VIEWER に対応しています。KM-NET VIEWER は、パラレルインタフェース接続とネットワーク接続で使用でき、Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上でプリンタの設定を行ったり、プリンタの状態をモニタすることができます。リモート・オペレーションパネルは付属のKyocera Mita Digital Library CD-ROMに収録されています。

付属マニュアルの紹介

マニュアル	内容
設置手順書(印刷物)	プリンタの設置から、印刷テストまでの手順を説明しています。
クイックガイド(印刷物)	トナーキットの交換手順、お手入れの手順を説明しています。また、エラー発生時のインジケータ表示を一覧にまとめてあります。
プリンタドライバガイド (CD-ROM収録)	プリンタドライバのインストールやプリンタドライバの基本的な操作方法について説明しています。
使用説明書(本書)	機能、操作方法など、本プリンタを使用する上で必要となる情報を詳しく説明しています。また、各種のトラブルの対処方法も説明しています。目的や必要に応じて、必要な部分をお読みください。

また、プリンタの制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して印刷プログラムを作成するためのプログラマ用マニュアルとして、**プリスクライブII プログラミングマニュアル**が用意されています。お求めについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へお申し付けください。

本書の内容

本書には、以下の項目があります。

第1章 操作パネルの設定と操作

本機のインジケータおよびキーの機能や操作方法について説明しています。

第2章 日常のメンテナンス

トナーコンテナ、廃棄トナーボックスの交換方法、プリンタの清掃について説明しています。

第3章 困ったときは

紙詰まりなどプリンタに問題が発生したときの処置方法を説明しています。

第4章 用紙について

プリンタで使用できる用紙について説明しています。

第5章 ファームウェアパラメータ

プリスクライブ FRPO コマンドにより、印刷設定に関する各種のパラメータを設定し、内部メモリーに記憶する方法について説明しています。

付録 A フォント

本プリンタに搭載されているフォントについて説明しています。

付録 B オプションについて

本プリンタで使用できるオプションの紹介と、設置方法について説明しています。

付録 C インタフェース

パラレルインタフェースと USB インタフェースのピン割り当てや信号の意味などについて説明しています。

付録 D プリンタの仕様

本プリンタの仕様を一覧にしています。

付録 E 用語集

本書で使われている用語を説明しています。

目次

安全に正しくお使いいただくために	i
はじめに	vi
本機の特長	xi
付属マニュアルの紹介	xiii
本書の内容	xiii
第1章 操作パネルの設定と操作	1-1
操作パネルの名称と機能	1-2
インジケータの表示とその意味	1-3
キーの機能	1-3
ステータスページ	1-4
KM-NET Remote Operation Panel (リモート・オペレーションパネル) について	1-7
動作環境	1-7
KM-NET リモート・オペレーションパネルのインストール	1-8
KM-NET リモート・オペレーションパネルの起動	1-10
KM-NET リモート・オペレーションパネルの名称と機能	1-11
KM-NET リモート・オペレーションパネルの基本設定	1-13
プリンタとの接続	1-16
設定メニュー	1-17
用紙に関連する設定	1-18
コピー枚数(印刷枚数)の設定	1-18
印刷方向の設定	1-19
給紙元の選択	1-20
用紙サイズの設定	1-21
給紙元の用紙タイプ設定	1-23
給紙元のプロパティ	1-25
用紙の厚さ設定	1-26
プリンタの基本設定	1-28
印刷濃度の設定	1-28
KIRモードの選択	1-29
エコプリントモードの選択	1-31
解像度の選択	1-32
自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定	1-33
スリープモードの設定	1-34
エミュレーションの選択	1-36
ネットワークインタフェースカードの設定	1-37

	RAMディスクの設定	1-38
	トナー残量の確認	1-39
	リモート・オペレーションパネルの表示言語の選択	1-40
	その他の設定	1-41
	プリンタの設定	1-41
	プリンタのパスワード設定	1-42
	プリンタメモリーの確認	1-44
	ホストバッファの設定	1-45
	固定資産番号の設定	1-47
	リソースリストの表示	1-48
	プリスクライブコマンドをプリンタに送る	1-49
第2章	日常のメンテナンス	2-1
	トナーコンテナの交換	2-2
	トナーの補給	2-3
	清掃	2-7
第3章	困ったときは	3-1
	一般的な問題について	3-2
	印刷品質の問題	3-3
	インジケータ	3-5
	メンテナンス要求表示	3-6
	プリンタの修理を要するエラー表示	3-8
	対処可能なエラー表示	3-11
	通常時の表示	3-13
	紙詰まりの処置	3-14
	排紙トレイ部での紙詰まり	3-14
	給紙カセット部での紙詰まり	3-15
	プリンタ内部での紙詰まり	3-15
第4章	用紙について	4-1
	用紙の基本仕様	4-2
	使用できる用紙	4-2
	用紙の基本仕様	4-2
	適正紙の選択	4-3
	特殊な用紙	4-7
	OHPフィルム	4-8
	ラベル用紙	4-8
	用紙タイプ	4-11

第 5 章	ファームウェアパラメータ	5-1
	ファームウェア設定	5-2
	インタフェース独立FRPOパラメータ	5-3
	インタフェース共有FRPOパラメータ	5-5
付録 A	フォント	A-1
	内蔵フォント	A-2
	フォントリスト	A-3
付録 B	オプションについて	B-1
	使用可能なオプション装置	B-2
	拡張メモリーの増設	B-3
	メモリーカード(コンパクトフラッシュカード)	B-8
	ネットワークインタフェースカード	B-10
付録 C	インタフェース	C-1
	パラレルインタフェース	C-2
	パラレルインタフェースのコミュニケーションモード	C-2
	インタフェース信号	C-3
	USBインタフェース	C-6
	仕様	C-6
	インタフェース信号	C-6
付録 D	プリンタの仕様	D-1
付録 E	用語集	E-1
索引	索引-1

第1章

操作パネルの設定と操作

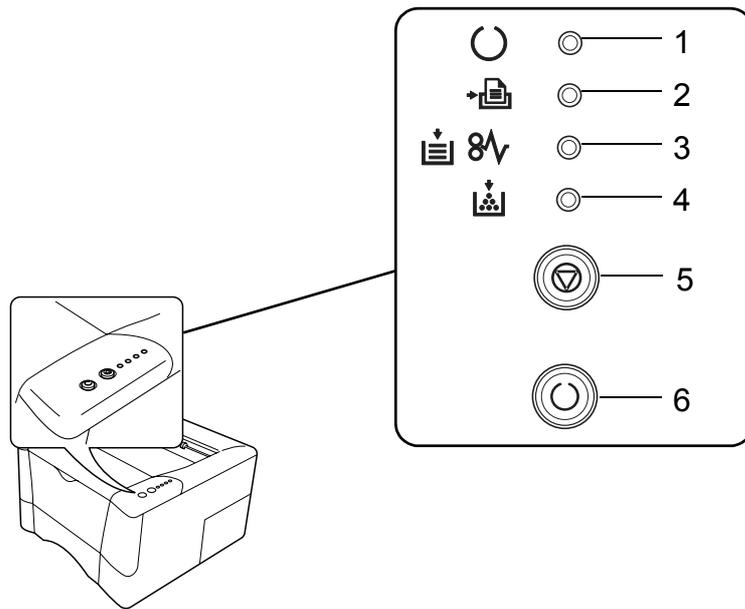
この章では操作パネル部のインジケータ、キーの説明、およびユーティリティのリモート・オペレーションパネルのインストールとその使いかたについて解説します。

操作パネルの名称と機能	1-2
KM-NET Remote Operation Panel (リモート・オペレーションパネル)について	1-7
KM-NETリモート・オペレーションパネルの基本設定	1-13
用紙に関連する設定	1-18
プリンタの基本設定	1-28
その他の設定	1-41

操作パネルの名称と機能

プリンタ上部の操作パネルには4つのインジケータと2つのキーがあります。これらのインジケータは点灯、消灯、点滅の組み合わせによって、プリンタの現在の状態(通常/エラー)をあらわします。

インジケータやキーの名称と説明は、次ページからの表を参照してください。下図の番号は、表の参照番号に対応しています。



インジケータの表示とその意味

参照番号	名前	状態	意味
1	オンライン インジケータ  (緑色)	点灯	プリンタはオンライン状態です。(印刷可能です。)
		点滅	<ul style="list-style-type: none"> エラーが起きていますが、キーを押すと処理を続行します。 プリンタはオフラインの状態です。印刷は行いませんが、データの受信は可能です。 プリンタがスリープモードになっています。操作パネルのキーを押したり、本体のカバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。
		消灯	エラーによりプリンタが停止しています。
2	データ インジケータ  (緑色)	点灯	データ処理中です。
		点滅	データ受信中です。
3	注意 インジケータ  (赤色)	点灯	本体のカバーが開いています。
		点滅	<ul style="list-style-type: none"> 紙詰まりが起きています。 給紙カセットが正しく装着されていないか、または用紙が入っていません。
		消灯	正常な状態です。
4	トナー インジケータ  (赤色)	点灯	トナーが無くなりました。新しいトナーコンテナに交換してください。
		点滅	トナーが残り少なくなりました。新しいトナーコンテナの準備をしてください。

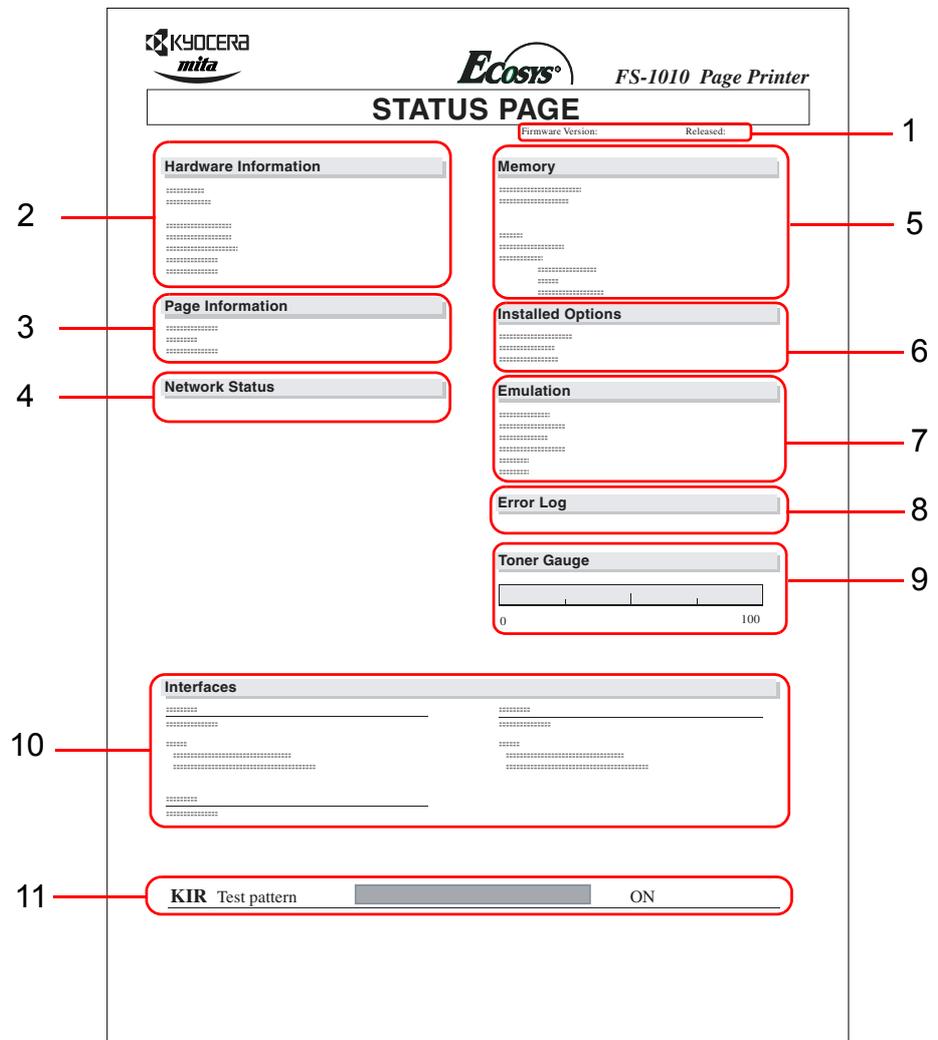
キーの機能

参照番号	名前	機能
5	 キー (キャンセル キー)	1秒以上押しつづけると、実行中の処理を中止します。
6	 キー (実行キー)	<ul style="list-style-type: none"> このキーを押すと(3秒以内)、プリンタのオンラインとオフラインを切り替えます。 給紙トレイに用紙が無くなったとき、このキーを押すと多目的トレイと給紙カセットを切り替えて給紙します。 このキーを押してから操作を続けるようリモート・オペレーションパネルにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、このキーを押してから操作を続行してください。 3秒以上10秒以内の間押しつづけると標準ステータスページ*が印刷されます。 10秒以上押しつづけると、サービス・ステータスページが印刷されます。

* 標準ステータスページについては1-4ページを参照してください。サービス・ステータスページは修理などの際にサービス担当者が使用します。

ステータスページ

各項目については、次のページで解説しています。



お知らせ

プリンタのファームウェアのバージョンにより、標準ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。

1 — ファームウェアバージョン (Firmware Version)

ファームウェアのバージョンと発行日付です。

2 — プリンタ設定状況 (Hardware Information)

用紙カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンタの主な設定項目についての情報を表示します。

3 — ページ情報 (Page Information)

現在の解像度、設定印刷枚数、総印刷枚数を表示します。

4 — ネットワークステータス (Network Status)

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP 欄には、IP アドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

5 — メモリー使用状況 (Memory)

プリンタに装着されている総メモリーと、現在使用可能なメモリー、および現在のRAM ディスクの状態が表示されます。

6 — 装着オプション (Installed Options)

プリンタのオプション機器の装着状態を表示します。

7 — エミュレーション (Emulation)

設定できる全エミュレーションを表示します。工場出荷時は PCL エミュレーションに設定されています。

8 — イベント履歴 (Error Log)

KPDL エラー、メモリー関連のエラーおよびメモリーカード関連のエラーが発生した場合に、順番に 3 つまでが表示されます。これらのエラーはリモート・オペレーションパネルを使用しているときに、コンピュータの画面に表示されず。

最後に起きたエラーはエラーログの先頭行に表示されます。エラーの処置方法については、[第3章 困ったときは](#)を参照してください。プリンタの電源を切ると、エラー情報は消去されます。

9 — トナー残量 (Toner Gauge)

トナーコンテナ内の、およそのトナー残量を表示します。100 から 0 に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

10 — インタフェース (Interfaces)

プリンタのすべてのインタフェースと、それぞれのインタフェースに設定されているエミュレーションとフォント関連の情報が表示されます。

11 — KIRテストパターン (KIR Test Pattern)

プリンタのKIRモードを設定する際に利用します。詳しくは1-29ページの **KIRモードの選択** を参照してください。

KM-NET Remote Operation Panel (リモート・オペレーションパネル)について

リモート・オペレーションパネルはプリンタ付属のCD-ROMに収録されています。リモート・オペレーションパネルをコンピュータにインストールすれば、コンピュータのディスプレイ上にプリンタの状態や紙詰まりなどのエラーメッセージを表示させたり、コンピュータからプリンタの基本的な設定を行うことができます。リモート・オペレーションパネルから設定した内容は、プリンタのデフォルト設定になります。ただし印刷時はアプリケーションソフトからの設定が優先します。

動作環境

リモート・オペレーションパネルは Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上で動作します。Windows 95/98/Me 上ではパラレルインタフェース接続またはネットワーク接続(TCP/IPまたはIPX/SPX)で、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP 上ではネットワーク接続でのみ使用することができます。

Ⓐお知らせ

- リモート・オペレーションパネルは上記以外の OS 上では動作しません。またリモート・オペレーションパネルは、プリンタ付属のCD-ROMに収録されているKyocera Mita FS-1010 KXドライバとの組み合わせで使用してください。
- ローカル接続している場合には、アプリケーションソフトからの印刷は、リモート・オペレーションパネルを閉じてから行ってください。

KM-NETリモート・オペレーションパネルのインストール

プリンタ付属の CD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入すると、セットアップ画面が自動的に表示されます。リモート・オペレーションパネルをインストールするには、画面に表示される指示に従って操作してください。ここでは Windows Me でのインストールを例にしていますが、Windows 98/2000/XPでも同様の手順でインストールできます。

- 1 **Kyocera Mita Digital Library CD-ROM** をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットしてください。しばらくすると、**使用許諾**の画面が表示されます。
- 2 **使用許諾を表示**をクリックしてください。**使用許諾契約書**が表示されます。



コンピュータに Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合、次のダイアログボックスが表示されます。**はい**ボタンをクリックすると、Adobe Acrobat Reader をインストールします。



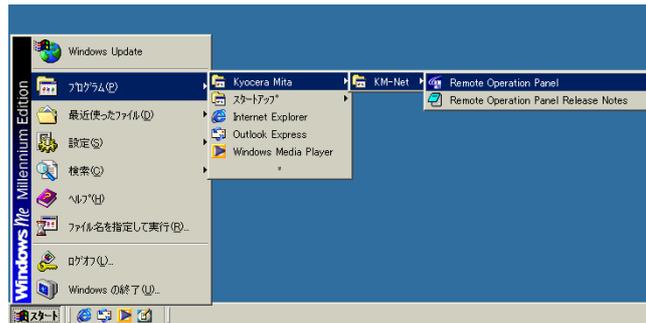
- 3 表示された**使用許諾契約書**の内容をよくお読みになり、同意いただける場合は**使用許諾**の画面に戻って、**同意する** (同意) をクリックしてください。しばらくすると、**メインメニュー**が表示されます。

- 4** プリンタ ユーティリティをクリックし、KM-NET Remote Operation Panel のインストールをクリックしてください。リモート・オペレーションパネルのインストールを開始します。

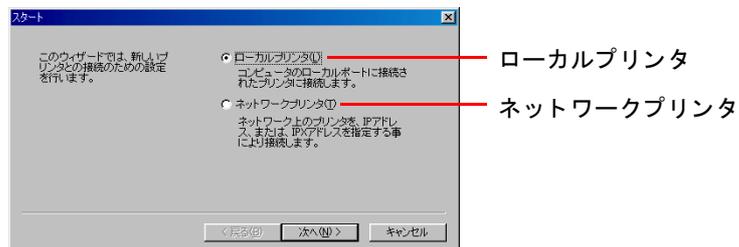


KM-NETリモート・オペレーションパネルの起動

- 1 Windows のタスクバーにあるスタートボタンをクリックしてプログラムにカーソルを合わせ、Kyocera Mita, KM-Net の順にカーソルを合わせて、表示された項目の中から Remote Operation Panel をクリックしてください。



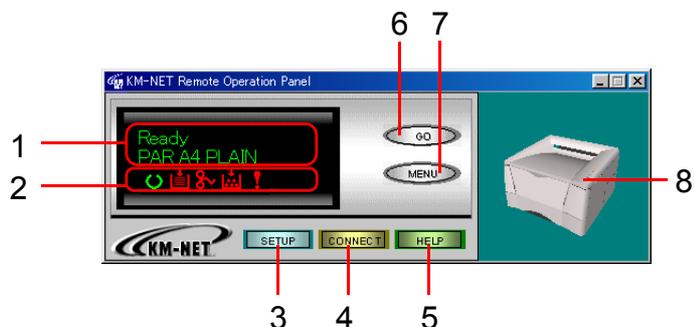
- 2 接続のためのウィザードが起動します。ローカル接続されたプリンタに接続するには、ローカルプリンタを選択して次へをクリックしてください。ネットワーク接続されたプリンタに接続するには、ネットワークプリンタを選択して次へをクリックしてください。



- 3 画面の指示にしたがって操作してください。ウィザードに表示される内容は選択した接続形態によって異なります。

KM-NETリモート・オペレーションパネルの名称と機能

リモート・オペレーションパネルの起動画面



次の表でリモート・オペレーションパネル各部の名称と機能を説明します。図の番号は、下表の参照番号の数字に対応します。

参照番号	名前	機能
1	メッセージディスプレイ (1) (3) (4)  (2)	(1) ReadyやPaper jamなどの、プリンタの状態やエラーメッセージを表示します。プリンタのステータスが表示されます。 (2) 現在選択されているインタフェースを表示します。 PAR: 標準パラレルインタフェース OPT: オプションのネットワークインタフェース (3) 現在選択されている給紙カセットの用紙サイズを表示します。 (4) 現在選択されている給紙カセットの用紙のタイプを表示します。 お知らせ ・ (2) から (4) は、プリンタがネットワーク接続されている場合に表示されます。 ・ エラーが発生すると、(2) から (4) の表示は消え、エラーメッセージを表示します。
2		プリンタの状態をアイコンで表示します。  : 印刷できます。  : 給紙カセットが正しく装着されていないか、または用紙が入っていません。  : 紙詰まりが起きています。3-14 ページの 紙詰まりの処置 を参照して、詰まった用紙を取り除いてください。  : トナーが残り少なくなっているか、または無くなっています。新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは、2-2 ページの トナーコンテナの交換 を参照してください。  : エラーが起きています。3-5 ページの インジケータ を参照して、表示されたメッセージについての説明をご覧ください。

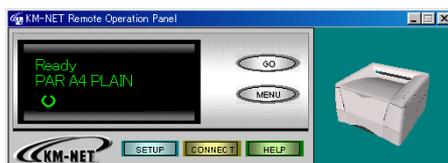
次ページへ続く

参照番号	名前	機能
3	SET UP ボタン 	リモート・オペレーションパネルの以下の項目の基本設定を行えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ポーリング間隔 ・エラー通知 ・プリンタ画像表示 詳しくは、1-13ページの KM-NETリモート・オペレーションパネルの基本設定 の基本設定を参照してください。
4	CONNECT ボタン 	プリンタとコンピュータの接続方法を選択する画面が表示されます。パラレルインタフェース接続またはネットワーク接続のいずれかを選択します。詳しくは、1-16ページの プリンタとの接続 を参照してください。
5	HELP ボタン 	ヘルプが表示されます。
6	GO ボタン 	このボタンはプリンタの  キーと同様に、以下の機能をもっています。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタのオンラインとオフラインの切り替え ・リモート・オペレーションパネルに Press GO のエラーメッセージが表示された場合の処理の続行 お知らせ プリンタがローカル接続されている場合は、ボタンに「GO」の文字は表示されません。また、ボタン自体も機能しません。
7	MENU ボタン 	リモート・オペレーションパネルから設定できる、プリンタの設定メニューを表示します。詳しくは、1-17 ページの 設定メニュー を参照してください。
8	プリンタイメージ 	プリンタの状態をアニメーションで視覚的に表示します。たとえばプリンタの上部カバーが開いている場合、プリンタイメージの上部カバーも開いて表示されます。 お知らせ プリンタの状態が、プリンタイメージに反映されるまでに数分かかる場合があります。

KM-NETリモート・オペレーションパネルの基本設定

リモート・オペレーションパネルでプリンタの設定を行う前に、ポーリング間隔、エラー通知、プリンタの状態をモニタするための3D表示のプリンタイメージを表示させるかどうかなど、リモート・オペレーションパネルの動作設定を以下の手順で変更することができます。

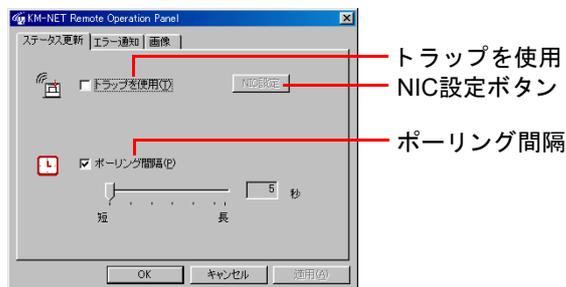
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の **SETUP** ボタンをクリックしてください。



- 2 次のダイアログボックスが表示されますので、説明を読んで設定を行ってください。

ステータス更新

ステータス更新タブをクリックしてください。



トラップを使用(自動通知)

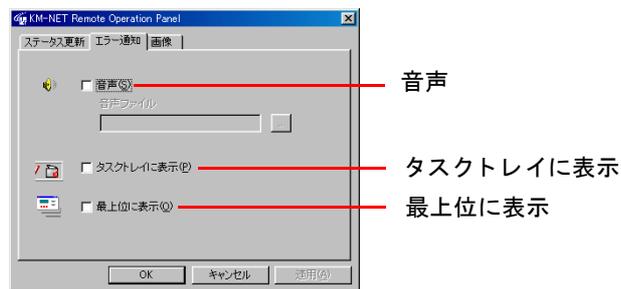
このチェックボックスをチェックすると、たとえば上部カバーが開いているか閉まっているかなど、ネットワークインタフェースカードから自動的に出力されるプリンタの状態に関する情報をリモート・オペレーションパネルが取得して、画面に表示します。この機能を有効にするにはネットワークインタフェースカードからのステータス通知機能が有効になっている必要があります。NIC設定ボタンをクリックしてネットワークインタフェースカードのホームページを開き、SNMPのトラップ通知を有効にしてください。

ポーリング間隔

このチェックボックスをチェックしてポーリングを有効にすると、リモート・オペレーションパネルが一定の間隔でプリンタの状態の変化を確認します。この間隔は、マウスでスライダを移動させることで変更できます。初期設定値は5秒です。通常はポーリングを有効にしておいてください。

エラー通知

エラー通知タブをクリックしてください。該当するチェックボックスをチェックすると、それぞれの項目が有効になります。



ここではエラー通知の方法を設定します。

音声

エラーが起こると音声ファイルが再生されます。チェックボックスをチェックしてから音声ファイルボックス右のボタンをクリックすると、再生するファイルを選択するダイアログボックスが表示されますので、拡張子「.wav」のファイルを指定してください。

タスクトレイに表示

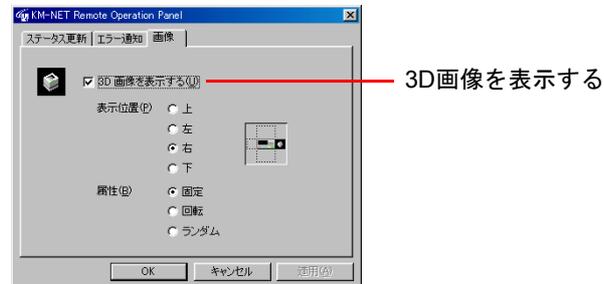
エラーが起こるとタスクトレイにアイコンを表示して通知します。

最上位に表示

エラーが起こると、そのとき開いている全ウィンドウの最上位にメッセージを表示します。

画像

画像タブをクリックしてください。



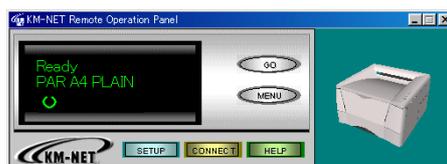
3D画像を表示する

プリンタの状態をモニタするための、3D表示のプリンタイメージを表示します。また、この画面でプリンタイメージの表示位置とアニメーション動作(固定、回転、ランダム)を選択することもできます。

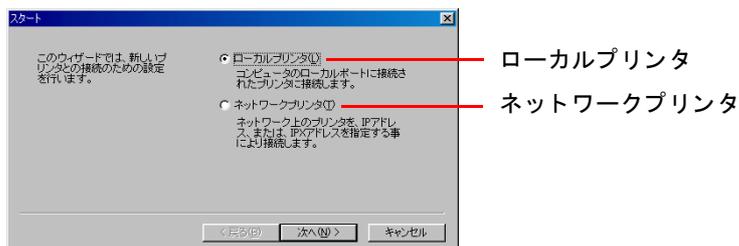
プリンタとの接続

リモート・オペレーションパネルは、プリンタとコンピュータがパラレルインタフェースでローカル接続されている場合にも、ネットワーク (TCP/IP または IPX/SPX) 接続されている場合にも使用することができます。プリンタとの接続は、次の手順で行ってください。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面のCONNECTボタンをクリックしてください。



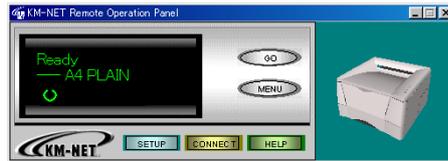
- 2 接続のためのウィザードが起動します。ローカル接続されたプリンタに接続するには、**ローカルプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください。ネットワーク接続されたプリンタに接続するには、**ネットワークプリンタ**を選択して**次へ**をクリックしてください。



- 3 画面の指示にしたがって操作してください。ウィザードに表示される内容は選択した接続形態によって異なります。

設定メニュー

リモート・オペレーションパネルの MENU ボタンをクリックすると、設定メニューが表示されます。メニューに表示される内容は、プリンタにインストールされたオプションとパラレルインタフェース接続かネットワーク接続かによって異なります。



お知らせ

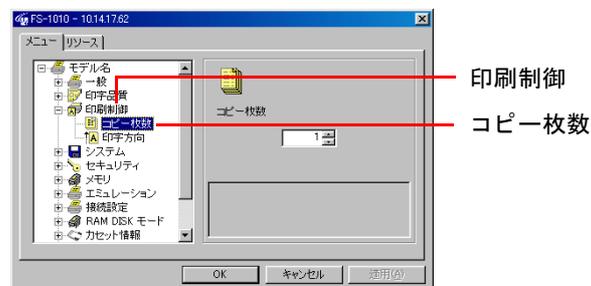
リモート・オペレーションパネルでパスワードを設定している場合、はじめにパスワードの入力画面が表示されますので、パスワードを入力して OK ボタンをクリックしてください。詳しくは、1-42 ページの [プリンタのパスワード設定](#) を参照してください。

用紙に関連する設定

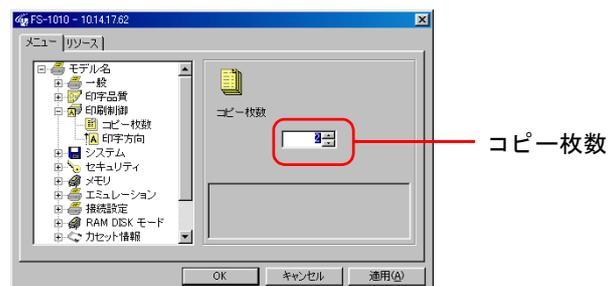
コピー枚数(印刷枚数)の設定

ここでは印刷時のコピー枚数(印刷枚数)を設定します。ここで設定した値が、現在のインターフェースのデフォルト設定値になります。初期値として1が設定されています。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。印刷制御をダブルクリックし、コピー枚数をクリックしてください。



- 3 コピー枚数のスピンドックスの▲または▼ボタンをクリックするか、コンボボックス内に印刷したい数値を直接入力してください。最大 999 枚まで設定できます。

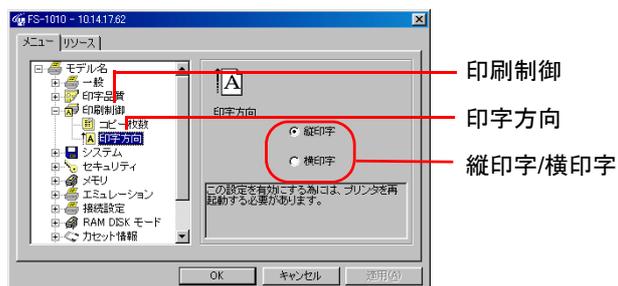


- 4 数値を入力し、OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

印刷方向の設定

ここでは、印刷する向きを選択します。初期設定は縦印字です。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。印刷制御をダブルクリックし、印字方向をクリックしてください。右側のラジオボタンをクリックして縦印字、横印字のいずれかを選択してください。

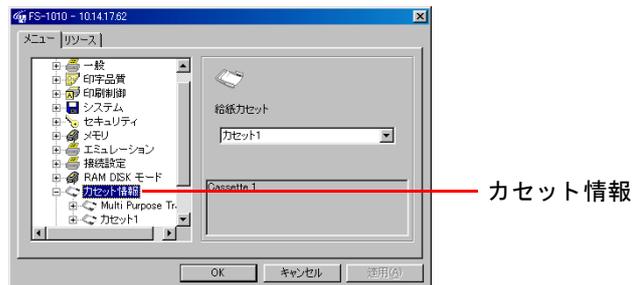


- 3 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。
- 4 プリンタの電源を入れ直してプリンタを再起動してください。プリンタが再起動されると設定が有効になります。

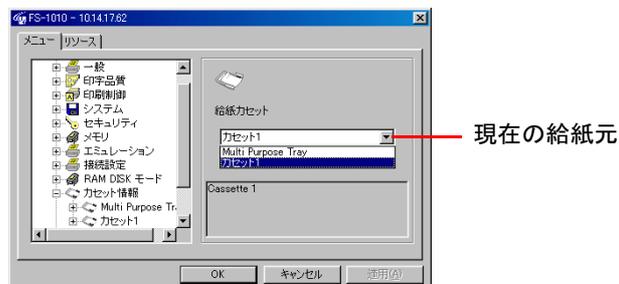
給紙元の選択

用紙の給紙元を選択します。初期設定ではプリンタの給紙カセット(カセット1)が選択されています。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。カセット情報をダブルクリックしてください。



- 3 給紙カセットのプルダウンメニューの▼ボタンをクリックすると、給紙元の一覧が表示されますので、選択したい給紙元をクリックしてください。Multi Purpose Tray は多目的トレイ、カセット 1 はプリンタの給紙カセット、オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、カセット 2 が表示されます。

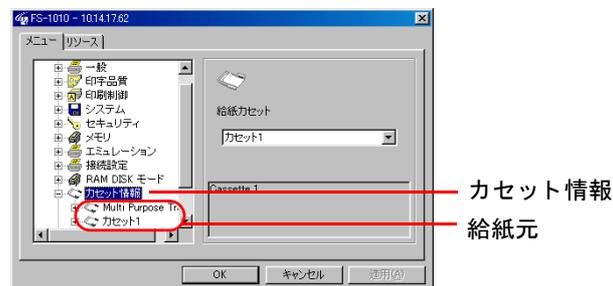


- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

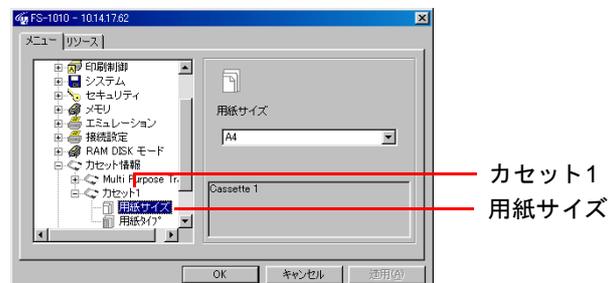
用紙サイズの設定

各給紙元の用紙サイズを設定します。初期設定は A4 サイズが設定されています。

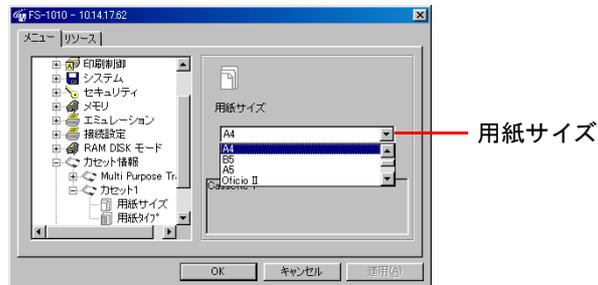
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。カセット情報をダブルクリックすると、給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、カセット2も表示されます。



- 3 プリンタの給紙カセットを設定するにはカセット1をダブルクリックし、用紙サイズをクリックしてください。



- 4** 用紙サイズのプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、設定したい用紙サイズを選択してください。



お知らせ

多目的トレイや、オプションのPF-17の用紙サイズを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

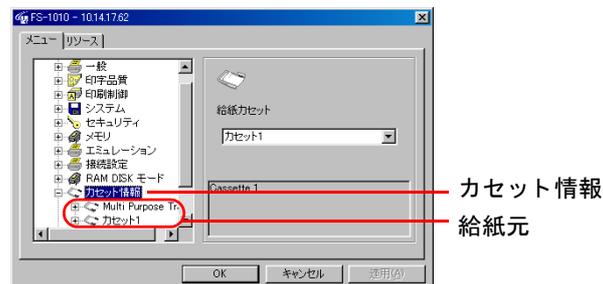
- 5** OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

給紙元の用紙タイプ設定

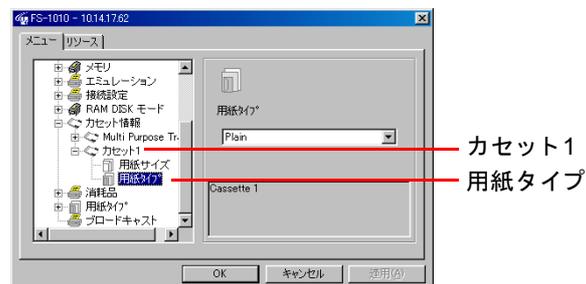
給紙元ごとに用紙タイプを選択することができます。デフォルトは **Plain**(普通紙)です。

1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の **MENU** ボタンをクリックしてください。

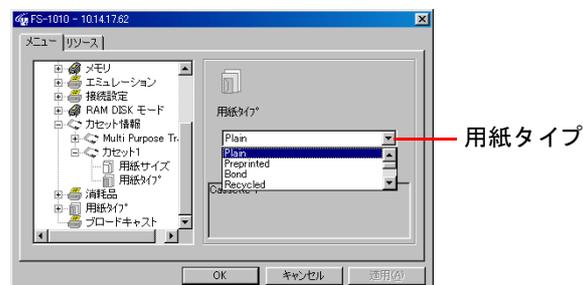
2 メニューが表示されます。**カセット情報**をダブルクリックすると、プリンタの給紙元が表示されます。



3 **カセット1**をダブルクリックし、**用紙タイプ**をクリックしてください。



4 **用紙タイプ**のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、用紙のタイプを選択してください。



設定可能な用紙タイプについては下の表を参照してください。

用紙タイプ	給紙元	多目的トレイ	給紙カセット
Plain (普通紙)[64~90 g/m ²]	○	○	○
Transparency (OHPフィルム)	○	○	×
Preprinted (プレ印刷紙)	○	○	○
Labels (ラベル用紙)	○	○	×
Bond (証券)	○	○	○
Recycled (再生紙)[64~90 g/m ²]	○	○	○
Vellum (薄紙)[64 g/m ² 未満]	○	○	×
Rough (厚紙)[90 g/m ² 以上]	○	○	○
Letterhead (レターヘッド)	○	○	○
Color (着色紙)	○	○	○
Prepunched (穴あき用紙)	○	○	○
Envelope (封筒)	○	○	×
Cardstock (はがき)	○	○	×
Custom 1から8 (ユーザー定義)*	○	○	○

○: 給紙できます ×: 給紙できません

* 任意の用紙タイプ設定を、8種類まで登録できます。詳しくは、1-26ページの[用紙の厚さ設定](#)を参照してください。

△お知らせ

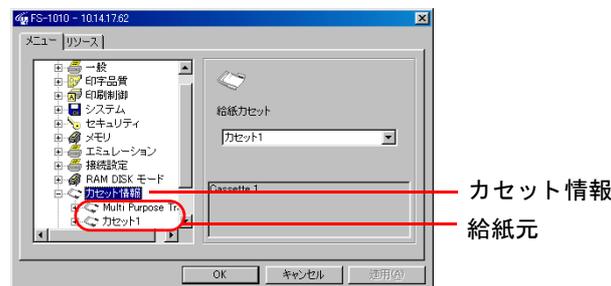
多目的トレイ (Multi Purpose Tray) や、オプションの PF-17 (カセット 2) の用紙タイプを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

- 5** 用紙タイプを選択したら、OK ボタンをクリックして、初期画面に戻ります。指定した給紙元の用紙タイプが変更されています。

給紙元のプロパティ

給紙元の用紙の有無や、セットできる用紙枚数など、給紙元の情報を確認できます。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。カセット情報をダブルクリックすると、給紙元が表示されます。オプションのペーパーフィードを装着している場合は、カセット1の下にカセット2も表示されます。



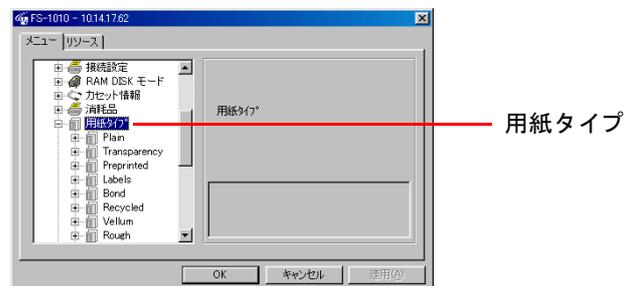
- 3 情報を確認したい給紙元をクリックすると、プロパティが表示されます。



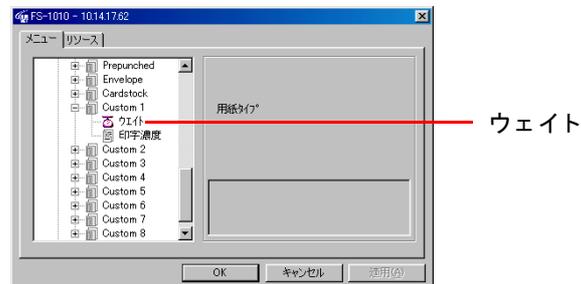
用紙の厚さ設定

任意(カスタム)に設定した用紙タイプの、紙の厚さを設定することができます。普通、重い、軽いから選択してください。初期設定では普通に設定されています。

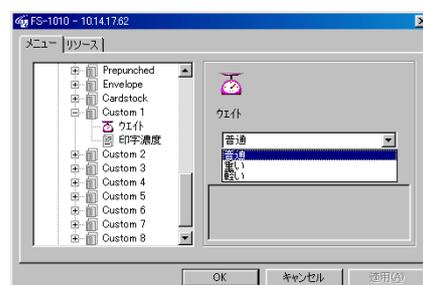
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面のMENUボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。用紙タイプをダブルクリックすると、用紙タイプが表示されます。



- 3 Custom 1をダブルクリックし、ウェイトをクリックしてください。



- 4 ウェイトのプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、用紙のウェイトを普通、重い、軽いから選択してください。



用紙のウェイトと設定の関係は、次の表を参照してください。

用紙タイプの設定	用紙の厚さ
軽い	64 g/m ² 未満
普通(初期設定)	64~90 g/m ² OHPフィルム(多目的トレイのみ)
重い	90 g/m ² 以上 封筒(64~90 g/m ²)[多目的トレイのみ]

🔔お知らせ

Custom 2~8の用紙タイプのウェイトを設定する場合も、同様に設定を行ってください。

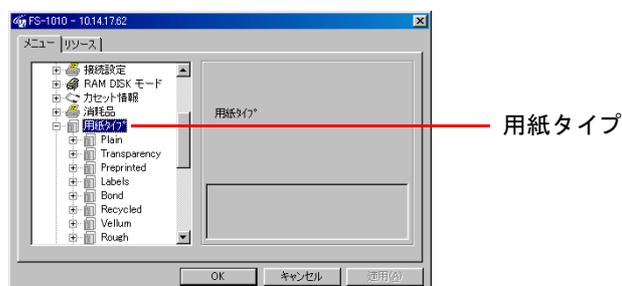
- 5** OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

プリンタの基本設定

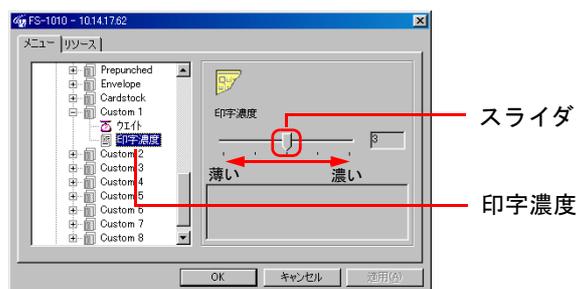
印刷濃度の設定

任意(カスタム)に設定した用紙タイプでは、それぞれに印刷濃度を設定することができます。最も薄い1から、最も濃い5まで5段階のレベルが選択できます。初期値として3が設定されています。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。用紙タイプをダブルクリックすると、用紙の種類が表示されます。



- 3 任意(カスタム)に設定した用紙タイプ(Custom 1 ~ 8)をダブルクリックし、印字濃度をクリックしてください。マウスで印字濃度のスライダを左に動かすと薄く、右に動かすと濃くなります。



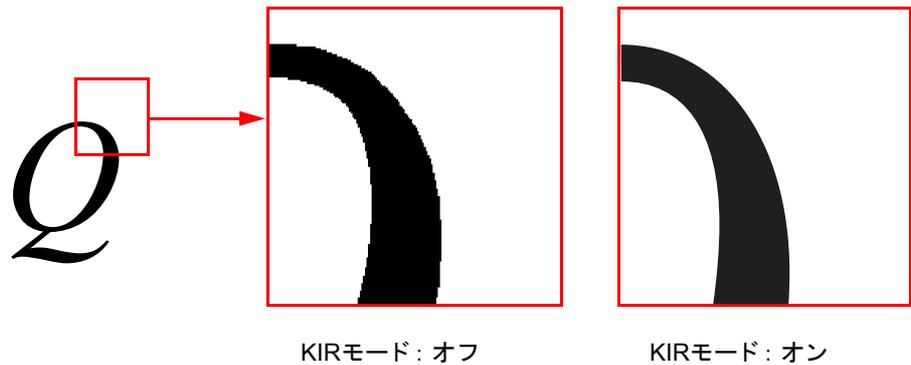
お知らせ

Custom 1 ~ 8以外の用紙タイプは、最適な印刷濃度が設定されているため、変更できません。

- 4 印刷濃度を選択したら、OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

KIRモードの選択

本プリンタはスムージング機能、KIR (Kyocera Image Refinement) を搭載しています。KIR はプリンタの解像度をソフト的に向上させることによって、高品質の印刷を実現します。KIRは初期設定ではオンに設定されています。

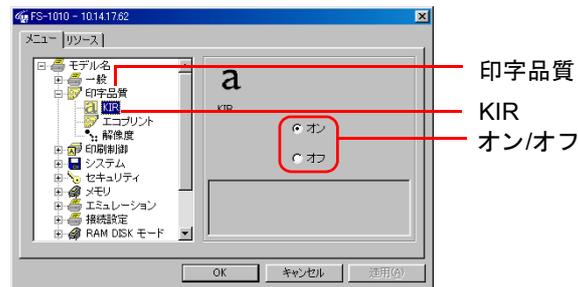


お知らせ

KIRはプリンタの印刷スピードには影響しません。

KIRモードの設定は次の手順で変更できます。

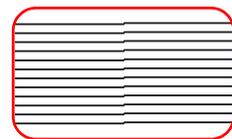
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。印字品質をダブルクリックして、KIRをクリックしてください。画面右側のラジオボタンをクリックして KIR モードのオンとオフを切り替えることができます。



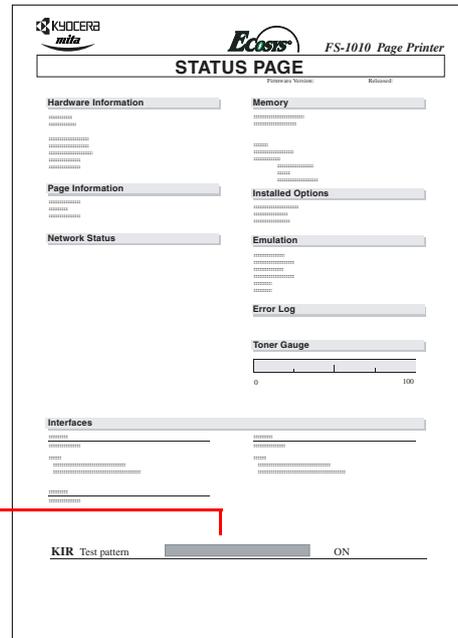
- 3 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

KIRは標準ステータスページの最下段にあるKIRチェックラインを確認しながら、最適な設定を行うことができます。標準ステータスページの印刷方法については、1-3ページの [キーの機能](#) を参照してください。

ステータスページ

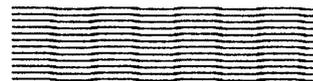


KIRチェック・ライン



最適な状態

最適なKIR状態です。



濃すぎる状態

KIR モードを**オフ**に設定してみてください。設定をした後、再度ステータスページを印刷してください。それでも濃いと思われる場合は、**印字濃度**を調整してください。(1-28 ページの**印刷濃度の設定**を参照)

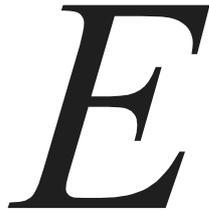


薄すぎる状態

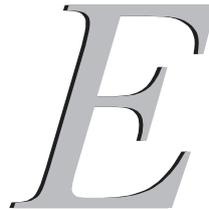
KIR モードを**オン**に設定してみてください。設定をした後、再度ステータスページを印刷してください。それでも濃いと思われる場合は、**印字濃度**を調整してください。(1-28 ページの**印刷濃度の設定**を参照)

エコプリントモードの選択

本プリンタはトナーの消費量を抑えて印刷を行う、エコプリント (Ecoprint) 機能を搭載しています。エコプリントは、初期設定では**オフ**に設定されています。エコプリントをオンに設定すると、トナーの消費量は抑えられ印刷は薄く感じられます。



エコプリント：オフ

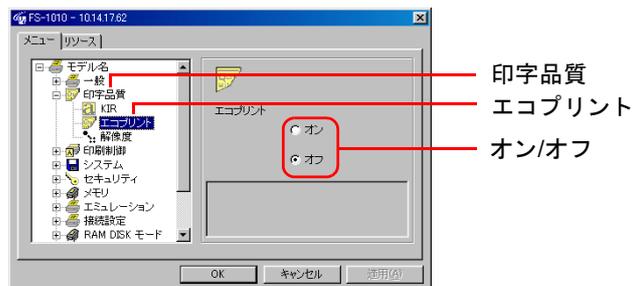


エコプリント：オン

お知らせ

エコプリントは、プリンタの印刷スピードには影響しません。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。印字品質をダブルクリックして、エコプリントをクリックしてください。画面右側のラジオボタンをクリックしてエコプリントの**オン**と**オフ**を切り替えてください。

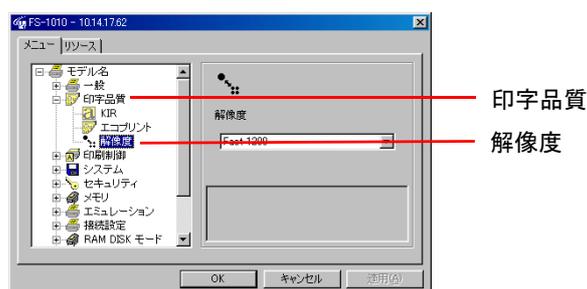


- 3 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

解像度の選択

プリンタの解像度を設定することができます。初期設定ではFast 1200モードに設定されています。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。印字品質をダブルクリックして、解像度をクリックしてください。



- 3 解像度のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、Fast 1200、600 または300 (dpi) を選択してください。

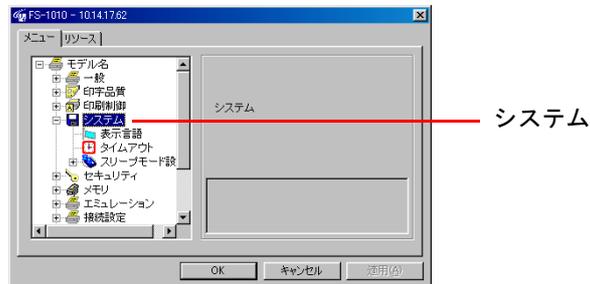


- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

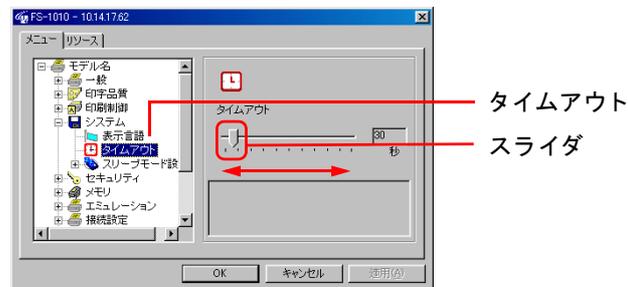
自動改ページ待ち時間(タイムアウト)の設定

プリンタはコンピュータから最後のデータを受け取ったあと、コンピュータからデータが終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに一定時間待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページを行います。待ち時間は5秒単位で最大495秒までの設定が可能です。初期設定は30秒に設定されています。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。システムをダブルクリックしてください。



- 3 タイムアウトをクリックし、マウスで画面右側のスライダを左右に動かしてタイムアウト時間を設定してください。0 秒に設定すると、自動改ページは行いません。

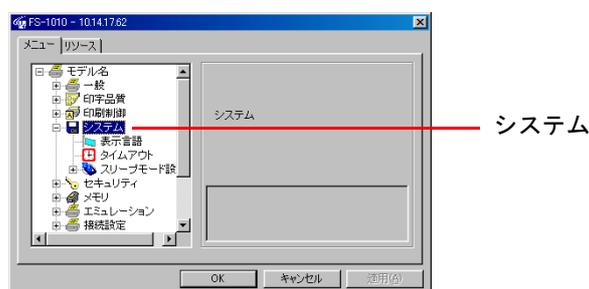


- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

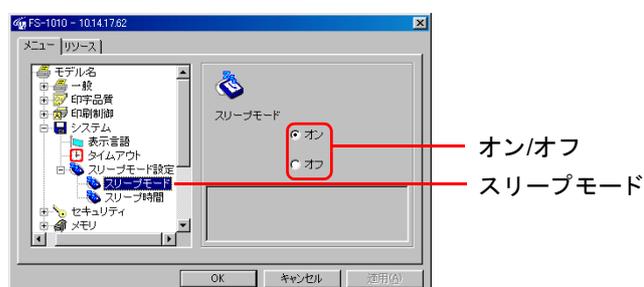
スリープモードの設定

本プリンタは、データの受信や印刷などの処理を行っていないときに消費電力を抑えるスリープモードを搭載しています。データの受信や処理を行わない状態がどれだけ続くとスリープモードに切り替わるかを設定することができます。初期設定では5分に設定されています。

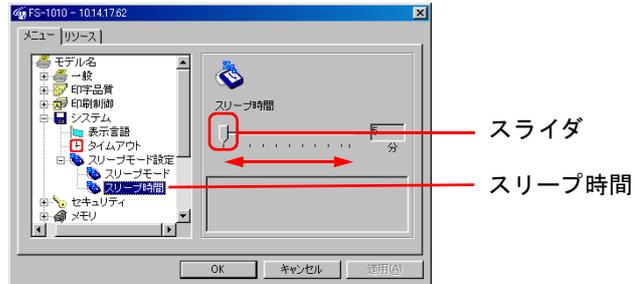
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面のMENUボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。システムをダブルクリックし、スリープモード設定をダブルクリックしてください。



- 3 スリープモードをクリックし、画面右側のラジオボタンをクリックしてスリープモードのオンとオフを切り替えてください。



- 4** スリープモード設定をオンにした場合は、次にスリープ時間をクリックし、マウスで画面右側のスライダを左右に動かしてスリープモードに切り替わるまでの時間を設定します。時間は5分から240分まで5分単位で設定することができます。



- 5** OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

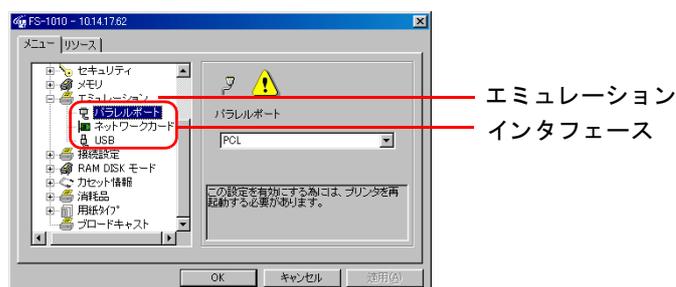
エミュレーションの選択

エミュレーションは、プリンタのインタフェースごとに設定することができます。本プリンタで選択できるエミュレーションは以下のとおりです。設定したエミュレーションは、プリンタの電源が切れた後も記憶されます。初期設定ではPCLが選択されています。

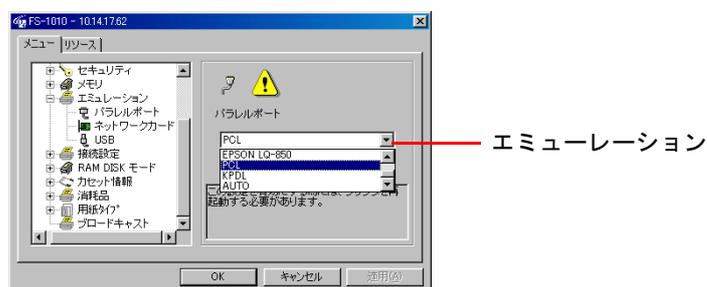
- Line Printer
- IBM Proprinter
- DIABLO 630
- EPSON LQ-850
- PCL(初期設定)
- KPDL
- AUTO(KPDL AUTO)

1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。

2 メニューが表示されます。エミュレーションをダブルクリックし、エミュレーションの設定を行うインタフェースをクリックしてください。(下の画面はパラレルポートを選択した例です。)



3 パラレルポートのプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、エミュレーションを選択してください。



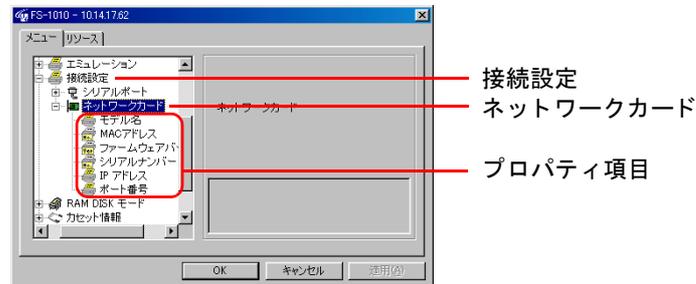
4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。

5 プリンタの電源を入れ直してプリンタを再起動してください。プリンタが再起動すると設定が有効になります。

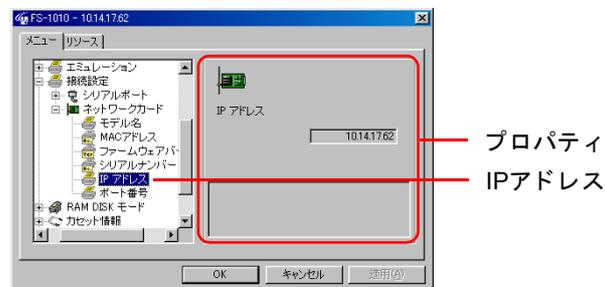
ネットワークインタフェースカードの設定

オプションのネットワークインタフェースカードを装着している場合に、そのバージョン、シリアルナンバー、型名、ネットワークアドレスなどの情報を確認することができます。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。接続設定をダブルクリックし、ネットワークカードをクリックすると、ネットワークインタフェースカードのプロパティ項目が表示されます。



- 3 内容確認したい項目をクリックすると、画面の右側に選択した項目のプロパティが表示されます。(下の画面はIPアドレスを選択した例です。)



- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。

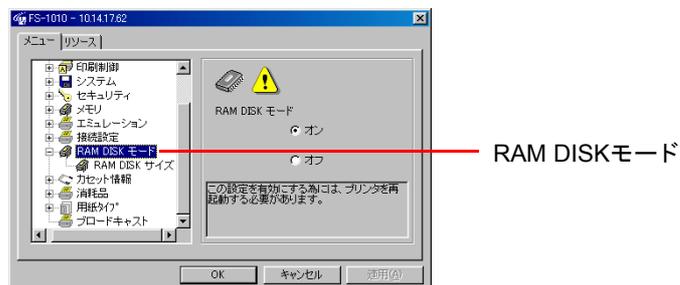
RAMディスクの設定

RAM ディスクとはメモリーの一部を利用した仮想ディスク領域で、プリンタの総メモリーの中から任意のメモリーサイズをRAMディスクとして設定することによって電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。RAMディスクは、初期設定ではオフに設定されています。

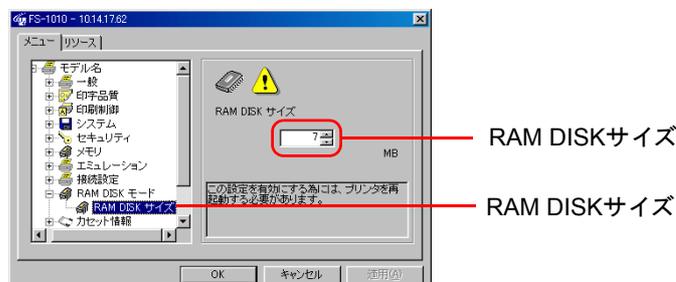
お知らせ

- RAM ディスクに書きこまれたデータは、プリンタをリセットしたり電源を切った場合には消去されますのでご注意ください。
- RAM ディスクはプリンタの「User available memory」(標準ステータスページの中で確認できます。)の中から設定されます。したがってRAMディスクの設定値によっては、プリンタの印刷速度が落ちたり、メモリー不足が発生したりする場合がありますのでご注意ください。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。RAM DISK モードをダブルクリックし、画面右側のラジオボタンのオンをクリックしてください。



- 3 RAM ディスクのサイズを設定するには RAM DISK サイズをクリックし、画面右側にあるスピンドボックスの▲または▼ボタンをクリックするか、ボックスに直接数値を入力してください。



🔔お知らせ

RAM ディスクの最大値はプリンタの総メモリーから 9MB を引いたものです。RAM ディスクをオンにしたときの初期値は 7MB (16MB-9MB) です。メモリーサイズの合計が 21MB 以上 144MB (最大値) 以下の場合、リモート・オペレーションパネルには、RAM ディスクサイズは実際のメモリーサイズに関係なく工場出荷時の 12MB が表示されます。▲ボタンを使用して、この値を最高135MBまで大きくすることができます。

- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。
- 5 電源を入れ直してプリンタを再起動してください。再起動後に設定が有効になります。

トナー残量の確認

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。消耗品をダブルクリックし、トナーをクリックしてください。



画面右側にトナーの残量が表示されます。

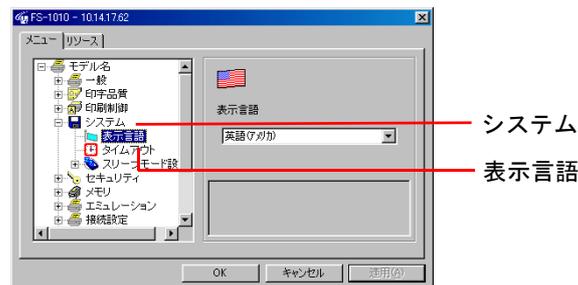
🔔お知らせ

トナー交換後にトナーカウンタをリセットすることにより、正しいトナー残量が表示されます。

リモート・オペレーションパネルの表示言語の選択

リモート・オペレーションパネルの表示言語を、変更することができます。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。システムをダブルクリックし、表示言語をクリックしてください。



- 3 表示言語のプルダウンメニューの▼ボタンをクリックし、表示言語を選択してください。(下の画像はドイツ語を選択した例です。)



- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

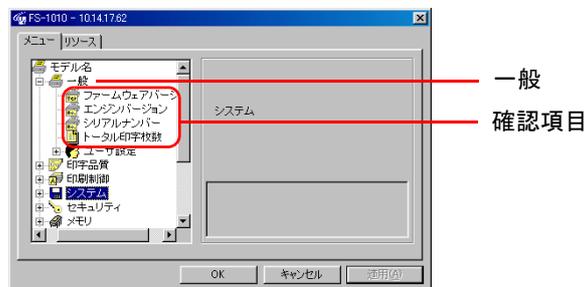


その他の設定

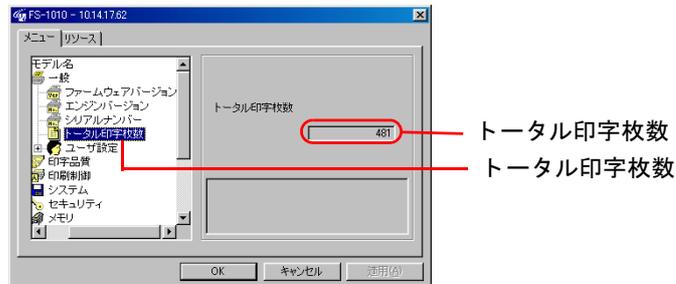
プリンタの設定

プリンタのシリアルナンバー、これまでの総印刷枚数などを確認することができます。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。一般をダブルクリックすると、各確認項目が表示されます。



- 3 内容を確認したい項目をクリックすると、画面右側にその内容が表示されます。(下の画面はトータル印字枚数を選択した例です。)

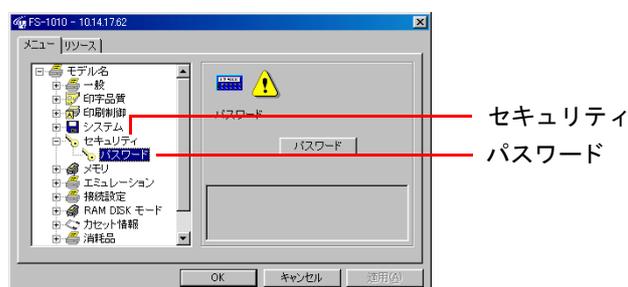


- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。

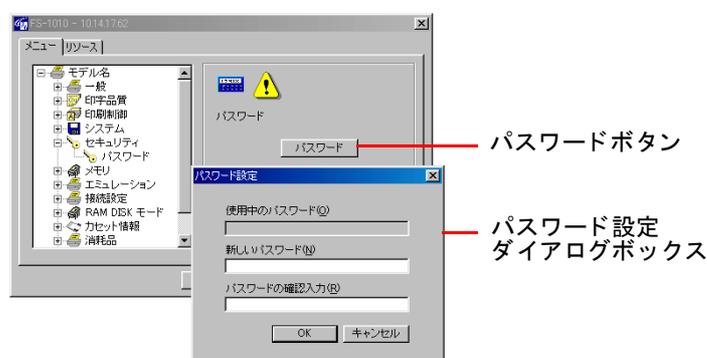
プリンタのパスワード設定

ネットワーク接続している場合には、プリンタにパスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、リモート・オペレーションパネルで設定を変更するときにパスワードの入力が必要になります。ただし、印刷はパスワードを入力しなくても行うことができます。

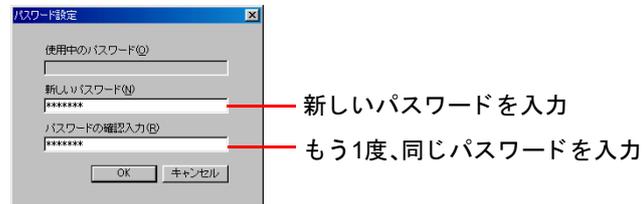
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。セキュリティをダブルクリックし、パスワードをクリックしてください。



- 3 パスワードボタンをクリックすると、パスワード設定ダイアログボックスが表示されます。



4 新しいパスワードに設定したいパスワードを入力し、確認のためパスワードの確認入力にもう1度同じパスワードを入力してください。



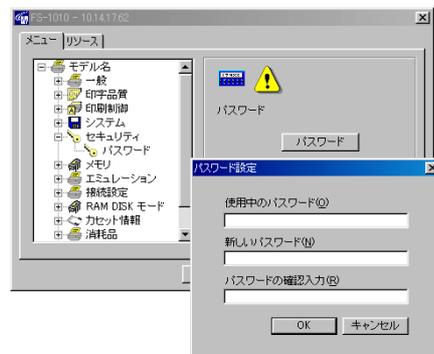
OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルにパスワードが設定されます。パスワードは忘れないよう必ず控えを取ってください。パスワードを設定すると、次回から、リモート・オペレーションパネルのMENU ボタンをクリックしたときに次のようなパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルのメニューが表示されます。



パスワードを変更するには

設定したパスワードを変更や解除するには、リモート・オペレーションパネルで次の手順を行ってください。

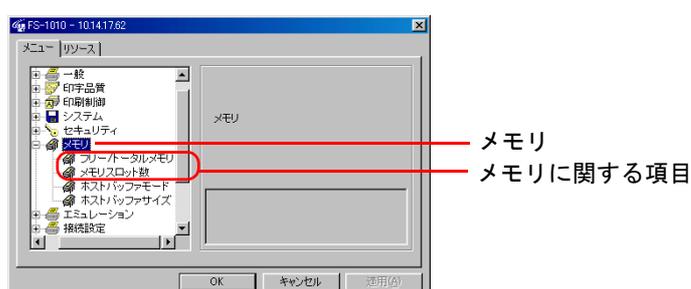
パスワード設定ダイアログボックス(手順1~3を参照)を表示させ、使用中のパスワードに現在設定されているパスワードを入力してください。パスワードを変更するには、新しいパスワードに新しく設定するパスワードを入力し、パスワードの確認入力に確認のためもう1度同じパスワードを入力してOK ボタンをクリックしてください。設定したパスワードを解除するには新しいパスワードとパスワードの確認入力を空欄にしたままOK ボタンをクリックしてください。



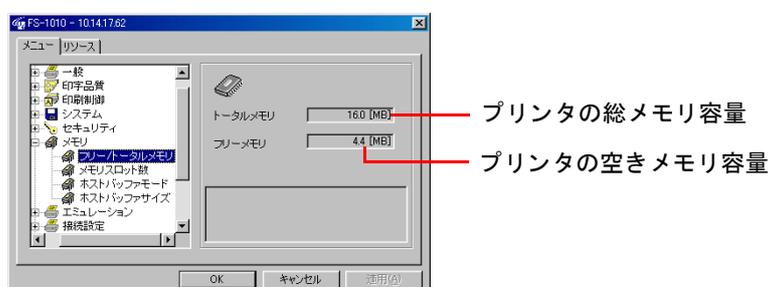
プリンタメモリーの確認

プリンタに搭載された総メモリー量と空きメモリー量を確認することができます。また、ネットワーク接続している場合には、プリンタに搭載されたメモリースロットの数も確認できます。(FS-1010のメモリースロットは1つです。)

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メモリをダブルクリックするとメモリーに関する項目が表示されます。



- 3 フリー/トータルメモリをクリックするとプリンタの空きメモリーと、搭載されている総メモリー容量を確認することができます。メモリースロット数をクリックするとプリンタのメモリースロットの数が表示されます (FS-1010のメモリースロットは1つです)。



お知らせ

ホストバッファに関する項目については、次ページの[ホストバッファの設定](#)を参照してください。

- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。

ホストバッファの設定

ホストバッファはプリンタのメインメモリー内に設けられる共有メモリーエリアで、異なるインタフェース経由で送られてくるデータを同時に処理するために使われます。本プリンタは、3つのインタフェースから送られてくるデータを処理するためにバッファ1、バッファ2、バッファ3の3つのホストバッファを搭載しています。

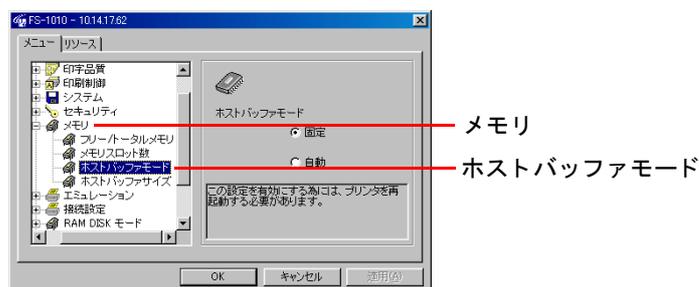
ホストバッファモードが固定に設定されていると、バッファ1はパラレルインタフェース経由で送られてくるデータだけに、バッファ2はネットワークインタフェース経由で送られてくるデータだけに使用されます。バッファ3には、USBインタフェースで受信されたデータだけが格納されます。初期設定では固定に設定されています。ホストバッファモードが自動に設定されていると、コンピュータから送られてくるプリントデータは、空いているバッファに蓄積されます。このとき、異なるインタフェースからデータが送られてくると、そのデータは使用していないもう一方のホストバッファに蓄積されます。

ホストバッファのサイズは、工場出荷時には3つのバッファの合計が500KBに設定されていますが、この設定はプリスクライブ FRPO H8 コマンドを使って変更することができます(詳しくは、[第5章 ファームウェアパラメータ](#)を参照してください)。総バッファサイズは5KBからプリンタの空きメモリーの容量の範囲で設定することができます。

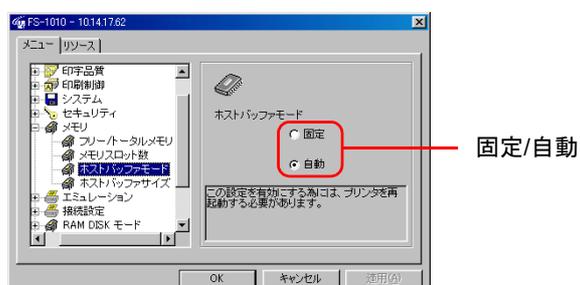
お知らせ

ホストバッファモードとホストバッファサイズは、初期設定のままお使いになることをおすすめします。

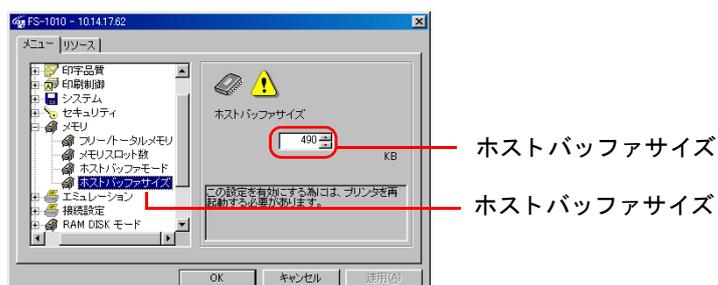
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面のMENUボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メモリをダブルクリックし、ホストバッファモードをクリックしてください。



- 3** ホストバッファモードのラジオボタンをクリックして固定または自動のいずれかを選択してください。



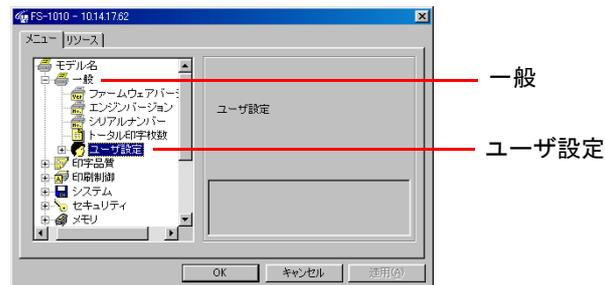
- 4** ホストバッファサイズをクリックしてください。画面右側のスピンドボックスの▲または▼ボタンをクリックするか、ホストバッファに設定するサイズを KB 単位で直接ボックス内に入力してください。ホストバッファサイズの合計は10 KB 単位で設定できますが、1 KB ずつ増減させることができます。



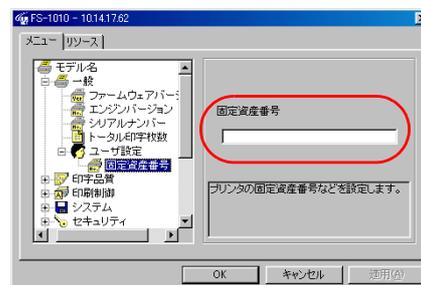
固定資産番号の設定

ネットワーク接続している場合には、プリンタに固定資産番号を設定することができます。設定された固定資産番号はプリンタ内部に記録されます。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。一般をダブルクリックし、ユーザ設定をダブルクリックしてください。



- 3 固定資産番号をクリックし、画面右側のテキストボックスに固定資産番号を入力してください。

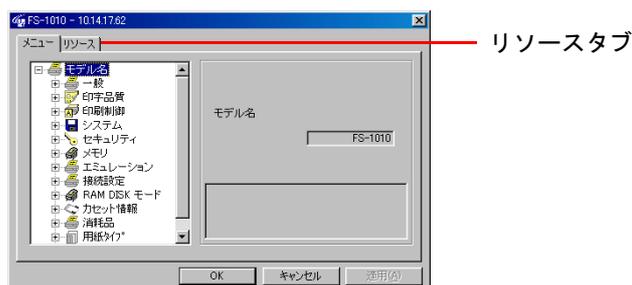


- 4 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。これで設定は変更されます。

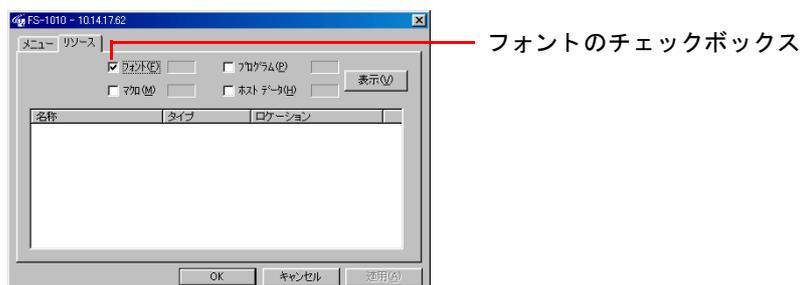
リソースリストの表示

ネットワーク接続している場合には、フォント、プログラム、マクロ、ホストデータなどのリソースを表示することができます。

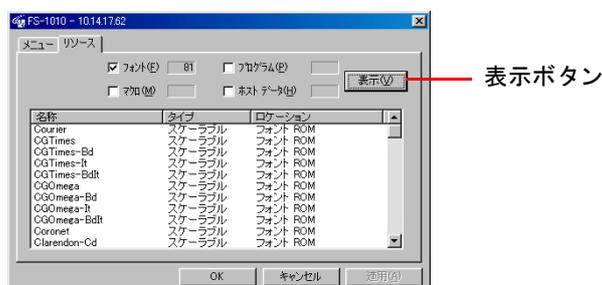
- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 リソースタブをクリックしてください。



- 3 リソースを表示したい項目のチェックボックスをクリックしてください。(下の画面はフォントをクリックした例です。)



- 4 表示ボタンをクリックすると、チェック(☑)をつけた項目のリソースが表示されます。



- 5 OK ボタンをクリックするとリモート・オペレーションパネルの初期画面に戻ります。

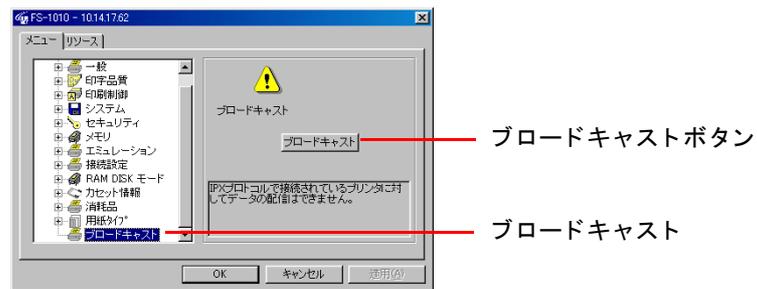
プリスクライブコマンドをプリンタに送る

プリンタがネットワーク接続(TCP/IP)されている場合は、京セラミタ・ページプリンタのプリンタ制御言語であるプリスクライブコマンドを使って、プリンタにコマンドを送ることができます。また、プリンタ内部の設定を確認したり、設定したりすることもできます。

お知らせ

プリスクライブコマンドとFRPOの設定については、[プリスクライブII プログラミングマニュアル](#)が用意されています(別売)。

- 1 リモート・オペレーションパネルの初期画面の MENU ボタンをクリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから **ブロードキャスト** をクリックし、画面右側の **ブロードキャスト** ボタンをクリックしてください。



- 3 **ブロードキャスト** のダイアログボックスが表示されます。



ブロードキャスト

ネットワーク(TCP/IP)接続の場合、プリンタにプリスクライブコマンドを送信できます。**ブロードキャスト**のテキストボックスにプリスクライブコマンドを入力し(最大256文字)、**送る**ボタンをクリックするとプリンタに送信されます。(ステータスページを印刷するコマンド例: !R! STAT; EXIT, E;)

FRPO設定

プリンタの現在の設定状況を確認したり、設定を変更できます。FRPOはプリンタの内部パラメータを変更するプリスクライブコマンドで、FRPO で設定された内容は電源を切ってもプリンタに記憶されます。FRPO のパラメータはすべて2文字で表わされ、たとえばプリンタの給紙カセットを表すパラメータはR4です。詳しくは[第5章 ファームウェアパラメータ](#)を参照してください。

🔔お知らせ

該当するオプション装置などを装着した場合のみ、有効になるコマンドもあります。

現在プリンタに設定されているFRPOパラメータの設定値を確認する。

- 1 FRPOテキストボックスにパラメータ(例: R4)を入力してください。
- 2 取得ボタンをクリックすると、値ボックスに設定値が表示されます。

FRPOパラメータの設定値を変更する。

- 1 前ページと同様の手順で値ボックスに設定値を表示させてください。
- 2 値ボックスに表示されている現在の設定値を消去し、新しい設定値を入力してください。たとえば、デフォルトの給紙元を多目的トレイに変更する場合は値ボックスに表示されている1を消去して0を入力してください。
- 3 設定ボタンをクリックすると、設定値が変更されます。

第2章

日常のメンテナンス

この章ではトナーコンテナの交換と、レジストローラやチャージャワイヤなどの部品の清掃について解説します。

トナーコンテナの交換	2-2
清掃	2-7

トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、プリンタ操作パネル上の  (トナー) インジケータが点滅します。またトナーが無くなると  インジケータは点灯し、プリンタは停止します。 インジケータが点滅したら早めに新しいトナーコンテナと交換して、プリンタ内を清掃してください。

トナーコンテナの交換時期

トナーコンテナ (TK-17) は約 6,000 ページ印刷するごとに交換する必要があります (A4、印刷率約 5%、エコプリントモード : オフ時)。

新しいプリンタに最初に装着する付属のトナーコンテナでは、現像ユニット内にトナーをいきわたらせるため、これより少ない印刷枚数になります (上記と同じ条件で約 3,000 ページ)。

トナーキット (TK-17) の内容

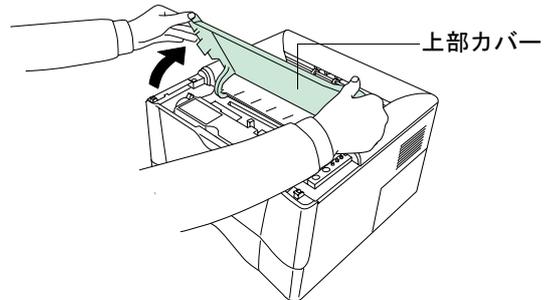
- トナーコンテナ
- 清掃用布
- トナーコンテナ引き取り回収依頼書
- 廃棄用ポリ袋 (プリンタ付属のトナーキットには含まれていません。)
- 取扱い説明書 (プリンタ付属のトナーキットには含まれていません。)

📢お知らせ

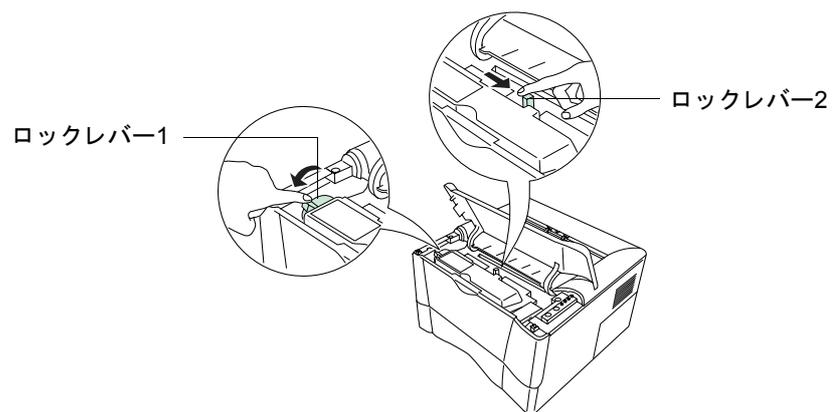
- トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。
- トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは2-7ページの [清掃](#) を参照してください。
- プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットのご使用をおすすめします。

トナーの補給

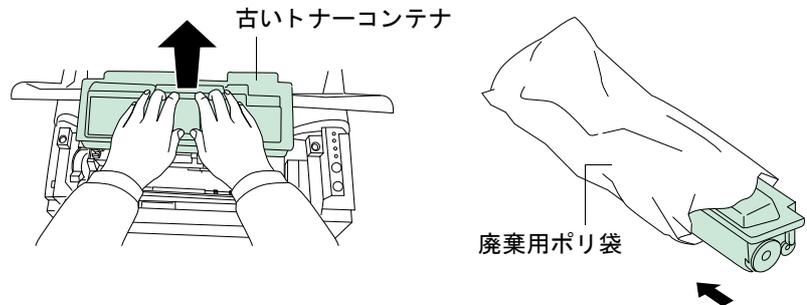
- 1 上部カバーを開きます。図のように上部カバーの左右の角を持ち、止まるまで開いてください。



- 2 ロックレバー1(緑色)を矢印の方向(解除①位置)にし、次にロックレバー2を矢印の方向(解除②側)に引いてください。



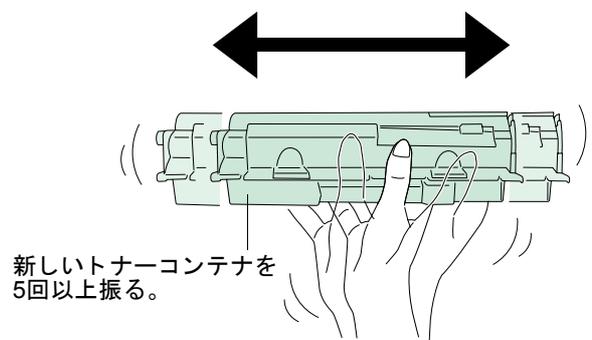
- 3** プリンタから古いトナーコンテナを静かに取り出し、取り出したトナーコンテナは、トナーが飛散しないよう、新しいトナーキットに付属している廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。



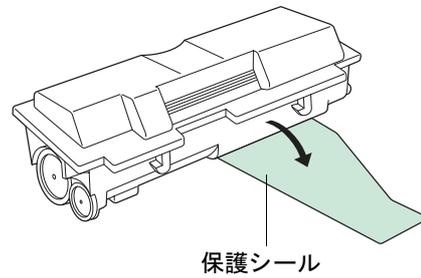
お知らせ

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーコンテナに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または京セラミタジャパン株式会社のホームページ (<http://www.kyoceramita.co.jp/jp>) をご覧ください。

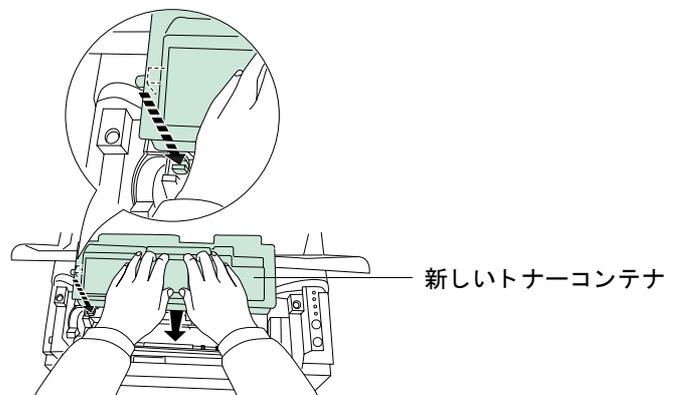
- 4** 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出し、内部のトナーが均一になるように、オレンジ色の保護シールが貼られた面を上にして、水平方向に5回以上振ってください。



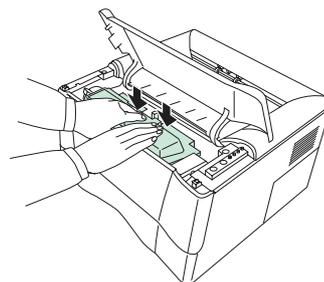
- 5** オレンジ色の保護シールを取り除いてください。



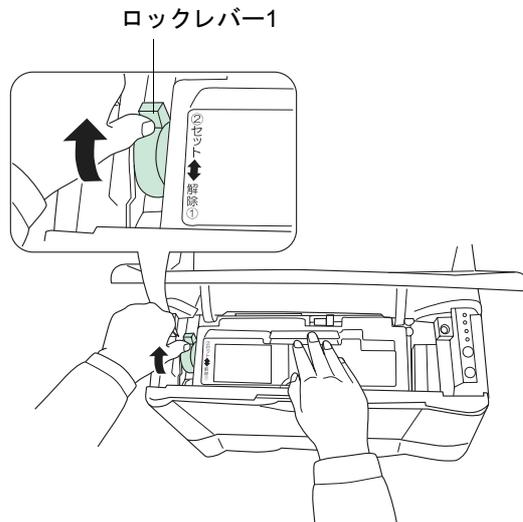
- 6** 図のように新しいトナーコンテナをプリンタに装着してください。



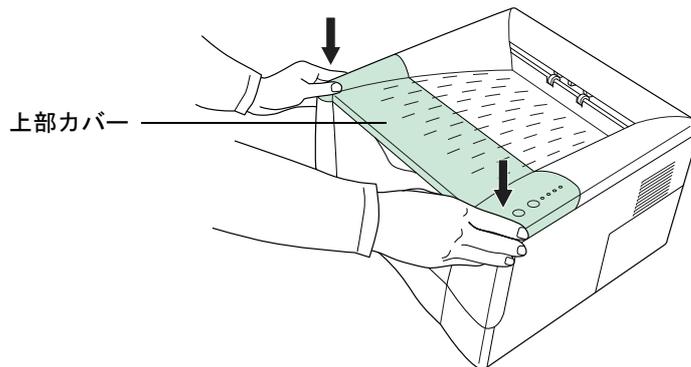
- 7** 図のようにトナーコンテナ上部のセット①強く押すの部分を、カチッと音がするまで押し込んで確実に装着してください。



8 ロックレバー1を押して②セット位置にしてください。



9 上部カバーの左右の角を押し、しっかりと閉じてください。以上でトナーコンテナの交換は終了です。



お知らせ

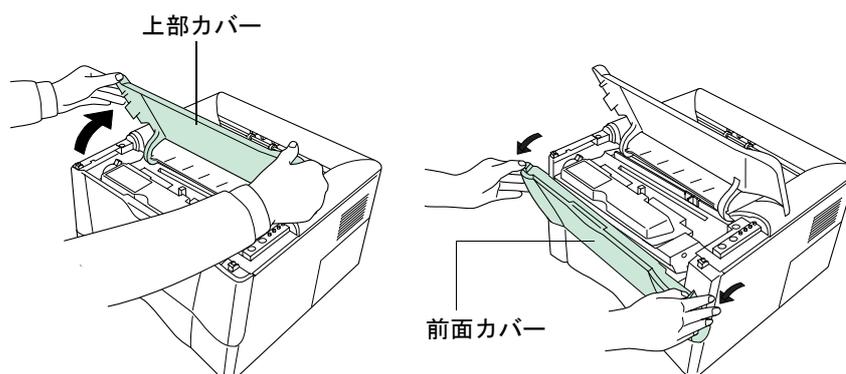
- トナーコンテナを交換しても、プリンタの操作パネルのインジケータが点滅しているときはトナーコンテナを取り出し、もう一度トナーコンテナを振ってから再度装着してください。
- 次にプリンタの電源を入れる際に、インジケータが点灯するまでキーを押したままにしてください。リモート・オペレーションパネルのトナー残量表示で、トナー残量が確認できます。詳しくは1-39ページのトナー残量の確認を参照してください。

次にプリンタの清掃を行います。次ページからの清掃をお読みください。

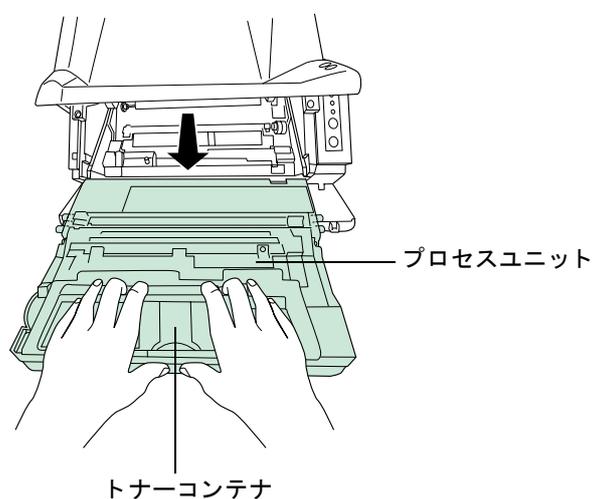
清掃

トナーコンテナの交換時には、以下に説明する手順でプリンタ内部の清掃をしてください。また、最良の印刷品質を保つためにトナーコンテナ交換時以外も、定期的(月に1度程度)にプリンタ内部の清掃を行ってください。

- 1 プリンタの上部カバーと前面カバーを開きます。図のようにカバーの左右の角を持ち、止まるまで開いてください。

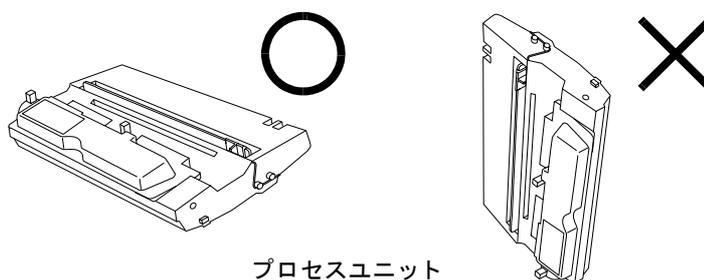


- 2 トナーコンテナと一緒に、プロセスユニットをプリンタから取り出します。

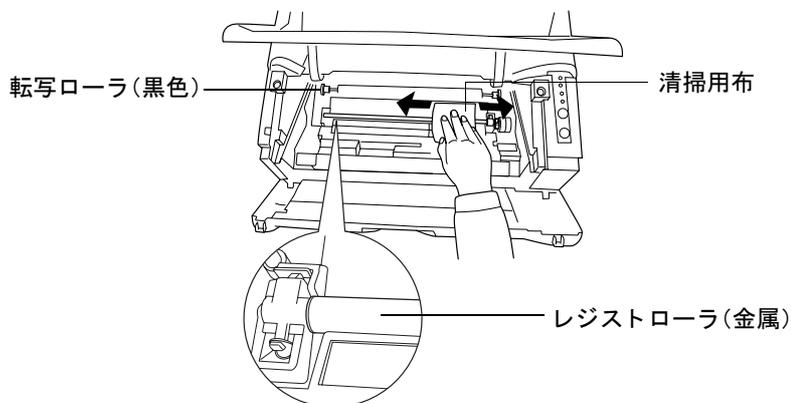


🔔お知らせ

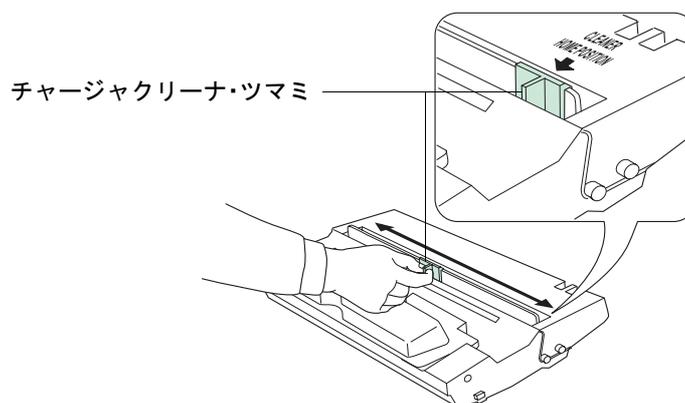
- プロセスユニットには感光ドラム等の精密部品が含まれています。衝撃を与えたり、緑色のドラム部分に手を触れたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。プロセスユニットは清掃が終わったら速やかにプリンタに戻してください。
- 取り出したプロセスユニットを一時的に別の場所に置く場合は、水平な場所に横にして置いてください。立てて置かないでください。そのままプリンタに再装着すると、印刷品質が劣化します。



- 3** トナーキットに付属の清掃用布で、レジストローラ(金属)部に付着している紙粉や汚れを拭き取ってください。清掃中は転写ローラ(黒)に触れないようご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。



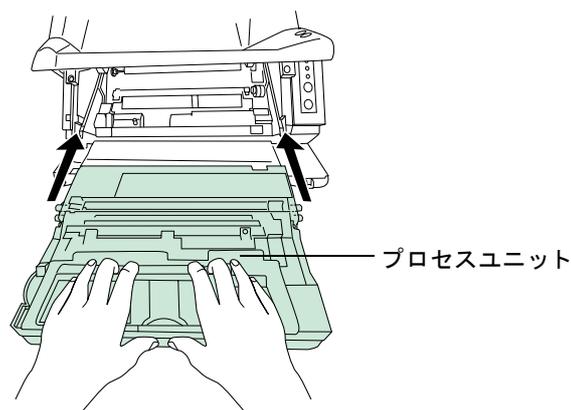
- 4** プロセスユニットの上側のチャージャクリーナ・ツマミ (緑色) を、図のように 2,3 回左右にスライドさせてください。これによって内部のチャージャが清掃されます。清掃後は必ず **CLEANER HOME POSITION** ↓ 表示がある位置にツマミを戻してください。



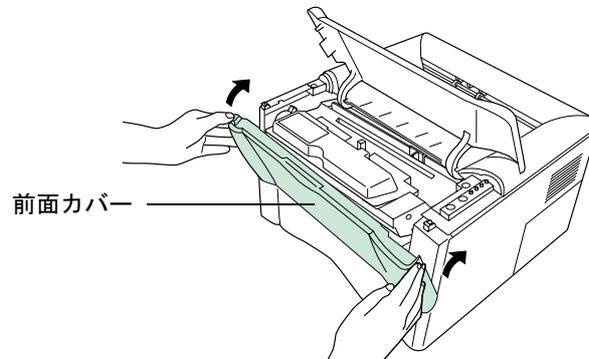
🔔お知らせ

チャージャクリーナ・ツマミは、忘れずに元の位置 (CLEANER HOME POSITION ↓ 表示位置) に戻してください。位置が正しくないと、黒い帯が印刷されます。

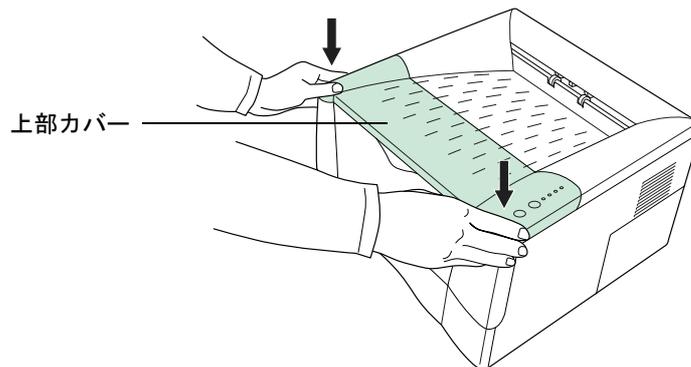
- 5** 清掃が完了したら、取り外したプロセスユニットをプリンタに戻します。プロセスユニットの両端を左右のガイドに合わせて、プリンタに装着してください。



6 前面カバーを閉じてください。



7 上部カバーの左右の角を押し、しっかりと閉じてください。以上で清掃は終了です。



第3章

困ったときは

この章では、プリンタに問題が発生した際の対処のしかたを解説しています。問題が解決できない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

一般的な問題について	3-2
印刷品質の問題	3-3
インジケータ	3-5
紙詰まりの処置	3-14

一般的な問題について

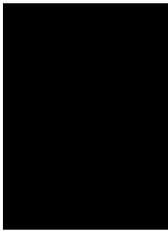
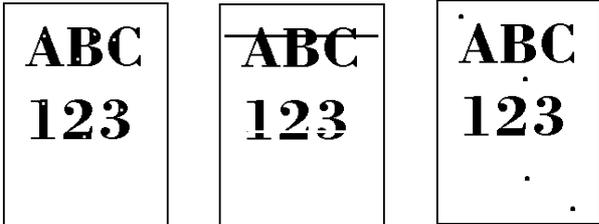
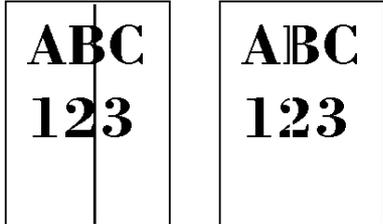
問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に以下のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置	
印刷できない。	○インジケータを確認してください。	消灯	下記の項目を見て、該当するチェックを行ってみてください。
		点滅	速い点滅：エラーが起きています。詳しくは3-5ページの インジケータ を参照してください。 遅い点滅：プリンタがオフラインになっています。◎キーを押してオンラインに切り替えてください。
		点灯	以下の項目を見て、該当するチェックを行ってみてください。
	ステータスページが印刷できるか確認してください。	ステータスページは印刷できる。	コンピュータとの接続に問題がある可能性があります。また、以下の項目を見て、該当する項目があればチェックを行ってみてください。
印刷の品質が悪い。		3-3ページの 印刷品質の問題 を参照してください。	
用紙が詰まった。		3-14ページの 紙詰まりの処置 を参照してください。	
電源を入れても、コントロールパネルに何も点灯しない。ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。	
	電源スイッチがON (I)の位置になっているか確認してください。		
ステータスページは正常に印刷するが、コンピュータからのデータは正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルは両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。本プリンタのインタフェース仕様については、 付録C を参照してください。	
	プログラムファイルやアプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみるか、別の印刷コマンドを使ってみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタ設定等を確認してください。	

以上のチェックを行っても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラから白紙出力などさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じ、処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

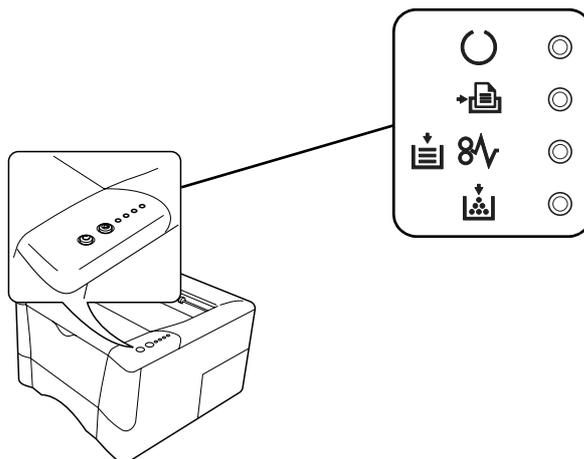
印刷例	処置
<p>全体が真っ黒になる。</p> 	<p>お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>
<p>白抜けや黒点や横線が印刷される。</p> 	<p>チャージャワイヤを清掃してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは2-7ページの清掃を参照してください。</p>
<p>白や黒の縦線が入る。</p> 	<p>操作パネルを確認してください。  (トナー)インジケータが点滅しているときは、トナーコンテナを交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは第2章 日常のメンテナンスを参照してください。</p> <p>チャージャワイヤを清掃してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは2-7ページの清掃を参照してください。</p> <p>チャージャクリーナ・ツマミの位置を確認してください。 プリンタの上部カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミが正しい位置にあるか確認してください。詳しくは2-7ページの清掃を参照してください。</p>

次ページへ続く

印刷例	処置
<p>画像が薄い、またはぼやける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ABC 123</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ABC 123</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ABC 123</p> </div> </div>	<p>エコプリントがオンになっていないか確認してください。 リモート・オペレーションパネルでエコプリントの設定を確認し、オフに設定してください。詳しくは 1-31 ページの エコプリントモードの選択 を参照してください。</p> <p> (トナー)インジケータを確認してください。 インジケータが点滅している場合は、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 2-2 ページの トナーコンテナの交換 を参照してください。</p> <p>チャージャワイヤを清掃してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、緑色のチャージャクリーナ・ツマミを左右に数回往復させて、チャージャワイヤを清掃してください。詳しくは 2-7 ページの 清掃 を参照してください。</p> <p>用紙タイプの設定を確認してください。 給紙元に設定している用紙タイプが正しいか確認してください。詳しくは 1-23 ページの 給紙用の用紙タイプ設定 を参照してください。</p>
<p>背景が灰色になる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; background-color: #cccccc;"> <p>ABC 123</p> </div>	<p> (トナー)インジケータを確認してください。 インジケータが点滅している場合は、新しいトナーコンテナに交換してください。詳しくは 2-2 ページの トナーコンテナの交換 を参照してください。</p> <p>プロセスユニットを確認してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットが正しく装着されているか確認してください。</p>
<p>用紙の先端や裏側が汚れる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ABC 123</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div> </div>	<p>転写ローラを確認してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、転写ローラが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、印刷を数枚繰り返すと汚れが取り除かれます。</p> <p>レジストローラを確認してください。 プリンタの上部カバーと前面カバーを開けてプロセスユニットを取り出し、レジストローラがトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、トナーキットに付属の清掃用布で拭き取ってください。</p>
<p>印刷位置がずれる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ABC 123</p> </div>	<p>ファイルやプログラムを調べてみてください。 プリスクライブコマンドに誤りがないか確認してください。ある特定のファイルやプログラムだけで問題が起これる場合は、コマンドのパラメータや使い方が間違っている可能性があります。</p> <p>用紙サイズの設定を確認してください。 給紙元にセットされている用紙サイズと、リモート・オペレーションパネルの用紙サイズの設定を確認してください。詳しくは 1-21 ページの 用紙サイズの設定 を参照してください。</p>

インジケータ

プリンタの操作パネル上には4個のインジケータがあります。これらのインジケータは点灯、消灯、点滅の組み合わせによって、プリンタの状態(通常/メンテナンス必要/エラー発生)をあらわしています。本項ではプリンタの通常時と、エラー発生時のインジケータ表示と、その対処のしかたについて説明します。

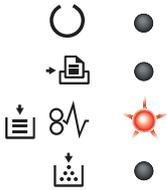
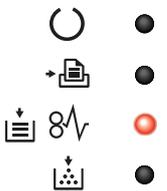
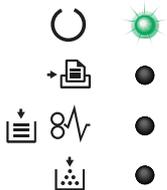


インジケータの表示は基本的に通常、メンテナンス、エラーの3つのタイプに分類されます。次ページからの一覧表では、インジケータの状態を次の表のように分けて説明しています。

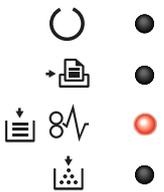
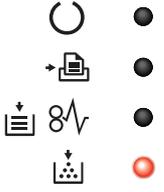
インジケータ	状態
	点灯
	速い点滅
	遅い点滅
	消灯

リモート・オペレーションパネルを使用すると、プリンタの状態をコンピュータ上で確認することができます。プリンタにエラーが発生すると、そのエラーについてのメッセージがコンピュータのディスプレイに表示されます。次ページからの表ではリモート・オペレーションパネルの表示についても説明しています。

メンテナンス要求表示

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	<p>Add paper <paper source></p>	<p>用紙がカセットまたは多目的トレイにありません。 用紙がない給紙元と、用紙サイズがリモート・オペレーションパネルに表示されます。</p> <p>給紙カセットの装着が不完全です。 給紙カセットを確実にプリンタに装着してください。</p> <p>○ (レディ) および + (データ) インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合があります。</p>
	<p>Close top cover</p>	<p>上部カバーが開いています。 カバーを閉じてください。</p> <p>+ (データ) インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合があります。</p>
	<p>Load Cassette # <paper size><paper type></p>	<p>給紙カセットに設定された用紙サイズ、用紙タイプを使用する印刷データがありますが、給紙カセットに用紙が入っていません。</p> <p>リモート・オペレーションパネルに表示されたサイズとタイプの用紙を、給紙カセット (#[1または2]) に入れて印刷を再開してください。◎ キーを押すと、給紙元を切り替えることができます。</p>
	<p>Load MP tray <paper size><paper type></p>	<p>用紙サイズが一致しません。 給紙元の用紙サイズと、印刷データに設定された用紙サイズやタイプが異なる場合、多目的トレイから給紙して印刷することができます。多目的トレイに適切なサイズや種類の用紙をセットして ◎ キーを押すと印刷を行います。</p> <p>多目的トレイ以外から給紙したい場合は、◎ キーを押すと、給紙カセットに切り替えることができます。</p> <p>△お知らせ 多目的トレイに設定されている用紙サイズと、異なるサイズの用紙を給紙すると、紙詰まりが起きます。</p>
	<p>Paper jam #####</p>	<p>プリンタに用紙が詰まりました。 プリンタのカバーを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。###には紙詰りの発生している場所が表示されます。詳しくは 3-14 ページの 紙詰まりの処置 を参照してください。</p>

次ページへ続く

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	Paper path error	<p>ペーパーフィーダに給紙カセットが入っていません。または、給紙カセットが正しく挿入されていません。</p> <p>給紙カセットを挿入し直してから、もう一度印刷してください。</p>
	Replace Toner TK-17	<p>トナーが無くなりました。</p> <p>トナーが無くなったためプリンタは停止しました。新しいトナーコンテナに交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは 2-2 ページの トナーコンテナの交換 を参照してください。</p>
	Set paper Press GO	<p>多目的トレイに用紙がありません。</p> <p>トレイに用紙を追加してください。Ⓞ キーを押して、印刷を再開してください。</p> <p>📢お知らせ</p> <p>多目的トレイに設定されている用紙サイズと、異なるサイズの用紙を給紙すると、紙詰まりが起きます。</p>
	Toner low TK-17	<p>トナーが残り少なくなりました。</p> <p>早めに新しいトナーコンテナに交換してください。交換後はプリンタ内部を清掃してください。詳しくは 2-2 ページの トナーコンテナの交換 を参照してください。</p> <p>Ⓞ (レディ)、📄 (データ)、および 📄 ⚡ (紙詰まり) インジケータは、プリンタの状態によって点灯または点滅表示する場合があります。</p>
(通常表示)	Warning image adapt	<p>内蔵メモリーが不足しているため、現在の解像度では印刷ジョブが完了できません。</p> <p>メモリーを追加するか、または解像度を変更してください。</p>
(通常表示)	Warning low memory	<p>ダウンロードされたフォントやマクロが多すぎるので、プリンタのメモリーが少なくなっています。</p> <p>ステータスページを印刷して、ユーザーメモリーの残量を確認し、必要のないフォントやマクロを削除してください。</p>
	Warning Waste toner bottle	<p>プロセスユニット内の廃棄トナーボトルが、満杯になりつつあります。</p> <p>京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>

プリンタの修理を要するエラー表示

次の表にあるエラーが発生した場合はプリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。プリンタの修理を要するエラーが発生した場合、インジケータは2つの異なる表示を交互に繰り返します。ただし、処置が書いてあるものについては、はじめにその処置を試してみてください。

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	エラー発生前の表示	メインモータのエラーです。 (“2000”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。
	エラー発生前の表示	スキャナモータのエラーです。 (“4000”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。
	エラー発生前の表示	スキャナ・ピンフォトのエラーです。 (“4200”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。
	エラー発生前の表示	イレーサのエラーです。 (“5300”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

次ページへ続く

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	エラー発生前の表示	<p>定着器のエラーです。 (“6000”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>
	エラー発生前の表示	<p>廃棄トナーボトルが満杯です。 (“7980”エラー) プリンタの電源を切ってプロセスユニットをプリンタから取り出してください。取り出したプロセスユニットを水平に静かに数回振り、再度プリンタに装着してから電源を入れてください。再度同じエラーが表示される場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。 (印刷ページ数が10万ページ未満の場合。)</p>
	エラー発生前の表示	<p>廃棄トナーボトルが満杯です。 (“7990”エラー) 上記と同じ手順を行ってください。 (印刷ページ数が10万ページ以上の場合。)</p>
	エラー発生前の表示	<p>コントローラのチェックサムエラーです。 (“F010”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>
	エラー発生前の表示	<p>コントローラのRAMエラーです。 (“F020”エラー) お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>

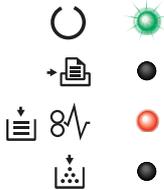
次ページへ続く

インジケータ

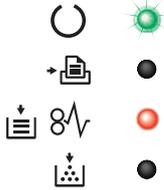
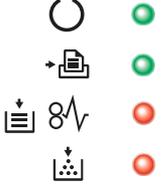
インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	エラー発生前の表示	<p>コントローラのシステムエラーです。 (“F030” エラー)</p> <p>お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>
	エラー発生前の表示	<p>通信エラーです。 (“F040”エラー)</p> <p>お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>
	エラー発生前の表示	<p>エンジン ROM チェックサムエラーです。 (“F050” エラー)</p> <p>お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。</p>

対処可能なエラー表示

次の表にあるエラーが発生した場合はプリンタの  キーを押すと処理を続行します。ステータスページを印刷すると、これらのエラーを確認することができます。標準ステータスページについては、1-3 ページの [キーの機能](#) を参照してください。

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	File not found Press GO	指定されたファイルが見つかりません。  キーを押すと処理を続行します。  キーを押すと処理を中止します。
	KPDL Error Press GO	現在の印刷処理を継続できません。  キーを押すと処理を続行します。  キーを押すと処理を中止します。
	Memory Card err## Press GO	PRESCRIBE RWER コマンド、またはリモート・オペレーションパネルからメモリーカードへアクセスしている間にエラーが発生しました。 ## に表示されるエラーコード (数字) を確認して、以下を参照してください。 04: メモリーカードの容量が不十分です。不要なファイルを削除してください。 05: 指定されたファイルはメモリーカードにありません。 06: メモリーカードで使用できるメモリーがありません。プリンタのメモリーを増設してください。  キーを押すと処理を続行します。  キーを押すと処理を中止します。
	Memory overflow Press GO	メモリー不足で印刷できません。 プリンタにオプションの拡張メモリーを増設してください。  キーを押すと処理を続行します。  キーを押すと処理を中止します。
	Print overrun Press GO	データが複雑過ぎるため印刷できません。 データの内容が複雑過ぎるため印刷できません。  キーを押すと処理を続行します。  キーを押すと処理を中止します。  お知らせ このエラーが発生したら、リモート・オペレーションパネルから次のコマンドをプリンタに送ってください。 !R! FRPO R5, 1; EXIT; コマンドについて、詳しくは 1-49 ページの プリスクライブコマンドをプリンタに送る を参照してください。

次ページへ続く

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	RAM DISK err ## Press GO	<p>## に表示されるエラーコード(数字)を確認して、以下を参照してください。</p> <p>01: フォーマットエラーです。プリンタの電源を入れ直してみてください。</p> <p>02: RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。</p> <p>04: RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。</p> <p>05: 指定のファイルが存在しません。ファイル名とRAM ディスク内のファイルの有無を確認してください。</p> <p>06: ファイルシステムで使用できるメモリーが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリーを増設してください。</p>
	Memory card err20	<p>プリンタの電源を入れたまま、メモリーカードを抜き差ししたため、プリンタが停止しました。プリンタの電源をいったんオフにし、もう一度オンにしてください。</p> <p>📢お知らせ</p> <p>メモリーカードを抜き差しする際は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。</p>
(通常表示)	Format error Memory card	<p>このメッセージはプリンタが印刷可能状態になっているのに、メモリーカードがフォーマットされていないため、読み書きできません。メモリーカードをフォーマットしてください。</p>

通常時の表示

プリンタは正常な状態です。

インジケータの表示	リモート・オペレーションパネルの表示	処置
	Cancelling data	プリンタはデータをキャンセル中です。 インジケータが上から下へ、次に下から上へと順に点灯を繰り返します。
	Please wait	プリンタはウォーミングアップ中です。 インジケータが上から下へ点灯を繰り返します。 トナーコンテナの装着後、初めてプリンタの電源を入れると、(Adding Toner)というメッセージも表示されます。
	Processing	プリンタはデータを受信中です。
	Processing	プリンタはデータを処理中です。
	Waiting	最終ページが印刷されずに残っています。 ◎キーを押すと強制的に改ページして、最終ページの印刷を開始します。
	Form Feed Timeout	待機後、プリンタは最後のページを印刷しています。
	Ready	プリンタは印刷可能な状態です。
		プリンタはオフラインの状態です。 印刷は行いませんが、データの受信は可能です。
	Sleeping	プリンタがスリープモードになっています。 ○インジケータが5秒ごとに点灯し、その他のインジケータは消灯します。操作パネルのキーを押したり、本体のカバーを開閉したり、またはデータを受信するとウォーミングアップ後にオンライン状態になります。(プリンタがスリープモードに入るまでの時間は、リモート・オペレーションパネルで変更することができます。詳しくは1-34ページの スリープモードの設定 を参照してください。)

紙詰まりの処置

ここでは、用紙がプリンタ内に詰まった場合の、用紙の取り除きかたを説明します。用紙がプリンタ内で詰まったときや、用紙がカセットから送られなかったときなどにはプリンタが停止します。このとき、プリンタはオフラインになり、操作パネルの  (紙詰まり) インジケータが点灯します。

紙詰まりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本プリンタに合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については4-2ページの [用紙の基本仕様](#) で詳しく解説しています。

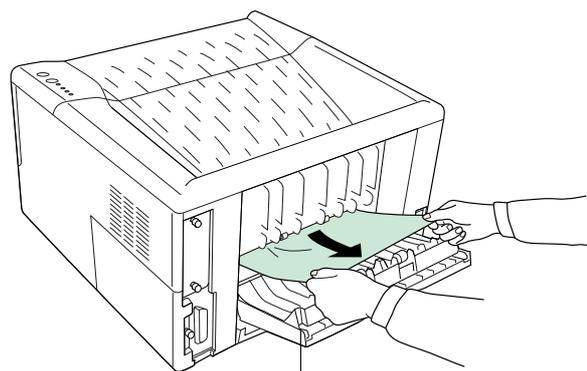
用紙を変えて試してみても、紙詰まりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

お知らせ

- 紙詰まりの際はプロセスユニットを取り外し、紙片が残らないように詰まった用紙を取り除いてください。
- 紙詰まりを起こしたページは、紙詰まりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

排紙トレイ部での紙詰まり

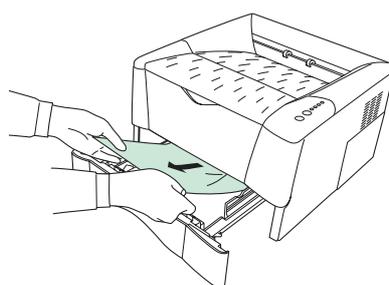
用紙が完全に排紙されずに途中で止まってしまったときは、フェイスアップトレイを開き、詰まった用紙を図のように引き出して取り除いてください。用紙を取り除いたら、プリンタの上部カバーを開閉するとエラーがクリアされ、ウォーミングアップ後に印刷を再開します。



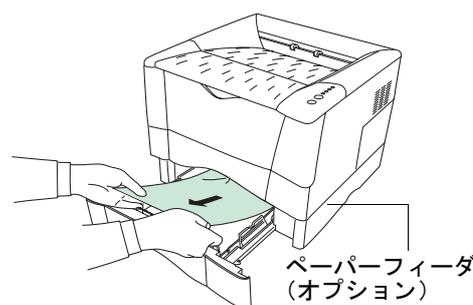
フェイスアップトレイ

給紙カセット部での紙詰まり

給紙カセット内で紙詰まりが起きた場合は、プリンタの給紙カセットまたはペーパーフィーダの給紙カセットを引き出し、図のように詰まった用紙を引き抜いてください。



プリンタの給紙カセット

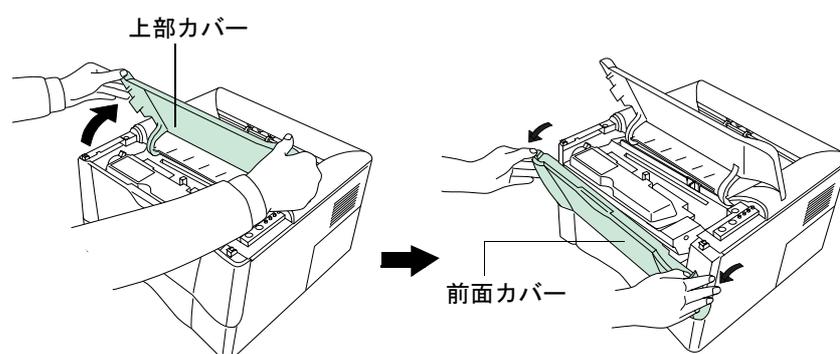


ペーパーフィーダの給紙カセット

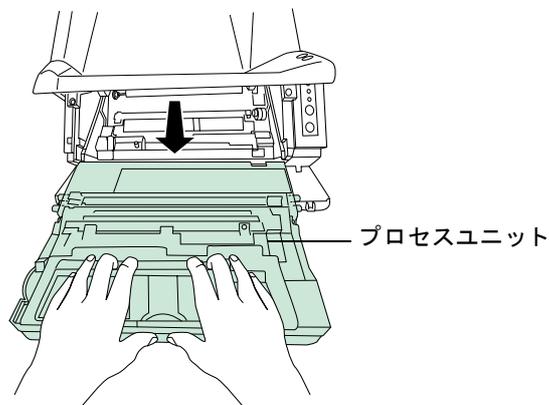
プリンタ内部での紙詰まり

排紙トレイ部や給紙カセット内に詰まった用紙が無い場合は、プリンタ内部で紙詰まりが起きています。以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

- 1** 上部カバーと前面カバーを開きます。図のようにカバーの左右の角を持ち、止まるまで開いてください。



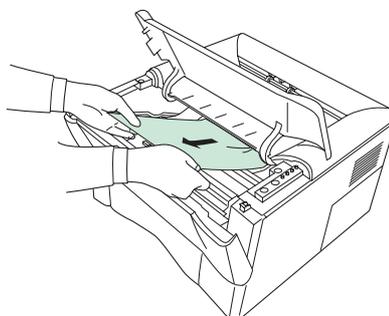
- 2** 下の図のように、プリンタからプロセスユニットを取り外します。



お知らせ

プロセスユニットには感光ドラム等の精密部品が含まれています。衝撃を与えたり、ドラムの緑色の部分に手を触れたりしないでください。また、直射日光や強い光にさらすと印刷品質が劣化します。プロセスユニットは、詰まった紙を取り除いたら速やかにプリンタに戻してください。

- 3** 下の図のように、プリンタから詰まった用紙を取り除いてください。



お知らせ

詰まった用紙がローラに挟まれている場合は、用紙が送られる方向に用紙を引き出してください。

- 4** 詰まった用紙を取り除いたら、取り外したプロセスユニットをプリンタに装着します。
- 5** プリンタの前面カバーと上部カバーを閉じると、ウォーミングアップ後に自動的に印刷を再開します。

第4章

用紙について

この章では以下の内容について解説します。

用紙の基本仕様	4-2
適正紙の選択	4-3
特殊な用紙	4-7
用紙タイプ	4-11

🔔お知らせ

本プリンタにインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本プリンタは、通常の乾式PPC複写機用コピー用紙(普通紙)に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷することができます。

ページプリンタに適さない用紙を使用すると、紙詰まりになったり紙にしわがよったりするため、用紙の選択は慎重に行ってください。低品質の用紙は印刷品質を低下させ用紙が無駄になるばかりでなく、極端な場合にはプリンタの故障の原因になることもあります。次の注意事項を守っていただくことで、効率的でトラブルの少ない印刷ができ、プリンタ自体の磨耗や損傷も最小限にすることができます。

使用できる用紙

通常の乾式PPC複写機で使用するコピー用紙(普通紙)を使用してください。

Ⓐお知らせ

再生紙は下表に示した基本仕様のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件で本プリンタに使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

製紙メーカーごとにグレードの違いはありますが、これらの違いはプリンタの処理にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと仕上がりに満足できる結果を得られません。したがって廉価な用紙であっても、その紙質がページプリンタに適していない場合は、結果的に見て不経済ということになります。

用紙の基本仕様

次の表は、本プリンタに使用できる用紙の基本的な仕様を示すものです。仕様についての詳細は後述します。

項目	仕様
重さ	給紙カセット: 60~105 g/m ² 多目的トレイ: 60~163 g/m ²
厚さ	0.086~0.110 mm
寸法	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°
保水度	4%~6%
繊維の方向	縦目(給紙方向)
パルプ含有率	80%以上

適正紙の選択

レーザープリンタの印刷には、レーザー照射、静電気放電、静電複写、加熱のプロセスがあります。さらに、用紙がプリンタ内部を通過するときには、スライドしたり、曲げられたり、ねじられたりと、その用紙にはかなりの力が加えられることとなります。質の良い印刷用紙はこれらの条件に耐え、常にクリーンで鮮明な印刷を行います。

用紙によって品質は異なります。ここでは、用紙を選ぶ際の基準項目について説明します。

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。

このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙詰まりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面は滑らかで均一なものを選んでください。ただし、コーティング加工や、その他の表面処理をしてある用紙は、ドラムや定着ユニットを傷めますので使用を避けてください。

用紙成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の20%を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの内紙が給紙カセットまたは多目的トレイで使用できます。寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ± 0.7 mmです。用紙四隅の角度は $90^\circ \pm 0.2^\circ$ のものを使用してください。

多目的トレイ	サイズ	給紙カセット または多目的トレイ		サイズ
モナーク	3-7/8 × 7-1/2 インチ	リーガルサイズ (多目的トレイでは使用不可)		8-1/2 × 14 インチ
ビジネス	4-1/8 × 9-1/2 インチ	レターサイズ		8-1/2 × 11 インチ
ISO DL	110 × 220 mm	ISO A4		210 × 297 mm
ISO C5	162 × 229 mm	ISO A5		148 × 210 mm
ISO B5	176 × 250 mm	JIS B5		182 × 257 mm
エグゼクティブ	7-1/4 × 10-1/2 インチ	カスタム	カセット	148～216 × 210～297 mmとリーガルサイズ
			多目的トレイ	70～216 × 148～297 mm
コマーシャル #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ			
コマーシャル 6-3/4	3-5/8 × 6-1/2 インチ			
ISO A6	105 × 148 mm			
JIS B6	128 × 182 mm			
Oficio II	8-1/2 × 13 インチ			
Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ			
はがき	100 × 148 mm			
往復はがき	148 × 200 mm			
洋形2号(封筒)	114 × 162 mm			
洋形4号(封筒)	105 × 235 mm			

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らかすぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙詰まりの原因となります。

基本重量

基本重量とは、用紙1枚を1 m²の大きさに換算したときの重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙詰まりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がボケるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。用紙の適正な重さは給紙カセットで60～105 g/m²、多目的トレイで60～163 g/m²の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、また薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙詰まりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙詰まりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは0.086～0.110 mmの範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性などに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでカサカサになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥している、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は4～6%の範囲に収まるようにしてください。

望ましい保水度を保つためには、用紙を保管する環境に注意することが必要です。保管には次の点に注意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包しに風をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは充分離してください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

繊維の方向

用紙が製造される時、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直(縦目)になるようカットされるものと、用紙の幅に対して紙の繊維が垂直(横目)になるようカットされるものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起す原因になる場合がありますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性: 紙の繊維の密度を表します。

硬さ: 柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙詰まりの原因になります。

カール: ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。用紙は定着ユニットを通過する際に、若干上向きに丸くなります。これを利用して、給紙カセットにセットする面を考えてカールを打ち消し合うようにすると、仕上がりがより平らになります。

静電気について: トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ: 印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷が得られます。

品質について: サイズの不揃い、角がきちんととれていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について: ひと々単位できちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

特殊処理: 次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようおすすめします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙
- パンチ穴の開いている用紙

特殊な用紙

ここでは、特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本プリンタには、次のような特殊な用紙を使用することができます。下表を参考にリモート・オペレーションパネルから、用紙タイプを設定してください。詳しくは1-23ページの [給紙元の用紙タイプ設定](#) を参照してください。

用紙	用紙タイプ
薄い用紙 (64 g/m ² 未満)	Vellum
厚い用紙 (90 g/m ² 以上)	Rough
OHPフィルム	Transparency
はがき	Cardstock
封筒	Envelope
ラベル紙	Labels

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、着色紙とプレ印刷紙以外は多目的トレイから給紙してください。

特殊用紙は次のページ以降で示す条件を満たすものであれば本プリンタで使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中の問題発生の可能性が高くなります。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害を与えても当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

📢お知らせ

特殊な用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。

特殊紙のそれぞれの仕様は次のとおりです。

OHPフィルム

OHPフィルムは、印刷中の定着の熱に耐えるものである必要があります。仕様は下表のとおりです。この条件を満たさないOHPフィルムを使用するとプリンタの故障の原因になりますのでご注意ください。

項目	仕様
耐熱性	最低190℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100～0.110 mm
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90°±0.2°

OHPフィルムは多目的トレイから給紙し、フェイスアップトレイへ排紙してください。

ラベル用紙

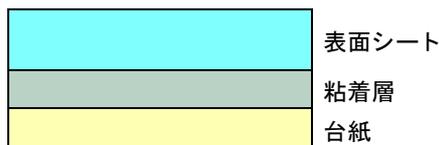
ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると大きな故障の原因になります。

ラベル用紙は多目的トレイから給紙し、フェイスアップトレイへ排紙してください。

お知らせ

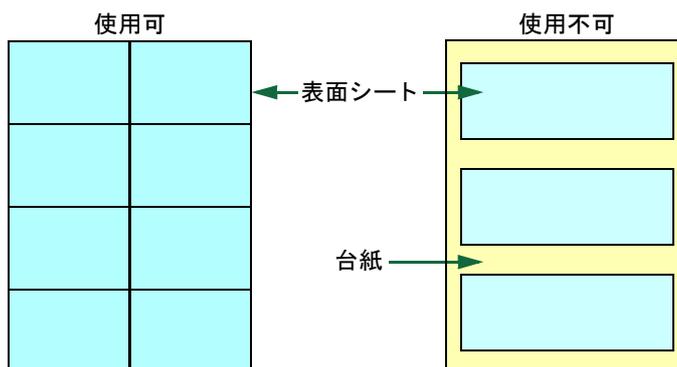
ラベル紙での印刷は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。

ラベル紙は、図のように3層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。台紙はラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なためラベル用紙はトラブルが発生しがちです。



ラベル用紙の表面は、隙間なく全体が覆われているものを使用してください。ラベルの間に台紙が漏出しているものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



項目	仕様
表面シートの重さ	44~74 g/m ²
基本重量(用紙全体の重さ)	104~151 g/m ²
表面シートの厚さ	0.086~0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115~0.145 mm
保水度	4~6%

封筒

印刷できる封筒は、基本重量が60～79 g/m²の用紙で作られているものです。封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足のいくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打つてあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。

封筒は多目的トレイから給紙し、フェイスアップトレイへ排紙してください。

△お知らせ

紙詰まりを避けるため、複数の封筒の印刷中には排紙トレイに封筒が10枚以上残らないようにしてください。

着色紙

着色紙は4-2ページの表を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱に耐えるものでなければなりません。

プレ印刷紙

プレ印刷紙(あらかじめ印刷がされている用紙)は4-2ページの表を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工をほどこしてある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、「用紙の白さ」以外の項目が4-2ページの表を満たすものでなければなりません。再生紙を購入する前に、印刷が満足のいくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

用紙タイプ

本機は、使用する用紙に最も適した設定で印刷することができます。

リモート・オペレーションパネルを使用して給紙元の用紙タイプを設定すると、プリンタにより自動的に給紙元が選択され、指定された用紙タイプに最も適したモードで印刷されるようになります。

多目的トレイを含め、それぞれの給紙元に異なる用紙タイプを設定することができます。あらかじめ用意された用紙タイプの他に、任意(カスタム)の用紙タイプを設定することもできます。詳しくは、1-26 ページの [用紙の厚さ設定](#) を参照してください。

設定可能な用紙タイプは次のとおりです。

用紙タイプ	給紙元	多目的トレイ	給紙カセット	用紙の厚さ
Plain (普通紙)[64~90 g/m ²]	○	○	○	普通
Transparency (OHPフィルム)	○	○	×	普通
Preprinted (プレ印刷紙)	○	○	○	普通
Labels (ラベル用紙)	○	○	×	普通
Bond (証券)	○	○	○	普通
Recycled (再生紙)[64~90 g/m ²]	○	○	○	普通
Vellum (薄紙)[64 g/m ² 未満]	○	○	×	軽い
Rough (厚紙)[90 g/m ² 以上]	○	○	○	普通
Letterhead (レターヘッド)	○	○	○	普通
Color (着色紙)	○	○	○	普通
Prepunched (穴あき用紙)	○	○	○	普通
Envelope (封筒)	○	○	×	普通
Cardstock (はがき)	○	○	×	重い
Custom 1から8 (ユーザー定義)*	○	○	○	普通

○: 給紙できます ×: 給紙できません

* 任意の用紙タイプ設定を、8種類まで登録できます。詳しくは、1-26ページの [用紙に関連する設定](#) を参照してください。

第 5 章

ファームウェアパラメータ

本プリンタは、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリーに記憶しています。これらの情報は京セラのプリンタ制御言語である、プリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。本章ではFRPOコマンドと、そのパラメータの使用例を説明します。

ファームウェア設定	5-2
インタフェース独立FRPOパラメータ	5-3
インタフェース共有FRPOパラメータ	5-5

ファームウェア設定

現在の FRPO パラメータの設定値は、ステータスページで確認することができます。

△お知らせ

FRPO パラメータを変更する前に、サービス・ステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。(!R! FRPO INIT; EXIT;)ただし、一部の FRPO パラメータは、出荷時に初期値とは異なる設定を行っているため、FRPO INIT コマンドを実行すると、工場設定値とは異なった値に設定されます。

FRPOコマンドは以下の書式で実行します。

```
!R! FRPO パラメータ , 設定値 ;EXIT;
```

例ーエミュレーションをPCLに設定

```
!R! FRPO P1, 6;EXIT;
```

インタフェース独立FRPOパラメータ

- *1: エミュレーションによっては無視されます。
 *2: オプション品装着時に有効です。
 *3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
上マージン	A1	インチ単位の整数部分	0
	A2	1/100インチ単位の小数部分	0
左マージン	A3	インチ単位の整数部分	0
	A4	1/100インチ単位の小数部分	0
ページの長さ	A5	インチ単位の整数部分	13
	A6	1/100インチ単位の小数部分	61
ページの幅	A7	インチ単位の整数部分	13
	A8	1/100インチ単位の小数部分	61
ページ方向	C1	0: 縦置き(ポートレート) 1: 横置き(ランドスケープ)	0
起動フォント *1	C2	起動フォント番号の中2桁	00
	C3	起動フォント番号の最後2桁	00
	C5	起動フォント番号の最初の2桁	00
PCL フォント選択範囲	C8	0: 全内部フォントを選択対象とする 1: ビットマップフォントを対象外とする	0
インタフェース・タイムアウト	J2	5秒単位	6(30秒)
パラレルインタフェース・モード *3	O0	0: 標準モード 1: 高速モード 5: ニブル(高速)モード 70: 自動(ネゴシエーション)モード	70
パラレルライン制御 *3	O2	0: ライン制御オフ 2: HP LaserJet互換	2
エミュレーションモード	P1	0: Line printer 1: IBM Proprinter X24E 2: Diablo 630 5: Epson LQ-850 6: PCL 9: KPDL	6
キャリッジリターンの処理 *1	P2	0: 無視 1: CR 2: CR+LF	1
改行の処理 *1	P3	0: 無視 1: LF 2: CR+LF	1
KPDL自動切替え	P4	0: なし 1: 自動切替え	0
KPDL自動切替えエミュレーション	P5	P1と同じ(9を除く)	6

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
AESオプション1 自動エミュレーション切替え (AES)が起動する ページ排出コマンド および処理動作	P7	AES起動後、KPDLMまたは代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータはKPDLMで処理 0:すべてのページ排出コマンド 1:なし 2:すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブEXITコマンド 3:プリスクライブEXITコマンドのみ 4:^\Lコマンドのみ 6:プリスクライブ EXIT コマンドおよび^\Lコマンド AES起動後、KPDLMまたは代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは代替エミュレーションで処理 10:KPDLM 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理	10
AES オプション2・ プリスクライブ!R! コマンド受信後の エミュレーション	P8	0:現在のエミュレーション 1:初期設定エミュレーション(P1に変更) 2:代替エミュレーション(P5)に変更	2
行間隔 *1	U0	インチあたりの行数/整数部分	6
行間隔 *1	U1	インチあたりの行数/小数部分	0
文字間隔 *1	U2	インチあたりの文字数/整数部分	10
文字間隔 *1	U3	インチあたりの文字数/小数部分	0
シンボルセット値	U6	シンボルセット値の下2桁	41
	U7	シンボルセット値の上2桁 (シンボルセット値=U7-50×100+U6)	53
固定フォントピッチ	U8	整数部分(cpi.): 0~99	10
	U9	1/100単位の小数部分(cpl.): 0~99	0
初期ANKアウトラインフォント・サイズ *1	V0	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 上位2桁/設定有効範囲値:00~09	00
	V1	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの整数 下位2桁/設定有効範囲値:00~99	12
	V2	起動時のANKアウトラインフォント・サイズの小数2桁 設定有効値:00, 25, 50, 75	00
初期ANKアウトラインフォント名 *1	V3	起動時のANKアウトラインフォント名	Courier

インタフェース共有FRPOパラメータ

- *1: エミュレーションによっては無視されます。
 *2: オプション品装着時に有効です。
 *3: 設定後はプリンタの電源を一度切るか、リセット後に有効です。

項目	FRPO	設定値	工場設定
パターンの解像度	B8	0: 300 dpi 1: N8と同じ	0
印刷枚数の設定	C0	1~999	1
シリアルライン制御	D0	0: プリンタがレディまたは待機中 5 秒ごとに XON コードを送信。エラーは反映しない。 1: プリンタがレディまたは待機中 5 秒ごとに XON コードを送信。エラーを反映する。 10: XON コードを送信しない。エラーを反映しない。 11: XON コードを送信しない。エラーを反映する。	0
バッファしきい値 ^{*3}	H6	0 ~ 99 受信データバッファ・サイズのパーセント	90
バッファ限界値 ^{*3}	H7	0 ~ 99 受信データバッファ・サイズのパーセント	70
受信データバッファ容量 ^{*3}	H8	0~99 単位は10 Kバイト (0: 5 Kバイト)	5
タイムアウトの時間	H9	0~99 5秒単位 (0: オフ)	6
ジョブ終了変換 (オプションインタフェース装着時のみ有効。) ^{*2,*3}	I8	0: なし 1: ^Lを追加 2: ^Dを追加 3: ^Lと^Dを追加 7: ^Dと^Lを追加	0
ステータス送信制御	M1	0: なし 1: ステータスを送信	0
起動時のインタフェース ^{*3}	M2	2: パラレルインタフェース 3: オプションインタフェース 5: USB	2
バッファサイズ・オプション ^{*3}	M3	0: 自動 1: バッファサイズを指定 (M5/M6/M8)	1
バッファサイズ比率 (1) ^{*3}	M5	オプションインタフェースを装着した場合の第1バッファの比率	5
バッファサイズ比率 (2) ^{*3}	M6	オプションインタフェースを装着した場合の第2バッファの比率	5
バッファサイズ比率 (3) ^{*3}	M8	オプションインタフェースを装着した場合の第3バッファの比率	5
KIRの設定	N0	0: オフ 2: オン	2

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
スリープタイム時間	N5	0~48 5分単位(0~240分 [0:オフ])	1(5分)
エコプリントの設定	N6	0: オフ 2: オン	0
システム解像度	N8	0: 300 dpi 1: 600 dpi	1
PCLリソース保護 *3	N9	0: オフ 1: パーマネントリソースを保護して環境をリセット 2: パーマネント / テンポラリ・リソースを保護	0
コマンド認識文字	P9	33~126のASCIIコード	82(R)
自動カセット切替え	R1	0: オフ 1: カセット1←→2 99: 同サイズのカセットを選択	0
用紙サイズ	R2	0: カセットのサイズ(R4参照) 1: モナーク 2: ビジネス/コマーシャル#10 3: インターナショナルDL 4: インターナショナルC5 5: エグゼクティブ 6: レターサイズ 7: リーガルサイズ 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 14: ISO A6 15: JIS B6 16: コマーシャル#9 17: コマーシャル#6-3/4 18: ISO B5 19: カスタムサイズ 31: はがき 32: 往復はがき 33: Oficio II 50: Statement 51: Folio 52: 洋形2号(封筒) 53: 洋形4号(封筒)	0
初期給紙元	R4	0: 多目的トレイ 1: プリンタのカセット 2: オプション・ペーパーフィーダ(PF-17)のカセット	1
ページ保護モード	R5	1: 自動 4: オン	1
多目的トレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ/その他はR2と同じ	8

次ページへ続く

項目	FRPO	設定値	工場設定
ディジーホイール・データビット (Diablo 630 エミュレーション時)	R8	7: 7ビット 8: 8ビット	7
ホストバッファサイズ積算値	S5	0: 10 KB 1: 100 KB 2: 1 MB	1
A4/ レターサイズの共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0
RAM ディスクサイズ	S6	1~99 MB単位	50
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
多目的トレイモード	T0	0: カセットモード 1: 優先モード	1
給紙カセットの用紙サイズ	T1	6: レターサイズ 7: リーガルサイズ 8: ISO A4 9: JIS B5 13: ISO A5 19: カスタム(規格サイズ外)	8
オプション・ペーパーフィーダ (PF-17)のカセット用紙サイズ*2	T2	(T1と同じ)	8
ワイドA4モード (10 ptピッチ、78字/行)	T6	0: オフ 1: オン	0
起動時のステータスページの印刷	U5	0: 印刷しない 1: 印刷する	0
クーリエおよびレターゴシックの フォントタイプ選択*3	V9	0: クーリエ=ダーク レターゴシック=ダーク 1: クーリエ=レギュラー レターゴシック=ダーク 4: クーリエ=ダーク レターゴシック=レギュラー 5: クーリエ=レギュラー レターゴシック=レギュラー	5
給紙カセット選択 モード (PCL)	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時の自動継続印刷(◎キーを押して解除するエラーのみ)	Y0	0: オフ 1: オン	0
自動継続印刷時のエラー解除時間	Y1	0~99 5秒単位	6(30秒)

付録 A フォント

この章では、本プリンタに搭載されているフォントについて解説します。

内蔵フォント	A-2
フォントリスト	A-3

内蔵フォント

フォントとは、特定のデザインの文字のセットで、スケーラブルあるいはビットマップの別、シンボルセット、間隔、ピッチ、高さ、スタイル、ストローク、および書体などの属性を持っています。

本プリンタは PCL/PS 互換の欧文スケーラブルフォント 80 書体と、欧文ビットマップフォント1書体を内蔵しています。

フォントリスト

以下は、本プリンタの内蔵フォントのリストです。

フォント

番号 フォントサンプル

-
- | | |
|----|--|
| 0 | This is a sample of Courier font. |
| 1 | This is a sample of CGTimes font. |
| 2 | This is a sample of CGTimes-Bd font. |
| 3 | <i>This is a sample of CGTimes-It font.</i> |
| 4 | <i>This is a sample of CGTimes-BdIt font.</i> |
| 5 | This is a sample of CGOmega font. |
| 6 | This is a sample of CGOmega-Bd font. |
| 7 | <i>This is a sample of CGOmega-It font.</i> |
| 8 | <i>This is a sample of CGOmega-BdIt font.</i> |
| 9 | <i>This is a sample of Coronet font.</i> |
| 10 | This is a sample of Clarendon-Cd font. |
| 11 | This is a sample of Univers-Md font. |
| 12 | This is a sample of Univers-Bd font. |
| 13 | <i>This is a sample of Univers-MdIt font.</i> |
| 14 | <i>This is a sample of Univers-BdIt font.</i> |
| 15 | This is a sample of Univers-MdCd font. |
| 16 | This is a sample of Univers-BdCd font. |
| 17 | <i>This is a sample of Univers-MdCdIt font.</i> |
| 18 | <i>This is a sample of Univers-BdCdIt font.</i> |
| 19 | This is a sample of AntiqueOlive font. |
| 20 | This is a sample of AntiqueOlive-Bd font. |
| 21 | <i>This is a sample of AntiqueOlive-It font.</i> |
| 22 | This is a sample of GaramondAntiqua font. |
| 23 | This is a sample of Garamond-Hlb font. |
| 24 | <i>This is a sample of Garamond-Krsv font.</i> |
| 25 | <i>This is a sample of Garamond-HlbKrsv font.</i> |
| 26 | <i>This is a sample of Marigold font.</i> |
| 27 | This is a sample of Albertus-Md font. |
| 28 | This is a sample of Albertus-ExBd font. |
| 29 | This is a sample of Arial font. |
| 30 | This is a sample of Arial-Bd font. |

次ページへ続く

フォント

番号 フォントサンプル

- 31 *This is a sample of Arial-It font.*
- 32 ***This is a sample of Arial-BdIt font.***
- 33 This is a sample of TimesNewRoman font.
- 34 **This is a sample of TimesNewRoman-Bd font.**
- 35 *This is a sample of TimesNewRoman-It font.*
- 36 ***This is a sample of TimesNewRoman-BdIt font.***
- 37 This is a sample of Helvetica font.
- 38 **This is a sample of Helvetica-Bd font.**
- 39 *This is a sample of Helvetica-Ob font.*
- 40 ***This is a sample of Helvetica-BdOb font.***
- 41 This is a sample of Helvetica-Nr font.
- 42 **This is a sample of Helvetica-NrBd font.**
- 43 *This is a sample of Helvetica-NrOb font.*
- 44 ***This is a sample of Helvetica-NrBdOb font.***
- 45 This is a sample of Palatino font.
- 46 **This is a sample of Palatino-Bd font.**
- 47 *This is a sample of Palatino-It font.*
- 48 ***This is a sample of Palatino-BdIt font.***
- 49 This is a sample of ITCAvantGardeGothic-Bk font.
- 50 **This is a sample of ITCAvantGardeGothic-Dm font.**
- 51 *This is a sample of ITCAvantGardeGothic-BkOb font.*
- 52 ***This is a sample of ITCAvantGardeGothic-DmOb font.***
- 53 This is a sample of ITCBookman-Lt font.
- 54 **This is a sample of ITCBookman-Dm font.**
- 55 *This is a sample of ITCBookman-LtIt font.*
- 56 ***This is a sample of ITCBookman-DmIt font.***
- 57 This is a sample of NewCenturySchoolbook-Rom font.
- 58 **This is a sample of NewCenturySchoolbook-Bd font.**
- 59 *This is a sample of NewCenturySchoolbook-It font.*
- 60 ***This is a sample of NewCenturySchoolbook-BdIt font.***
- 61 This is a sample of Times-Rom font.
- 62 **This is a sample of Times-Bd font.**
- 63 *This is a sample of Times-It font.*
- 64 ***This is a sample of Times-BdIt font.***
- 65 *This is a sample of ITCzapfChancery-MdIt font.*

[次ページへ続く](#)

フォント

KPDL フォントサンプル (1)

This is a sample of Albertus-ExtraBold font.

This is a sample of Albertus-Medium font.

This is a sample of AntiqueOlive font.

This is a sample of AntiqueOlive-Bold font.

This is a sample of AntiqueOlive-Italic font.

This is a sample of Arial font.

This is a sample of Arial-Bold font.

This is a sample of Arial-BoldItalic font.

This is a sample of Arial-Italic font.

This is a sample of AvantGarde-Book font.

This is a sample of AvantGarde-BookOblique font.

This is a sample of AvantGarde-Demi font.

This is a sample of AvantGarde-DemiOblique font.

This is a sample of Bookman-Demi font.

This is a sample of Bookman-DemiItalic font.

This is a sample of Bookman-Light font.

This is a sample of Bookman-LightItalic font.

This is a sample of CGOmega font.

This is a sample of CGOmega-Bold font.

This is a sample of CGOmega-BoldItalic font.

This is a sample of CGOmega-Italic font.

This is a sample of CGTimes font.

This is a sample of CGTimes-Bold font.

This is a sample of CGTimes-BoldItalic font.

This is a sample of CGTimes-Italic font.

This is a sample of Clarendon-Condensed-Bold font.

This is a sample of Coronet font.

This is a sample of Courier font.

This is a sample of Courier-Bold font.

This is a sample of Courier-BoldOblique font.

This is a sample of Courier-Oblique font.

This is a sample of CourierPCL font.

This is a sample of CourierPCL-Bd font.

This is a sample of CourierPCL-BoldItalic font.

This is a sample of CourierPCL-Italic font.

This is a sample of Garamond-Antiqua font.

This is a sample of Garamond-Halbfett font.

This is a sample of Garamond-Kursiv font.

This is a sample of Garamond-KursivHalbfett font.

付録 B

オプションについて

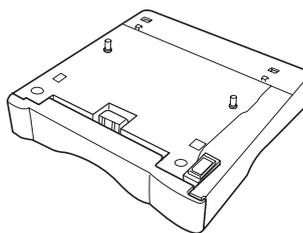
この章では各オプション機器と、その装着方法について説明します。各オプションに付属のマニュアルも合わせてお読みください。

使用可能なオプション装置	B-2
拡張メモリーの増設	B-3
メモリーカード(コンパクトフラッシュカード)	B-8
ネットワークインタフェースカード	B-10

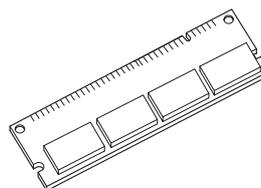
使用可能なオプション装置

本機には以下のオプションが用意されています。これらのオプション機器については、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へお問い合わせください。

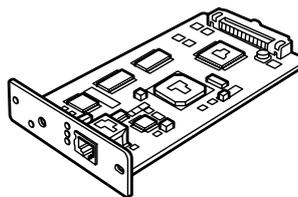
PF-17 ペーパーフィーダ



拡張メモリー(DIMM)



ネットワークインタフェースカード IB-20(10BASE-T/100BASE-TX、10BASE 2) IB-21/IB21-E(10BASE-T/100BASE-TX)



本機での使用に最も適したネットワークインタフェースカードの購入については、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

📣お知らせ

このプリンタで使用できるネットワークインタフェースカードは DC 3.3 V で動作するものだけです。

メモリーカード (コンパクトフラッシュカード)

本機に適したメモリーカードの購入については、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にご連絡ください。

拡張メモリーの増設

本機は標準で 16 MB のメモリーを搭載していますが、メモリー (DIMM) を増設することでより複雑な印刷が可能になり、印刷処理も高速化します。本機には、メモリー増設のために空きスロットが 1 つ用意されています。そのスロットにオプションの拡張メモリーを増設することで、最大 144 MB までプリンタのメモリーを拡張することができます。

📢お知らせ

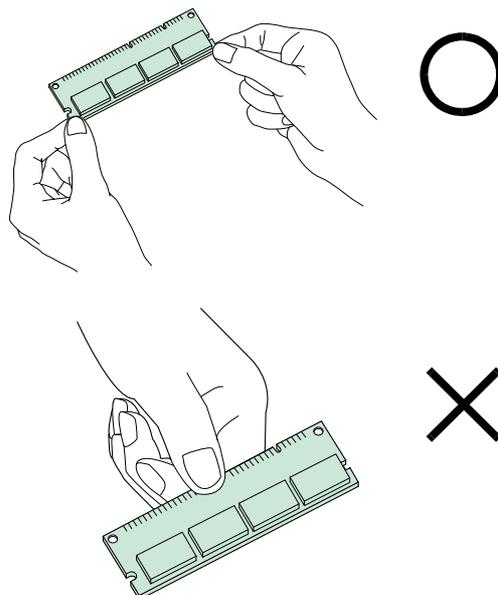
DIMM の装着は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へお申し付けください。お客様自身が装着を行った結果起きた破損、障害につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

以下からの説明は、作業をするサービスマンに対するものです。

メイン基板およびDIMMの取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載した DIMM には大敵です。静電気による破壊から DIMM を保護するために、装着前に次の事柄についてご注意ください。

- ・ DIMM は、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- ・ DIMM に触れる前に、アースなどによって人体の静電気を除去してください。作業中は静電気防止のリストストラップを使用することをおすすめします。
- ・ メイン基板や DIMM に触れるときは、プリント配線部には触れずに必ず基板の端を持ってください。



対応拡張メモリー

オプションの DIMM については、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へお申し付けください。

DIMMの装着

DIMMをプリンタのメイン基板上の専用スロットに装着します。

⚠ 警告

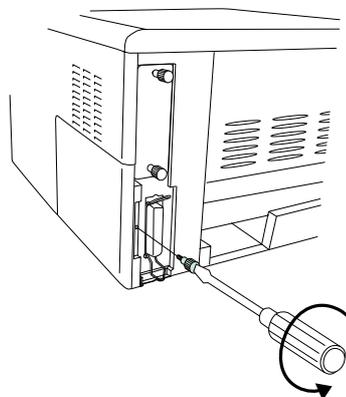


プリンタに DIMM を装着する際は、プリンタの電源は必ず切り、ケーブル類はすべて取り外してください。感電の原因になることがあります。

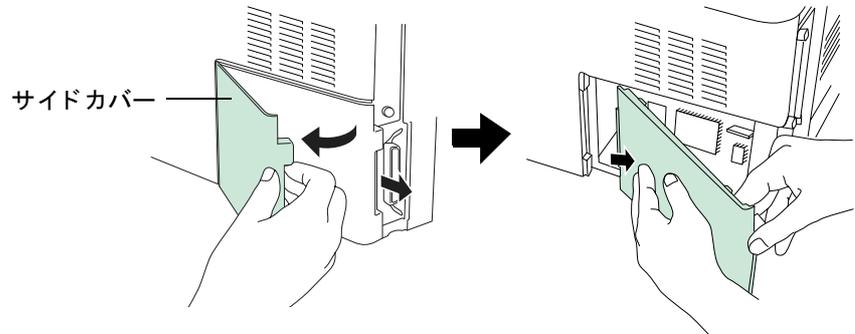


作業はきれいなテーブルの上などで行ってください。万一、作業中に金属片や液体などの異物が機器の内部に入り、そのまま使用した場合は火災、感電の恐れがあります。

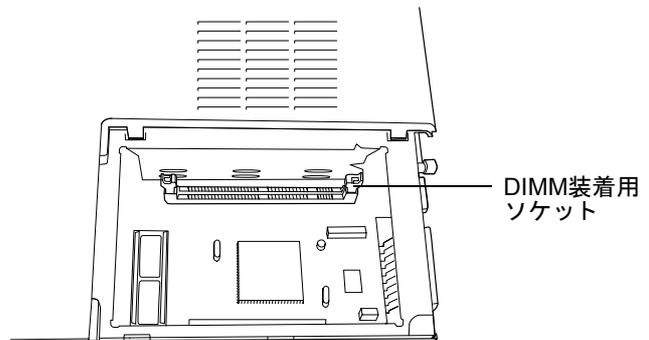
- 1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。
- 2 プリンタ後面のネジを外してください。



- 3** 下図のように、サイドカバーを取り外してください。

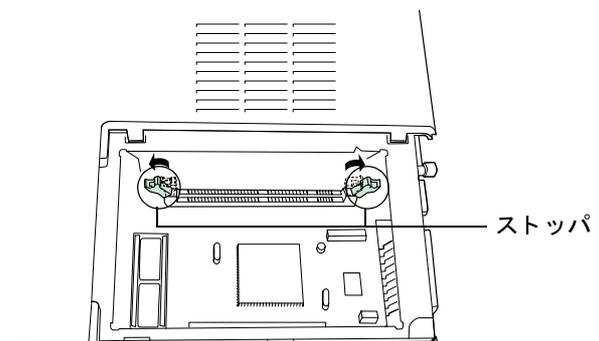


サイドカバーを取り外すと、メイン基板上の DIMM 装着用ソケットがあります。

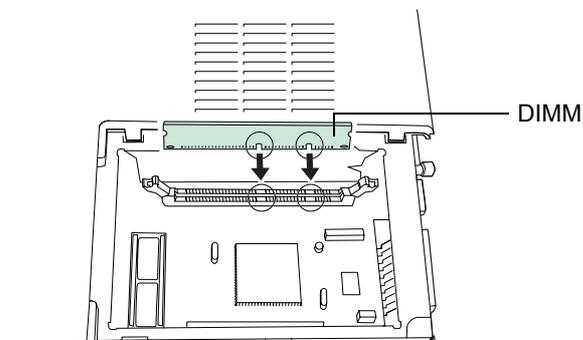


- 4** オプションのDIMMをパッケージから取り出します。

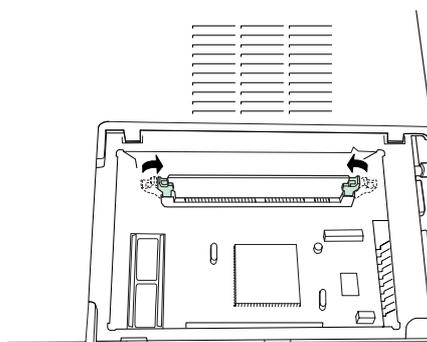
- 5** DIMMソケット両端のストッパを矢印の方向に開いてください。



- 6** DIMM の端子部を下側にし、DIMM の切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせてまっすぐ差し込んでください。



- 7** ストップパを閉じて装着したDIMMを固定してください。



- 8** DIMM の装着後、サイドカバーを取り外したときと逆の手順でプリンタに装着し、ネジで固定してください。

DIMMの取り外し

B-4～B-5ページの手順1～3でプリンタのサイドカバーを取り外し、DIMMを固定している両端のツメを外側に開いて、DIMMを静かに引き抜いてください。

メモリー拡張の確認

DIMMを装着したら、正しく装着されたか次の方法で確認してください。

- 1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタに差し、プリンタの電源を入れてください。
- 2 プリンタの  インジケータが点灯したら、 キーを約3秒間押してください。インジケータが上から下へ流れるように点滅したら、指をキーから離してください。
- 3 しばらくするとステータスページが印刷されますので、表示されているメモリーの量を確認してください。DIMM の装着が正しく行われていれば、Total memory の表示が増加しています。(工場出荷時のメモリーサイズは16 MBです。)

プリンタドライバの設定

プリンタにメモリーを追加したら、このメモリーが有効になるように、次の手順でプリンタドライバを設定します。

- 1 Windows のスタートボタンをクリックして、**設定**をポイントし、**プリンタ**をクリックします。
- 2 Kyocera Mita FS-1010 KX アイコンをマウスの右ボタンでクリックして、**プロパティ**をクリックします。**プロパティ**ダイアログボックスが表示されますので、**デバイス設定**タブをクリックします。
- 3 プリンタに装着されたメモリーサイズの合計を**搭載メモリー**ボックスに入力します。最大144 MBまで指定できます。



メモリーカード(コンパクトフラッシュカード)

メモリーカード(コンパクトフラッシュカード)はプリンタの背面にあるカードスロットに差し込みます。メモリーカードはマイクロチップカードで、オプションのフォントやマクロ、フォームなどが格納されています。プリンタの電源を入れると、このカードの内容がプリンタの内蔵メモリーに読み込まれます。プリンタメモリーにこのデータが存在するかどうかを確認するには、ステータスページの出力を見てください。

使用可能なメモリーカードについて、詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口にお問い合わせください。

以下の手順でメモリーカードを、プリンタに装着してください。

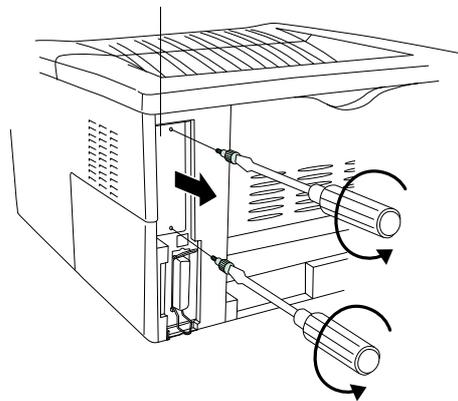
1 プリンタの電源を切ります。

△お知らせ

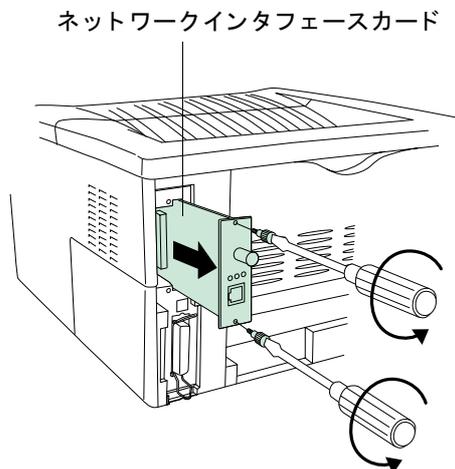
メモリーカードは、プリンタの電源を入れたまま抜き差ししないでください。電源がオンのまま、メモリーカードの抜き差しを行うと、4つのインジケータがすべて点灯し、プリンタは停止します。また、プリンタやメモリーカードが破損する場合があります。

2 オプション・インタフェーススロットカバーを固定しているネジを外して、スロットカバーを外します。

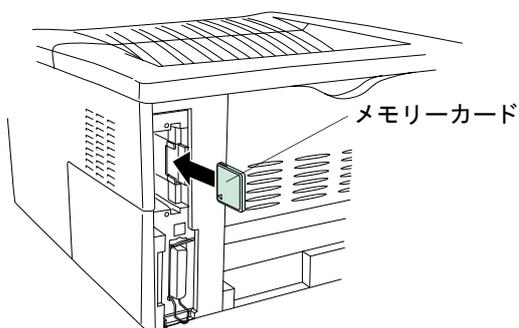
オプション・インタフェーススロットカバー



ネットワークインタフェースカードが装着している場合は、固定しているネジを外して、ネットワークインタフェースカードを取り外してください。



- 3** 図のように、スロットにメモリーカードを挿入します。奥まで確実に押し込んでください。



- 4** 手順2で取り外したスロットカバーを元に戻してください。また、ネットワークインタフェースカードを取り外した場合は、再度装着し、しっかりとネジ止めしてください。

ネットワークインタフェースカード

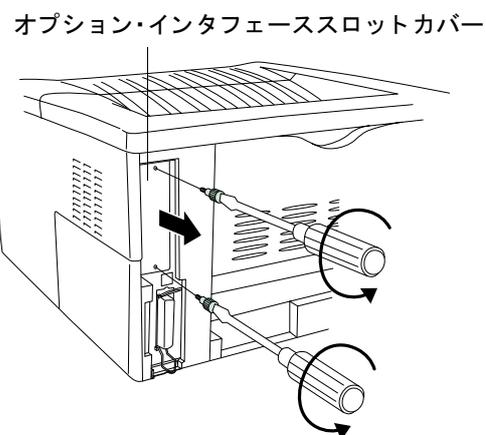
ネットワークインタフェースカードは、プリンタの背面にあるオプション・インタフェーススロットにオプションに装着します。ネットワークインタフェースカードを装着すると、プリンタをネットワークで使用できるようになります。装着の際は、ネットワークインタフェースカードに付属している説明書も合わせてお読みください。

🔔お知らせ

DIMM の装着は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へお申し付けください。お客様自身が装着を行った結果起きた破損、障害につきましては弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

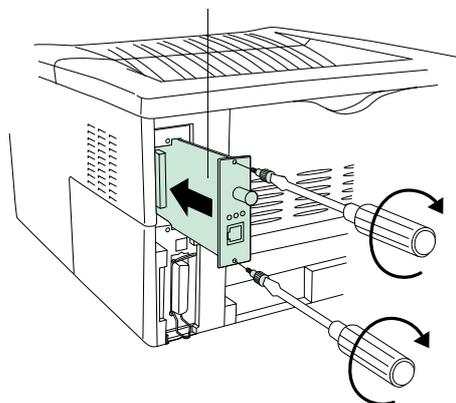
以下からの説明は、作業をするサービスマンに対するものです。

- 1** プリンタの電源を切り、電源ケーブルとプリンタケーブルを外します。
- 2** オプション・インタフェーススロットカバーを固定しているネジを外して、スロットカバーを外します。



- 3** ネットワークインターフェースカードを挿入し、手順2で外したネジでしっかりと固定してください。

ネットワークインターフェースカード



付録 C

インタフェース

ここでは、プリンタの平行インタフェースのピン割り当てや信号の意味などについて解説します。

平行インタフェース	C-2
USBインタフェース	C-6

パラレルインタフェース

パラレルインタフェースのコミュニケーションモード

本機のパラレルインタフェースは、高速セントロニクス方式による高速データ転送に対応しています。パラレルインタフェースのコミュニケーションモードは、リモート・オペレーションパネルで以下のモードに切り替えることができます。

△お知らせ

コンピュータとの接続には、IEEE1284 規格に準拠したプリンタケーブルをお使いください。

自動モード(初期設定)

接続したコンピュータによって自動的にモードを切り替えます。通常、この設定を変更する必要はありません。

ニブル(高速)モード

IEEE1284 ニブルモードに準拠した高速転送スピードで、データの送受信を行います。

標準モード

従来の標準セントロニクス仕様の転送スピードで、データを受信します。

高速モード

IEEE1284に準拠した高速転送スピードで、データを受信します。
(ワークステーションに接続した環境で正しく印刷できない場合は、このモードに設定してみてください。)

インタフェース信号

パラレルインタフェースコネクタの各ピンの信号は次の表のとおりです。アスタリスク(*)の付いた信号は、負論理の信号であることを示しています。表にはそれぞれの信号がプリンタ側から見て入力か出力かを示しています。

[] 内は自動モードとニブル(高速)モードでの信号名です。自動モードとニブル(高速)モードでは、双方向通信で用いられます。

ピン	入/出力	コンピュータの信号
1	入	Strobe* [nStrobe]
2	入	Data 0 [Data 1]
3	入	Data 1 [Data 2]
4	入	Data 2 [Data 3]
5	入	Data 3 [Data 4]
6	入	Data 4 [Data 5]
7	入	Data 5 [Data 6]
8	入	Data 6 [Data 7]
9	入	Data 7 [Data 8]
10	出	Acknowledge* [nAck]
11	出	Busy [Busy]
12	出	Paper Empty [PError]
13	出	Online (Select) [Select]
14	入	Ignored [nAutoFd]
15	-	使用せず
16	-	0 V DC
17	-	筐体グラウンド
18	-	+5 V DC
19	-	グラウンド
20	-	グラウンド
21	-	グラウンド
22	-	グラウンド
23	-	グラウンド
24	-	グラウンド
25	-	グラウンド
26	-	グラウンド
27	-	グラウンド
28	-	グラウンド
29	-	グラウンド
30	-	グラウンド
31	入	Reset [nInIt]
32	出	Error*, returns error status if FRPO O2=2 [nFault]

次ページへ続く

ピン	入/出力	コンピュータの信号
33	-	-
34	-	使用せず
35	出	Power Ready
36	入	Select In [nSelectIn]

Strobe* [nStrobe] ストロブ (ピン1)

この信号がLからHに変わったときに、プリンタがData 0 [1] からData 7 [8] の信号をラッチ。

Data 0 [1] からData 7 [8] (ピン2~9)

コンピュータからプリンタへ送られるデータの1バイトを形成する8本の信号線。Data 7 [8] が最高位ビット。

Acknowledge* [nAck] (ピン10)

データ受信の終了をLパルスで表示。

Busy [Busy] (ピン11)

データ受信のできない状態をH、受信可能状態をLで表示。

Paper Empty [PErrror] (ピン12)

紙の無い状態をHで表示。

Online [Select] (ピン13)

プリンタのオンライン状態をH、オフライン状態をLで表示。上部ユニットがあがっている場合、または Ⓞ キーが押されたためプリンタがオフラインになっている場合はLになります。

🔔お知らせ

Paper Empty、On-LineおよびError信号は、FRPO O2パラメータで設定します。

+5 V DC (ピン18)

プリンタの+5 V DCラインに接続。(+5 V ± 0.5 V、最大400 mA、fused)

Reset [nInit] (ピン31)

コンピュータからプリンタをリセットする標準セントロニクス信号。

Error* [nFault] (ピン32)

エラー制御時 (FRPO O2=2) に、エラー状況を送信。

Auxiliary output 1 (ピン 33)

この信号線は使用されません。

Power Ready (ピン35)

プリンタの電源が入っている場合、この信号はHになります。

Select In [nSelectIn] (ピン36)

この信号は、コンピュータで強制的にプリンタをオンラインにできるようにするため、一部バージョンのセントロニクスインタフェースで使用されています。

USBインターフェース

本機のUSB(ユニバーサルシリアルバス)インターフェースは、USB仕様 Revision 1.1に準拠しています。USBインターフェースの仕様と信号は次のとおりです。

仕様

基本仕様

USB Revision 1.1に準拠しています。

コネクタ

プリンタ: Bレセプタクル(メス)アップストリームポート

ケーブル: Bプラグ(オス)

ケーブル

5 m以下のUSB仕様 Revision 1.1適合ケーブル。シールドされているケーブル線を使用してください。

転送モード

フルスピード(最大12 Mbps)

電源コントロール

自己電源デバイス

インターフェース信号

USB 接続ピン割り当て

ピン	信号	説明
1	Vbus	電源(+5 V)
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グラウンド
シールド		シールド

付録 D

プリンタの仕様

プリンタの仕様

項目	仕様
印刷方式	半導体レーザー+ポリゴンミラー走査
プリント速度(コピーモード)	A4: 14枚/分(A4普通紙)
解像度	Fast 1200モード 600 dpi(水平および垂直)、KIRによるスムージング機能付き 300 dpi(水平および垂直)、KIRによるスムージング機能付き
ファーストプリント(A4)	22秒以下(印刷するデータによって異なります)
ウォームアップ時間(23℃)	10秒以下(スリープモード時) 15秒以下(電源投入時)
CPU	PowerPC 405 (200 MHz)
メインメモリー	標準16 MB(最大144 MBまで増設可能)
対応OS	Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP
セルフテスト	起動時に実行
最大許容印刷枚数	10,000枚/月
標準印刷枚数*	2,000枚/月
ドラム	OPC
現像方式	1成分乾式現像
主帯電方式	スコロトン帯電(+)
転写方式	ローラ転写(-)
ドラムクリーニング方式	カウンタブレード
定着方式	ヒートローラ熱定着
トナー節約方式	エコプリント(Ecoprint)モード
使用用紙	普通紙(第4章 参照)
廃棄トナー容量	100,000枚以上(A4、印刷率約5%)
用紙サイズ	給紙カセット: リーガル、レター、A4~A5 ユニバーサルカセット 多目的トレイ: 70×148 mm~216×297 mm
給紙枚数	給紙カセット: 約250枚(64 g/m ² [厚さ0.11 mm]) 多目的トレイ: 約50枚(64 g/m ² [厚さ0.11 mm])
排紙トレイ容量	上向き排紙トレイ: 約150枚(64 g/m ² [厚さ0.11 mm]) 下向き排紙トレイ: 約30枚(64 g/m ² [厚さ0.11 mm])
設置環境	温度: 10~32.5℃ 湿度: 20~80% RH 海拔: 2,000 m以下 照度: 1,500 lux以下 推奨環境: 23℃、60% RH
電源	AC100 V、50/60 Hz、8.4 (A) 以下
消費電力	最大消費電力: 818 W 通常使用時: 269 W 待機時: 11 W スリープ時: 6 W
稼動音 (ISO7779に準拠 バイスタンド位置、正面音圧レベル)	プリント時: 50 dB(A) スタンバイ時: 28 dB(A) スリープ時: 測定限界以下
外形寸法	幅 378×高さ 222×奥行 375 mm(給紙カセットを除く)
本体重量	9.5 kg

* 標準印刷ページとは、本プリンタで日常的に印刷する際の目安です。平均の月間印刷ページ数を標準印刷枚数以内でご使用いただくことにより、本プリンタをより快適にご利用いただくことができます。また、標準印刷ページ数は最大で5年間使用するための目安にもなります。

付録 E

用語集

dpi (dots per inch)

解像度を表す単位です。1 インチにプリントするドット数を表します。本プリンタは、1200 dpi、600 dpiまたは300 dpiが選択できます。

IEEE1284

プリンタとコンピュータを接続する標準的な規格です。この規格は IEEE (Institute of Electrical and Electronic Engineers) で1994年に制定されました。

KIR (Kyocera Image Refinement)

スムージング機能です。この機能はプリンタの解像度をソフト的に向上させ、高品質な印刷を実現します。KIR は、リモート・オペレーションパネルからオフに切り替えることができます。

KM-NET VIEWER

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できます。付属の CD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) に収録されている、ネットワークマネジメントツールです。

Kyocera Mita Digital Library

本プリンタに付属のCD-ROMです。このCD-ROMには、仕様説明書、プリンタドライバ、ユーティリティソフトなどが添付されています。

MB (mega bytes)

データの量を表す単位です。1 MB は 1,024 KB (=1,048,576 bytes) に相当します。

RAMディスク

プリンタのメモリー領域を利用した仮想ディスクスペースです。RAM ディスクを使うと、電子ソートが利用可能になり、印刷時間を短縮できます。

USB (Universal Serial Bus) インタフェース

低、中速向けのシリアル規格。本機のUSBインタフェースは Revision 1.1 規格に準拠しています。最大通信速度は12 Mbps、接続ケーブルは5 m以下です。

アウトラインフォント

アウトラインフォントではフォントの輪郭を数式によって記録しており、この数式の値を変更することで文字の拡大、縮小などを行います。フォントの輪郭が数式で記録されているため、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは0.25ポイント単位で最大999.75ポイントまで設定することができます。

エコプリント (Ecoprint)

トナーを節約するための印刷モードです。エコプリントモードでの印刷は通常モードでの印刷よりも薄くなります。初期設定ではエコプリントモードはオフに設定されています。エコプリントは、リモート・オペレーションパネルからオンに切り替えることができます。

エミュレーション

他のプリンタと同じように機能することです。本プリンタは PCL (初期設定)、ラインプリンタ、IBM Proprinter、DIABLO 630、EPSON LQ-850、KPD L のエミュレーションを備えています。エミュレーションは、リモート・オペレーションパネルから選択することができます。

オフライン

受信したデータを処理しない状態です。印刷するには  キーを押してオンラインに切り替えてください。

オンライン

受信したデータを処理して印刷できる状態です。

拡張メモリー (DIMM)

プリンタのメモリー容量を増やすための増設用のメモリー (オプション) です。本プリンタは拡張メモリー用のメモリースロットを1つ装備しています。

カセットモード

多目的トレイの動作モードです。このモードは、給紙カセットと同じように用紙を連続して給紙する

ことができます(最大約50枚)。このモードはリモート・オペレーションパネルから優先モードに切り替えることができます。

ステータスページ

ステータスページを印刷すると、搭載メモリー容量、総印刷枚数、給紙元の設定などプリンタに関する様々な情報を確認することができます。ステータスページは、プリンタの操作パネルの  キーを3秒以上押すと印刷されます。

スリープモード

省電力のために設けられているプリンタの動作モードで、プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないとスリープモードに移行します。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。スリープモードへの移行時間は初期設定で5分に設定されていますが、リモート・オペレーションパネルから設定を変更することができます。

操作パネル

プリンタ上部の右側にあります。4つのインジケータと2つのキーがあります。各インジケータの点灯、点滅、消灯の状態から、プリンタの現在の状態を知ることができます。また、キーを押すことによって、プリンタのオンラインとオフラインを切り替えたり、印刷をキャンセルしたりすることができます。

多目的トレイ

プリンタの給紙トレイです。封筒、ハガキ、OHPフィルム、ラベル用紙などを印刷するときは、給紙カセットではなく多目的トレイから給紙してください。

パラレルインタフェース

パラレルインタフェースを使用した場合、プリンタとコンピュータ間のデータ転送は8ビットで行われます。本プリンタは、IEEE1284 準拠の双方向通信に対応しています。

フェイスアップトレイ

プリンタの後面にある排紙トレイで、ハガキ、封筒、ラベル用紙などに印刷する際に使用します。

プリスクライブ(PRESCRIBE)コマンド

京セラミタプリンタに搭載されているプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、テキストフォーマットで記述されたわかりやすいコマンドであるため、容易にプログラミングを行うことができます。

プリンタドライバ

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。本機のプリンタドライバは、プリンタに付属のCD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) に収録されています。

プロセスユニット

感光ドラムと現像器で構成されています。

優先モード

多目的トレイの動作モードです。このモードは、多目的トレイに用紙をセットしている場合には他の給紙元を選択していても多目的トレイから優先して給紙します。初期設定では優先モードに設定されていますが、リモート・オペレーションパネルからカセットモードに切り替えることができます。

リモート・オペレーションパネル

コンピュータのディスプレイ上に、仮想のプリンタ操作パネルを表示させるユーティリティです。リモート・オペレーションパネルを使うと、コンピュータのディスプレイ上でプリンタの基本的な設定を行ったり、コンピュータのディスプレイ上にプリンタの状態や紙詰まりなどのエラーメッセージを表示させたりすることができるようになります。リモート・オペレーションパネルは、プリンタに付属のCD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) に収録されています。

索引

C

CLEANER HOME POSITION 2-9

D

DIMM B-2

DIMMの装着 B-4

dpi (dots per inch) E-2

E

Ecoprint 1-31, E-2

F

FRPO 1-49, 5-1

I

IEEE1284 E-2

K

KIR (Kyocera Image Refinement)
1-29, E-2

KM-NET VIEWER E-2

Kyocera Mita Digital Library E-2

M

MB (mega bytes) E-2

O

OHPフィルム 4-7, 4-8

P

PDF417 二次元スタックシンボル
xii

R

RAMディスク 1-38, E-2

U

USBインタフェース C-6

あ

アウトラインフォント E-2

い

一般的な問題 3-2

印刷濃度 1-28

印刷品質の問題 3-3

印刷方向 1-19

インジケータ 1-3, 3-5

インタフェース共有FRPOパラ
メータ 5-5

インタフェース信号 C-3

インタフェース独立FRPOパラ
メータ 5-3

え

エコプリント 1-31, E-2

エミュレーション 1-36, E-2

エラー表示 3-8, 3-11

お

オフライン E-2

オンライン E-2

か

解像度 1-32

拡張メモリー B-2, B-4, E-2

拡張メモリーの増設 B-3

カセットモード E-2

紙詰まり 3-6, 3-14

紙の状態 4-3

き

キー 1-3

基本重量 4-5

給紙元 1-20, 1-25

こ

固定資産番号 1-47

コピー枚数(印刷枚数) 1-18

さ

再生紙 4-10

サイドカバー B-5

し

自動改ページ待ち時間 1-33

仕様 D-2

上部カバー 2-3

す

ステータスページ 1-3, 1-4, E-3

スリープモード 1-34, E-3

せ

清掃 2-7

繊維の方向 4-5

前面カバー 2-7

そ

操作パネル 1-1, 1-2, E-3

た

対応拡張メモリー B-4

タイムアウト 1-33

多目的トレイ E-3

ち

チャージャワイヤ 3-3, 3-4

着色紙 4-10

て

適正紙の選択 4-3

電源 D-2

転写ローラ 2-8

と

特殊な用紙 4-7

トナーキット(TK-17) 2-2

トナーコンテナの交換 2-2, 3-7

トナー残量の確認 1-39

な

内蔵フォント A-2

ね

ネットワークインタフェース 1-37

は

パラレルインタフェース E-3

パラレルインタフェースのコミュニケーションモード C-2

ひ

表示言語 1-40

ふ

ファームウェア設定 5-2

ファームウェアのバージョン 1-5

封筒 4-7, 4-10

フェイスアップトレイ 3-14, E-3

フォントリスト A-3

プリスクライブコマンド 1-49, E-3

プリンタとの接続 1-16

プリンタドライバ E-3

プリンタの設定 1-41

プリンタのパスワード 1-42

プリンタメモリの確認 1-44

プレ印刷紙 4-10

プロセスユニット 2-7, E-3

ほ

保水度 4-5

ホストバッファ 1-45

め

メイン基板 B-3

メニュー項目 1-17

メモリー拡張の確認 B-7

メンテナンス要求表示 3-6

ゆ

優先モード E-3

よ

用紙サイズ 1-21, 4-4

用紙成分 4-3

用紙タイプ 4-11

用紙に関するその他の仕様 4-6

用紙について 4-1

用紙の厚さ 4-5

用紙の厚さ設定 1-26

用紙の基本仕様 4-2

用紙の滑らかさ 4-4

ら

ラベル紙 4-7

ラベル用紙 4-8

り

リソースリスト 1-48

リモート・オペレーションパネル 1-7, E-3

リモート・オペレーションパネルのインストール 1-8

リモート・オペレーションパネルの起動 1-10

リモート・オペレーションパネルの基本設定 1-13

リモート・オペレーションパネルの名称と機能 1-11

れ

レジストローラ 2-8

ろ

ロックレバー 2-3

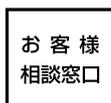


お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112



0570-046562

受付時間

● 9:00~12:00 ● 13:00~17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料でOK
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/jp>

2002.2



FS-1010

ページプリンタ



プリンタドライバガイド

本書はプリンタドライバのインストールと、用紙サイズの設定や給紙元の選択など、プリンタドライバの基本的な操作方法について説明します。

プリンタドライバはプリンタに付属のCD-ROM (Kyocera Mita Digital Library)に収録されています。お使いのコンピュータにインストールすると、Windows のアプリケーションソフトから印刷を行うことができます。

京セラミタプリンタドライバおよびユーティリティの最新版は、京セラミタジャパンのホームページ (<http://www.kyoceramita.co.jp/jp>)から入手できます。

📣お知らせ

本章で使用しているプリンタドライバの操作、画面のレイアウト機能は、改良のため変更になることがあります。

目次

第 1 章	プリンタドライバのインストール	1-1
	パラレルインタフェースへの接続	1-2
	USB インタフェースへの接続	1-9
	USBプリンティングサポート(Printing Support)のインストール	1-9
	プリンタドライバのインストール	1-11
第 2 章	基本設定	2-1
	オプションペーパーフィーダの追加	2-2
	ページ記述言語(PDL)の選択	2-3
	印刷に関するデフォルト設定	2-5
第 3 章	アプリケーションソフトからの印刷	3-1
	基本的な印刷操作	3-2
	カスタム用紙サイズの設定	3-4
	表紙/合紙機能の設定	3-6
	1 枚の用紙に複数ページを印刷するには	3-12
	文書のサイズを変更するには	3-14
	印刷品質を変更するには	3-15
	グレースケール調整	3-16
	TrueTypeフォント	3-17

第1章

プリンタドライバの インストール

本章ではプリンタに接続したコンピュータに、プリンタドライバをインストールする手順と、アプリケーションソフトから印刷する手順について説明します。

パラレルインタフェースへの接続

プリンタ付属の CD-ROM (Kyocera Mita Digital Library) をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットして、自動的に表示されるセットアップ画面の指示に従ってプリンタドライバのインストールを行ってください。ここでは Windows Me でのインストールを例にしていますが、Windows 98/2000/XP でも同様の手順でインストールできます。

お知らせ

プリンタを USB インタフェースで接続する場合は、1-9 ページの [USB インタフェースへの接続](#) をお読みください。

- 1 Kyocera Mita Digital Library CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットしてください。しばらくすると、**使用許諾**の画面が表示されます。
- 2 **使用許諾を表示**をクリックしてください。使用許諾契約書が表示されます。

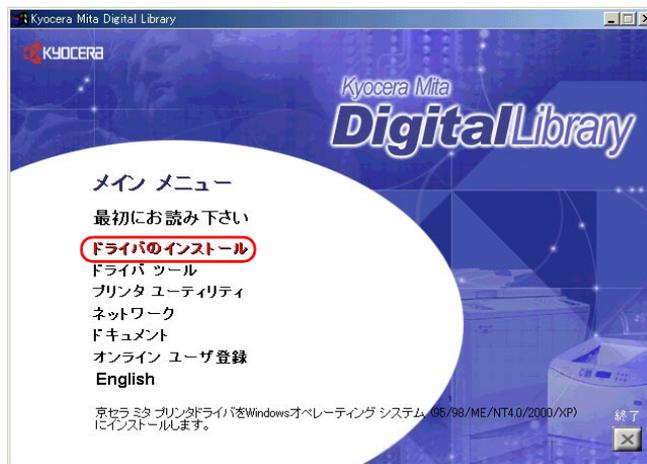


コンピュータに Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合、**使用許諾契約書**を開くことができないので次のダイアログボックスが表示されます。**はい**ボタンをクリックして、インストールしてください。



- 3 表示された**使用許諾契約書**の内容をよくお読みになり、同意いただける場合は**使用許諾**の画面に戻って、**同意する** (同意する) をクリックしてください。しばらくすると、**メインメニュー**が表示されます。

- 4 ドライバのインストールをクリックしてください。京セラミタドライバセットアップウィザードが開始されます。



次へボタンをクリックしてください。

- 5 デバイス モデルの選択が表示されますので、FS-1010を選択してください。



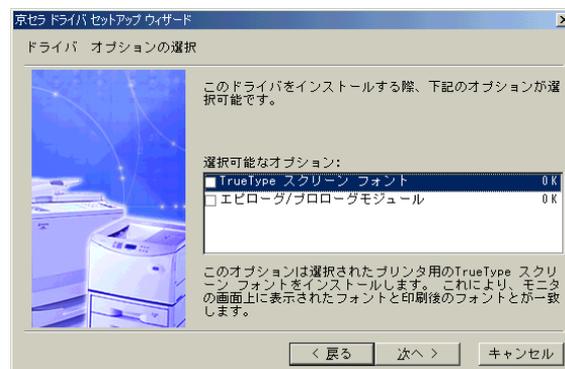
次へボタンをクリックしてください。

- 6** 選択可能なドライバボックスでKyocera Mita FS-1010 KXが選択されていることを確認して、次へボタンをクリックしてください。



- 7** ドライバオプションの選択が表示されます。オプション機能を選択する場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてください。

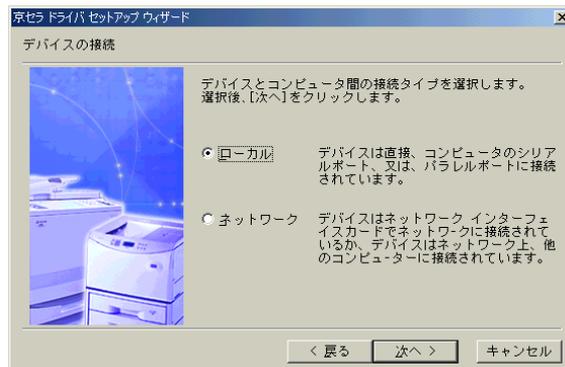
TrueTypeスクリーンフォントは、プリンタフォントのTrueTypeフォントを、コンピュータにインストールします。エピーログ / プロログモジュールは、京セラミタのページ記述言語であるプリスクライブコマンドを、プリンタドライバから使用できます。



次へボタンをクリックしてください。

- 8** デバイスの接続が表示されますので、プリンタの接続タイプを選択してください。パラレル接続はローカル、ネットワーク接続はネットワークを選択してください。

ネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。



次へボタンをクリックします。

- 9** デバイスポートの選択が表示されますので、プリンタの接続に使用するインタフェースを選択してください。パラレル接続時は LPT1 を選択してください。



次へボタンをクリックしてください。

- 10** デバイス名の選択が表示されます。必要に応じて、プリンタの名前を変更できます。



次へボタンをクリックしてください。

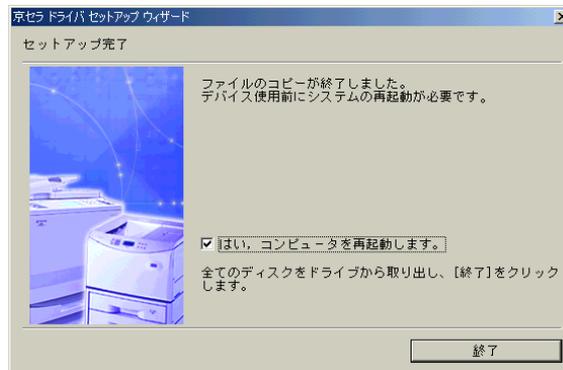
- 11** このプリンタを通常使用する場合は、はいボタンをクリックしてください。



- 12** インストール開始が表示されますので、次へボタンをクリックするとインストールが始まります。



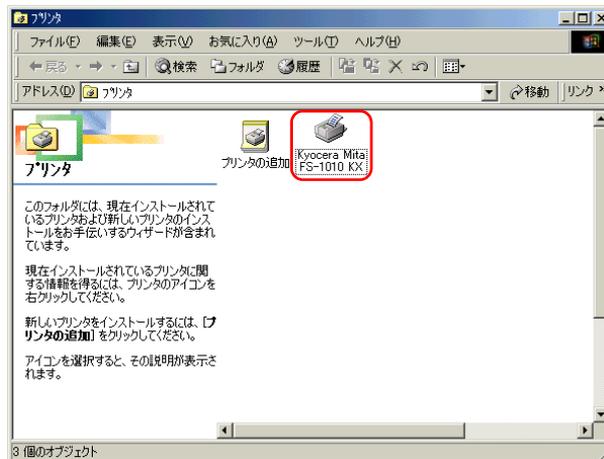
- 13** インストールが終了すると、次の画面が表示されます。**終了**ボタンをクリックすると、コンピュータが再起動します。



インストールの確認

プリンタを再起動後、次の手順に従ってプリンタドライバが正しくインストールされていることを確認します。

- 1 Windows のスタート、設定、プリンタの順にクリックして、プリンタ画面に Kyocera Mita FS-1010 KX のアイコンが追加されていることを確認します。



- 2 Kyocera Mita FS-1010 KXのアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。次のダイアログボックスが表示されます。詳細タブをクリックして、1-5 ページの **手順9** で選択したポートが印刷先のポートに表示されていることを確認してください。



OK ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じてください。プリンタドライバの使用方法については、次章以降をお読みください。

USB インタフェースへの接続

使用しているコンピュータに USB インタフェースが装備されている場合は、USB ケーブル (別売) で本機の USB インタフェースと接続して印刷することができます。

△お知らせ

プリンタをパラレルインタフェースまたはネットワークインタフェース (オプション) で接続する場合は、1-2 ページの [パラレルインタフェースへの接続](#) をお読みください。

USBプリンティングサポート (Printing Support) のインストール

ここでは、Windows Me に USB プリンティングサポートと、プリンタドライバをインストールする方法について説明します。Windows の種類によっては、一部手順が異なりますので、別途説明をしています。

- 1 コンピュータとプリンタの電源を入れ、コンピュータの CD-ROM ドライブに **Kyocera Mita Digital Library CD-ROM** をセットしてください。使用許諾が表示されますので、**終了** ボタンをクリックしてください。
- 2 USB ケーブルで、プリンタとコンピュータを接続してください。
- 3 Windows のプラグアンドプレイ機能により、自動的にプリンタが検知され、**新しいハードウェアの追加ウィザード** が表示されます。**適切なドライバを自動的に検索する (Windows 98 では、使用中のデバイスに最適なドライバを検索する)** を選択します。



次へボタンをクリックしてください。

- 4 Windows Me の場合は、自動的にインストールが始まりますので、**手順 6** へ進んでください。Windows 98 の場合は、次の画面が表示されます。**検索場所の指定**を選択して、次のように入力してください。[CD-ROM ドライブ名]: ¥USB



次へボタンをクリックしてください。

- 5** ダイアログボックスに [CD-ROM ドライブ名]:%USB%\USBPRINT.INF が表示されていることを確認してください。



次へボタンをクリックしてください。USB プリンティングサポートのインストールが始まります。

- 6** インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。これで、USB プリンティングサポートのインストールは完了です。



完了ボタンをクリックしてください。つづけてプリンタドライバのインストールを行います。次項に進んでください。

プリンタドライバのインストール

USB プリンティングサポートのインストール後、プリンタドライバのインストールが続けて始まります。

- 1 Windows 98 の場合は次のダイアログボックスが表示されますので、**次へ** ボタンをクリックしてください。Windows Me の場合は、**手順 2** へ進んでください。



- 2 適切なドライバを自動的に検索する (Windows 98 では、**使用中のデバイスに最適なドライバを検索する**) を選択してください。



次へボタンをクリックします。

- 3 Windows Me の場合は、自動的にインストールが始まりますので、**手順 6** へ進んでください。Windows 98 の場合は、次の画面が表示されます。**検索場所の指定**を選択して、[CD-ROM ドライブ名]: ¥Drivers¥Japanese¥Multi と入力してください。

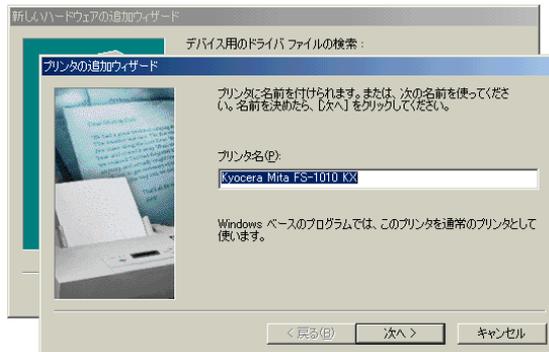


次へボタンをクリックしてください。

- 4 次のダイアログボックスが表示されますので、**次へ**ボタンをクリックしてください。



- 5 プリンタの追加ウィザードが開きます。ウィザードに表示される指示に従って、プリンタドライバをインストールしてください。



- 6 インストールが終了すると次の画面が表示されますので、**完了**ボタンをクリックしてください。

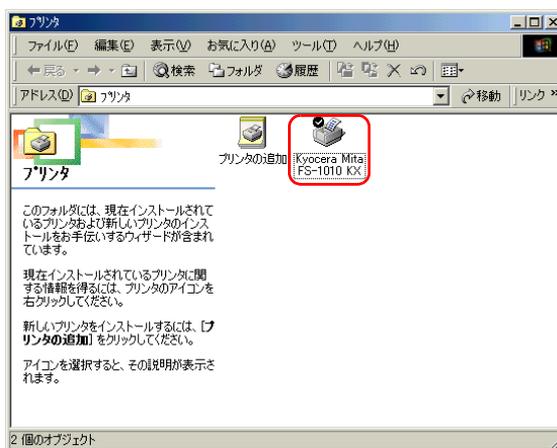


以上でプリンタドライバのインストールは終了です。

インストールの確認

プリンタドライバが正しくインストールされているか、以下の手順で確認してください。

- 1 Windows のスタート、設定、プリンタの順にクリックして、プリンタ画面に Kyocera Mita FS-1010 KX のアイコンが追加されていることを確認します。



- 2 Kyocera Mita FS-1010 KX のアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。次のダイアログボックスが表示されます。詳細タブをクリックして、印刷先のポートに USB 001 (Virtual printer port for USB) が表示されていることを確認します。



OK ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じてください。プリンタドライバの使用方法については、次章以降をお読みください。

第2章

基本設定

本章では、プロパティダイアログボックスで行う、プリンタドライバの基本設定について説明します。

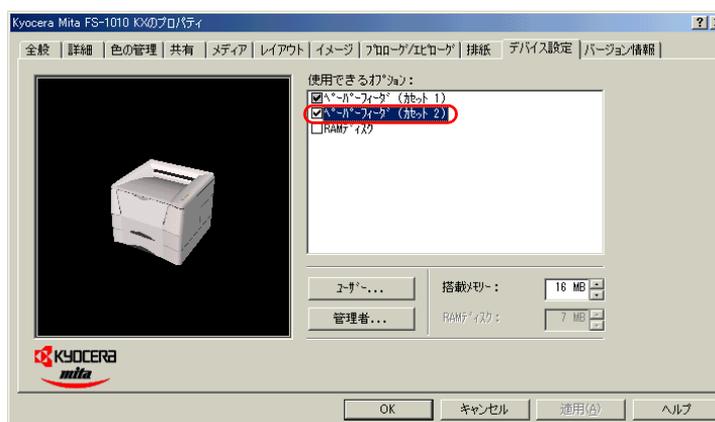
📌お知らせ

プロパティダイアログボックスでの設定は、すべてのアプリケーションソフトで有効になります。設定を一時的に変更するには、それぞれのアプリケーションソフトから、印刷のプロパティで行ってください。本書の[第3章 アプリケーションソフトからの印刷](#)を参照してください。

オプションペーパーフィーダの追加

プリンタにオプションのペーパーフィーダを装着した場合は、以下の手順でプリンタドライバの設定を行ってください。本設定後に、装着したペーパーフィーダから給紙が可能になります。

- 1 Windows のスタートボタンをクリックし、設定にカーソルを合わせ、プリンタをクリックしてください。
- 2 Kyocera Mita FS-1010 KX アイコンを右クリックし、プロパティをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 3 デバイス設定タブをクリックしてください。使用できるオプションリストで、ペーパーフィーダ (カセット2) をクリック () してください。



- 4 OK ボタンをクリックしてください。以上でペーパーフィーダの追加設定は終了です。

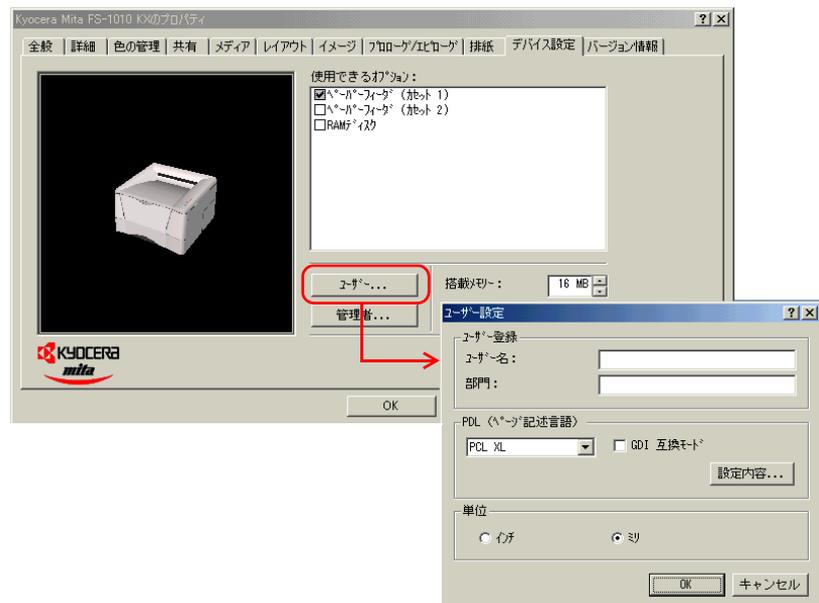
ページ記述言語(PDL)の選択

印刷するデータに適したページ記述言語を、PCL XL、PCL 5eおよびKPDLL(ポストスクリプト互換)の中から選択します。初期設定はPCL XLが選択されています。

ページ記述言語は**使用説明書の第1章 操作パネルの設定と操作**では「エミュレーション」と呼ばれています。

ページ記述言語の変更は、以下の手順で行ってください。

- 1 Windows のスタートボタンをクリックし、設定にカーソルを合わせ、プリンタをクリックしてください。
- 2 Kyocera Mita FS-1010 KX アイコンを右クリックし、プロパティをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 3 デバイス設定タブをクリックしてください。ユーザーボタンをクリックし、ユーザー設定ダイアログボックスを表示させてください。



- 4** PDL(ページ記述言語)ドロップダウンリストから、PCL XL、PCL 5e、またはKPDLを選択し、OKボタンをクリックしてください。



- 5** OKボタンをクリックしてください。以上でページ記述言語の選択は終了です。

印刷に関するデフォルト設定

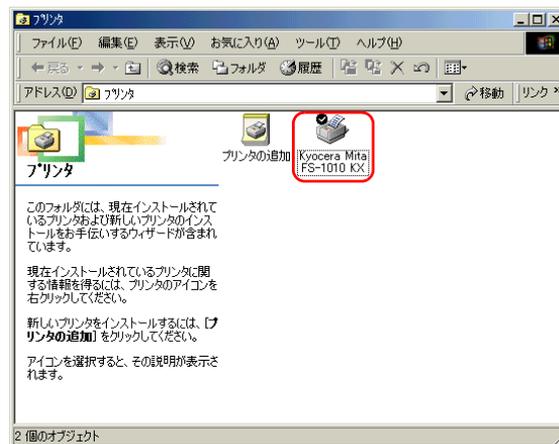
デフォルト設定は、インストールした FS-1010 のプリンタドライバを Windows から選択して設定するものであり、デフォルト値が設定されます。一方、次に説明する [第3章 アプリケーションソフトからの印刷](#) で設定する内容は、例えば Microsoft Word のようなアプリケーションソフトから行う設定であり、そのアプリケーションソフトを終了すると、そこで行った設定はデフォルト設定に戻ります。

デフォルト設定画面にも、[第3章 アプリケーションソフトからの印刷](#) で説明する設定画面と同じものがあり、印刷に関するデフォルト値を変更したい場合はその画面で設定します。

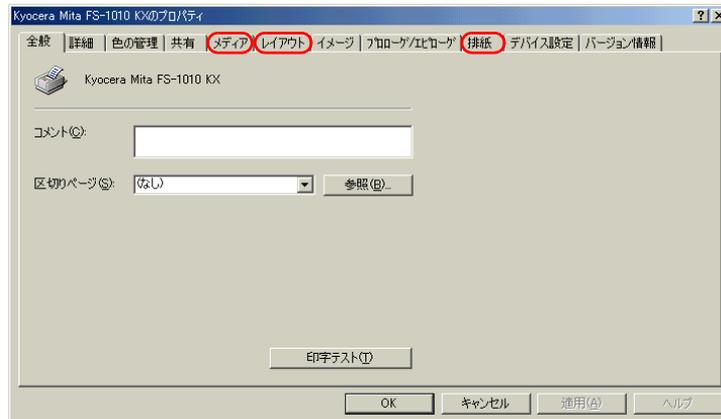
お知らせ

ここではデフォルト設定画面を選択するまでの手順のみを説明しています。詳細設定については、[第3章 アプリケーションソフトからの印刷](#) で説明する設定方法を参照し、デフォルト設定画面について同様の設定を行ってください。

- 1 Windows タスクバーにある **スタートボタン** をクリックして **設定** にカーソルを合わせ、**プリンタ** をクリックしてください。**プリンタ** ダイアログボックスが表示されます。
- 2 **Kyocera Mita FS-1010 KX** のアイコンを右クリックし、表示された項目の中から **プロパティ** をクリックしてください。**Kyocera Mita FS-1010 KX** の **プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。



- 3** メディア、レイアウト、排紙タブを選択し、印刷に関するデフォルト設定を行ってください。詳細設定については、[第3章 アプリケーションソフトからの印刷](#)で説明する設定方法を参照してください。



第3章

アプリケーションソフト からの印刷

本章では、Microsoft Word を例に、Windows のアプリケーションソフトからの印刷方法を説明します。

🔔お知らせ

- プリンタの給紙カセットから給紙する際は、多目的トレイにある用紙は取り除いてください。多目的トレイは、初期設定で優先モード（優先的に多目的トレイから給紙する）に設定されています。
- パラレルインタフェース接続の場合、印刷時はリモート・オペレーションパネルは閉じてから行ってください。

基本的な印刷操作

ここでは、Windows アプリケーションソフトから印刷するための作業について説明します。

お知らせ

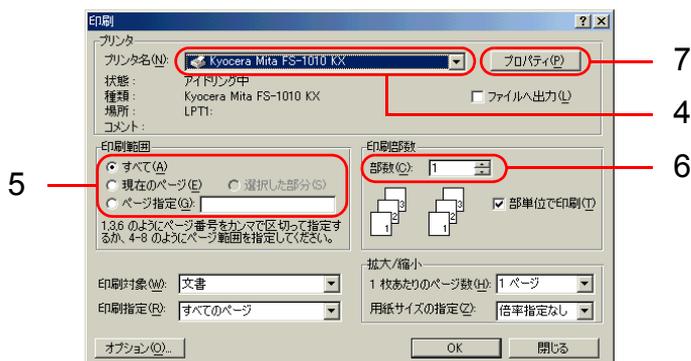
アプリケーションソフトから行った設定は、そのアプリケーションソフトを終了するまで有効ですが、次回アプリケーションソフトを起動したときは初期設定(デフォルト)の状態に戻ります。プリンタドライバの初期設定の変更は、2-5ページの [印刷に関するデフォルト設定](#) で行ってください。

- 1 アプリケーションで文書に対し指定したサイズ of 用紙をプリンタの用紙カセットにセットしてください。用紙のセット方法について、詳しくは [プリンタ付属の設置手順書](#) を参照してください。

お知らせ

リモート・オペレーションパネルで、給紙元の用紙サイズ設定が適切であることを確認してください。異なる用紙サイズが設定されている場合、正しい印刷が行われません。給紙元に適切なサイズの用紙を設定する方法については、[使用説明書の1-21ページ](#)の [用紙サイズの設定](#) を参照してください。

- 2 印刷する文書を開いてください。ここではMicrosoft Word を例に、印刷する方法を説明します。
- 3 ファイルメニューから印刷を選択してください。印刷ダイアログボックスが表示されます。



- 4 Kyocera Mita FS-1010 KX プリンタが選択されていない場合は、プリンタ名ドロップダウンリストで **Kyocera Mita FS-1010 KX** を選択します。
- 5 印刷するページ範囲を入力します。文書全体を印刷する場合は、**すべて** を選択します。
- 6 印刷部数コンボボックスに印刷部数を 1 から 999 の範囲内で入力してください。

- 7 プロパティボタンをクリックしてください。プロパティダイアログボックスが表示されます。
- 8 メディアタブで、用紙サイズドロップダウンリストから用紙サイズを選択してください。プリンタにより、自動的に正しいサイズの用紙が入っている給紙元(給紙カセット、多目的トレイ、またはオプションのペーパーフィーダ)が選択されます。



- 9 OK ボタンをクリックします。プロパティダイアログボックスが閉じられ、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 10 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

カスタム用紙サイズの設定

本機は規格サイズ紙以外の用紙も使用できます。給紙カセットには幅148～216mm、長さ210～297mmの用紙、およびリーガルサイズの用紙をセットできます。また、多目的トレイには幅70～216mm、長さ148～297mmの用紙をセットできます。

カスタムサイズを設定するには

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示してください。
- 2 メディアタブのユーザー定義ボタンをクリックしてください。カスタム用紙サイズダイアログボックスが表示されます。



- 3 追加ボタンをクリックしてください。紙サイズの編集ダイアログボックスが表示されます。



- 4 名前にカスタムサイズに付ける名前を入力してください。
- 5 サイズにカスタムサイズの幅と長さを入力してください。



お知らせ

幅や長さの単位 (mm またはインチ) を選択するには、デバイスの設定タブのユーザーボタンをクリックし、ユーザー設定ダイアログボックスで必要なオプションを選択してください。

- 6** OK ボタンをクリックしてください。用紙サイズリストに、指定した用紙サイズの名称が追加されます。



- 7** OKボタンをクリックしてください。再び、メディアタブが表示されます。

- 8** 用紙サイズドロップダウンリストから、指定したカスタムサイズを選択してください。



- 9** OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

- 10** OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

表紙/合紙機能の設定

表紙/合紙機能では次の設定ができます。

- **表紙の設定:** 表紙/裏表紙を本文に追加できます。
- **合紙の設定:** 本文の指定したページの前に白紙または印刷した用紙をはさみこむことができます。
- **OHP 合紙の設定:** 各 OHP ページの間に、白紙または印刷した用紙をはさみこむことができます。

ここでは、上記の機能について説明します。

🔔お知らせ

この機能を使用するには、多目的トレイをファーストモード(初期設定)からカセットモードに変更する必要があります。多目的トレイのファーストモード設定を変更するには、リモート・オペレーションパネルからプリンタに PRESCRIBE FRPO T0 コマンド (!R! FRPO T0, 0; EXIT;) を送信します。送信のしかたは、[使用説明書の1-49ページのプリスクライブコマンドをプリンタに送る](#)を参照してください。FRPO コマンドについては、[使用説明書の第5章ファームウェアパラメータ](#)を参照してください。

表紙機能の設定

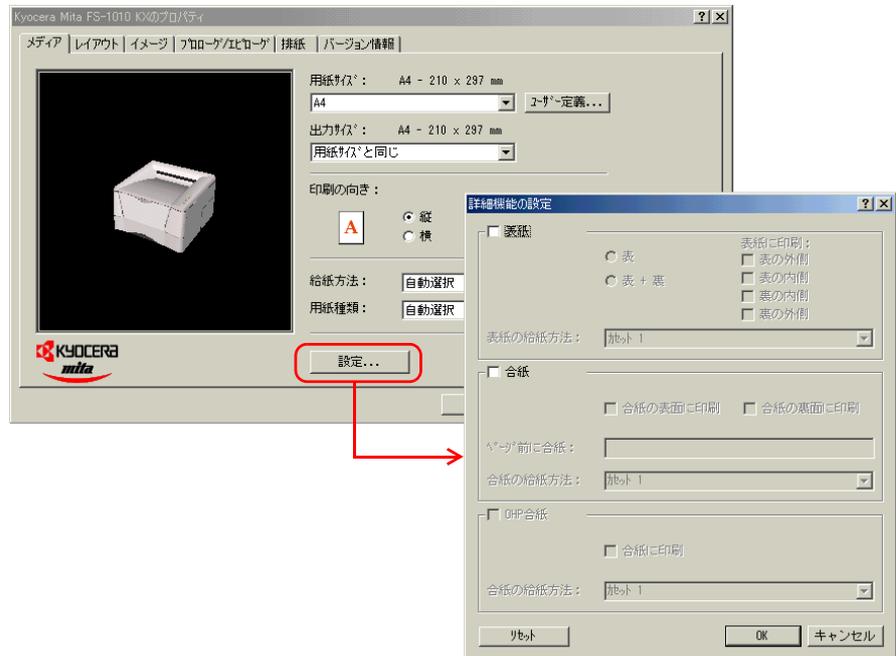
本文で使用している用紙とは別の用紙を使い、表紙だけまたは表紙と裏表紙両方を本文に追加することができます。本文の用紙はプロパティダイアログボックスのメディアで指定した用紙となりますが、表紙 / 表裏紙の給紙元はこの操作で設定できます。厚手の用紙やカラー紙などを選択し、体裁よく仕上げることもできます。また、追加した表紙自体に印刷することもできます。

🔔お知らせ

表紙機能は合紙機能と組み合わせて使用できますが、OHP 合紙機能との組み合わせはできません。

- 1** 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示してください。

- 2** メディアタブの設定ボタンをクリックします。詳細機能の設定ダイアログボックスが表示されます。



- 3** 表紙チェックボックスをクリックしてください。



- 4** 表紙だけを追加する場合は、表をクリックしてください。表紙と裏表紙の両方を追加するには、表 + 裏をクリックしてください。また、表紙に印刷する場合は、表紙に印刷の表の外側をクリックしてください。本機では、表の内側は指定できません。

- 5** 表紙の給紙方法リストボックスから表紙の給紙元を選択してください。厚紙や色紙などの特殊紙は多目的トレイ(MPトレイ)から給紙してください。

- 6 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 7 手順5で指定した給紙元に表紙に使用する用紙をセットしてください。
- 8 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

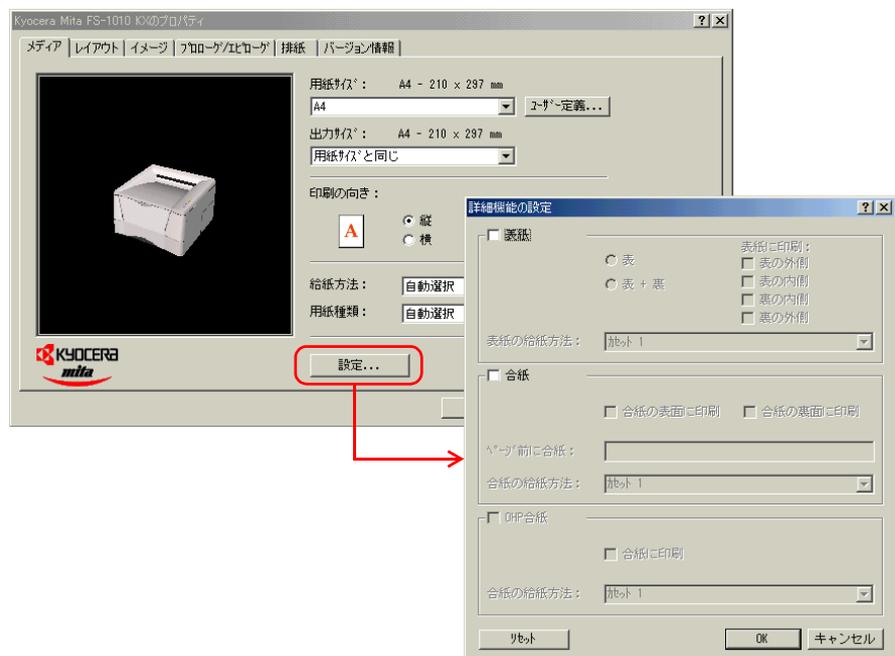
合紙機能の設定

本文の指定したページの前にブランクの用紙または印刷した用紙をはさみ込むことができます。この機能により、本文の章などの区切りを強調することができます。また、その用紙に印刷することもできます。

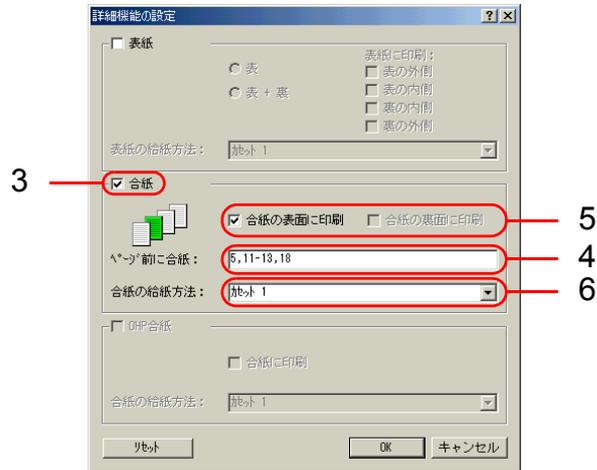
お知らせ

合紙機能は表紙機能と組み合わせて使用できますが、OHP合紙機能との組み合わせはできません。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示してください。
- 2 メディアタブの設定ボタンをクリックしてください。詳細機能の設定ダイアログボックスが表示されます。



3 合紙チェックボックスをクリックしてください。



4 用紙をはさみ込む直前のページを、ページ前に合紙ボックスに直接数値入力してください。指定できるページは2～255の範囲です。複数のページを入力するときは、カンマ (,) で区切ってください。また連続したページを指定するときは、ハイフン (-) を使ってください。例えば5、11、12、13および18ページの前に用紙をはさみ込むときは、「5,11-13,18」と指定します。

5 はさみ込む用紙に印刷するには、合紙の表面に印刷を選択してください。例えば5ページの前に用紙をはさみ込むと、はさみ込むページは5ページ目として印刷されます。FS-1010では、合紙の裏面に印刷は指定できません。

6 合紙の給紙方法リストボックスから合紙の給紙元を選択してください。厚紙や色紙などの特殊紙は多目的トレイ(MPトレイ)から給紙してください。

7 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

8 手順6で指定した給紙元に合紙に使用する用紙をセットしてください。

9 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

OHP合紙機能の設定

本機能は、多目的トレイからのOHPフィルムに印刷するときのみ有効です。

印刷した各OHPフィルムのページの後に、用紙をはさみ込みOHPフィルム上の印刷を読みやすくすることができます。また、この用紙にOHPフィルムと同じ印刷を行うこともできます。

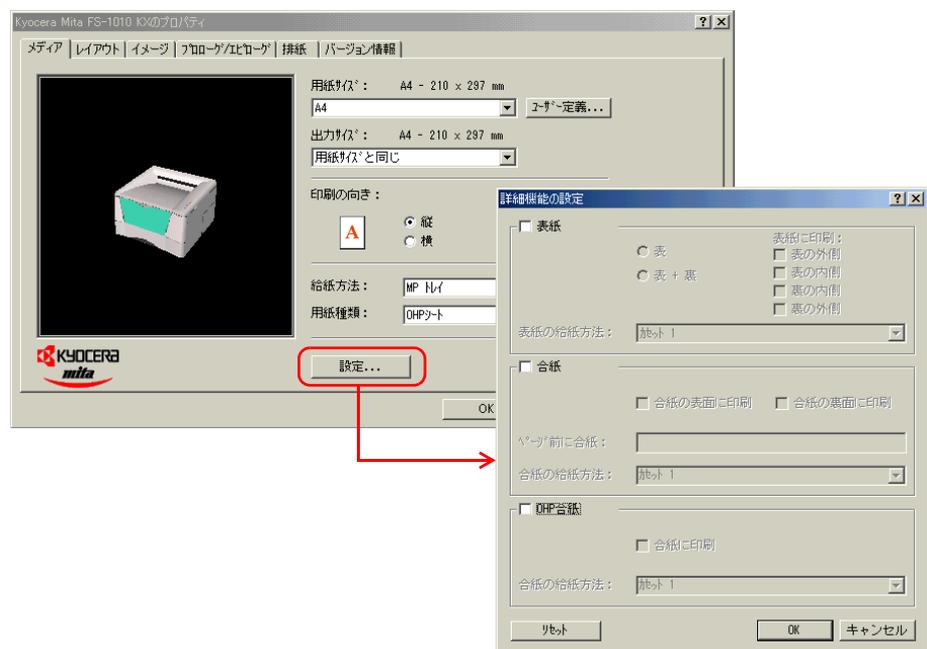
お知らせ

OHP合紙機能と表紙機能/合紙機能を組み合わせることはできません。

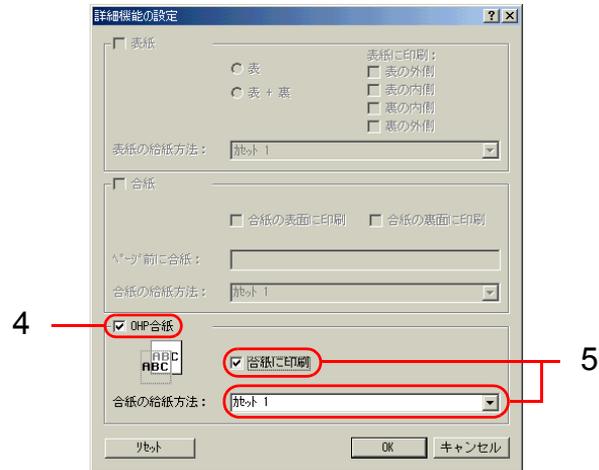
- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示してください。
- 2 メディアタブの給紙方法リストボックスから多目的トレイ(MPトレイ)を、用紙種類リストボックスからOHPシートを選択してください。



- 3 設定ボタンをクリックしてください。詳細機能の設定ダイアログボックスが表示されます。



4 OHP合紙チェックボックスをクリックしてください。



5 合紙の給紙方法リストボックスから挿入される用紙の給紙元を選択してください。この例ではカセット 1 が選択されています。また、OHP フィルムと同じデータを用紙にも印刷する場合は、合紙に印刷を選択してください。

6 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。

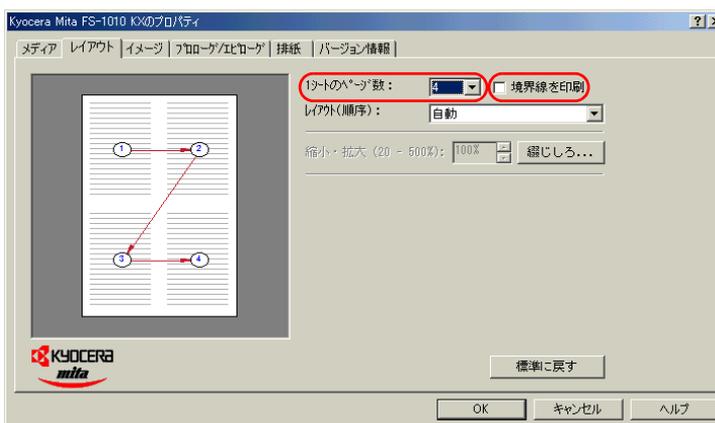
7 手順5で指定した給紙元に挿入する用紙をセットしてください。

8 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

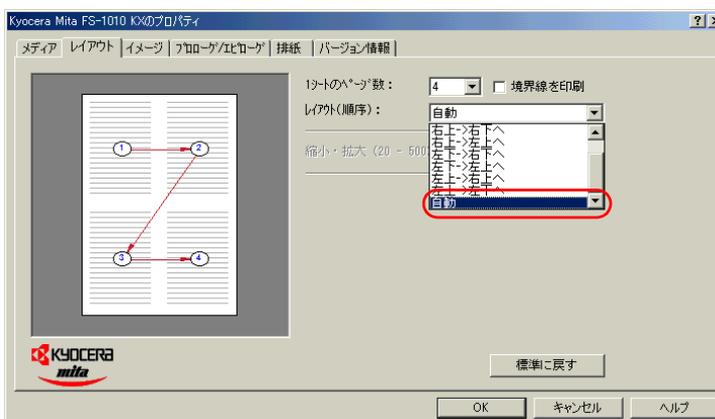
1 枚の用紙に複数ページを印刷するには

1 枚の用紙に複数のページを印刷することができます。印刷するページは 1、2、4、6、9、12、16、25 ページの単位で指定します。また、1 枚の用紙に印刷されるページのレイアウトを選択することもできます。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスを表示してください。
- 2 **レイアウト**タブをクリックしてください。
- 3 1 シートの**ページ数**ドロップダウンリストから用紙 1 枚に印刷するページ数を選択してください。選択内容に合わせて、左側の図が変化します。ページごとに境界線で区切る場合は、**境界線を印刷**チェックボックスをオンにしてください。



- 4 印刷される各ページの**相対位置**は、**レイアウト (順序)**ドロップダウンリストで選択してください。

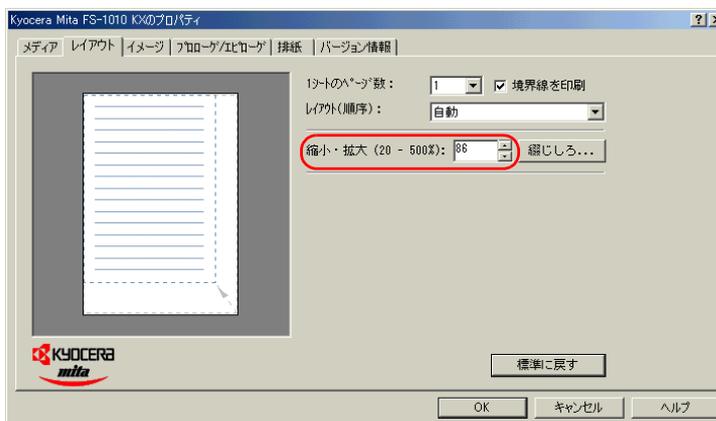


- 5** OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 6** OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

文書のサイズを変更するには

縮小・拡大オプションを選択すると、指定した比率に従って、ページの高さや幅が縮小または拡大されます。拡大縮小率の範囲は20%から500%です。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。
- 2 レイアウトタブをクリックしてください。
- 3 縮小・拡大ボックスで必要な比率を選択してください。



- 4 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 5 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

印刷品質を変更するには

印刷ジョブの印刷品質を、**高品質 (Fast 1200 モード)**、**標準 (600 dpiおよびエコプリント:オフ)**、**エコプリント (600 dpiおよびエコプリント:オン)**、**ユーザー定義**の中から選んで設定することができます。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスを表示してください。
- 2 **イメージ**タブをクリックしてください。



- 3 印刷品質ドロップダウンリストから印刷ジョブの品質を選択してください。
- 4 解像度、KIR (スムージング)、エコプリントを個別に設定する必要がある場合は、**ユーザー定義**を選択し、**...** ボタンをクリックしてください。印刷品質の設定ダイアログボックスで変更してください。



- 5 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 6 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

グレースケール調整

印刷されたグラフィックイメージが明るすぎたり暗すぎたりする場合や、コントラストの調整が必要な場合は、**グレースケール調整**スライダで調整できます。

お知らせ

グレースケールの調整で設定を変更しても、テキストには影響ありません。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスを表示してください。
- 2 **イメージ**タブをクリックしてください。



- 3 グラフィックイメージを明るく、または暗くするには、**明るさ**スライダを右へ動かすと明るく、左へ動かすと暗くなります。また、グラフィックイメージのコントラストを調整するには、**コントラスト**スライダを右へ動かすと濃く、左へ動かすと薄く感じられるようになります。
- 4 **OK**ボタンをクリックして、**印刷**ダイアログボックスに戻ります。
- 5 **OK**ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

TrueTypeフォント

TrueType フォントをプリンタに送信する方法を指定することができます。選択した方法によっては、印刷ジョブの速度が影響を受け、特定のフォントを印刷したときに発生する問題が解決される可能性があります。

- 1 文書を作成したアプリケーションソフトで、プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。
- 2 イメージタブをクリックします。



- 3 TrueType フォントをプリンタに送信する方法を指定するには、次のオプションのいずれかを選択します。
 - 大きな文書を印刷するとき、ファイルサイズを小さくするには、TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロードを選択します。特に、印刷文書に数種類のフォントやサイズが指定されている場合に便利です。(初期設定)
 - 使用されているフォントの数が少ない場合や、フォントサイズがほとんど同じである場合には、TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードを選択します。送信データのサイズは大きくなります。
- 4 OKボタンをクリックして、印刷ダイアログボックスに戻ります。
- 5 OKボタンをクリックすると、印刷を開始します。

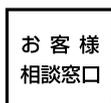


お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112



0570-046562

受付時間
● 9:00~12:00 ● 13:00~17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料でOK
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/jp>

2002.2